

【別冊】

3. 【報告事項(3)】アンケート調査結果について

1. 公共交通に関する市民意識調査

1.1. 調査概要

1.1.1. 調査の目的

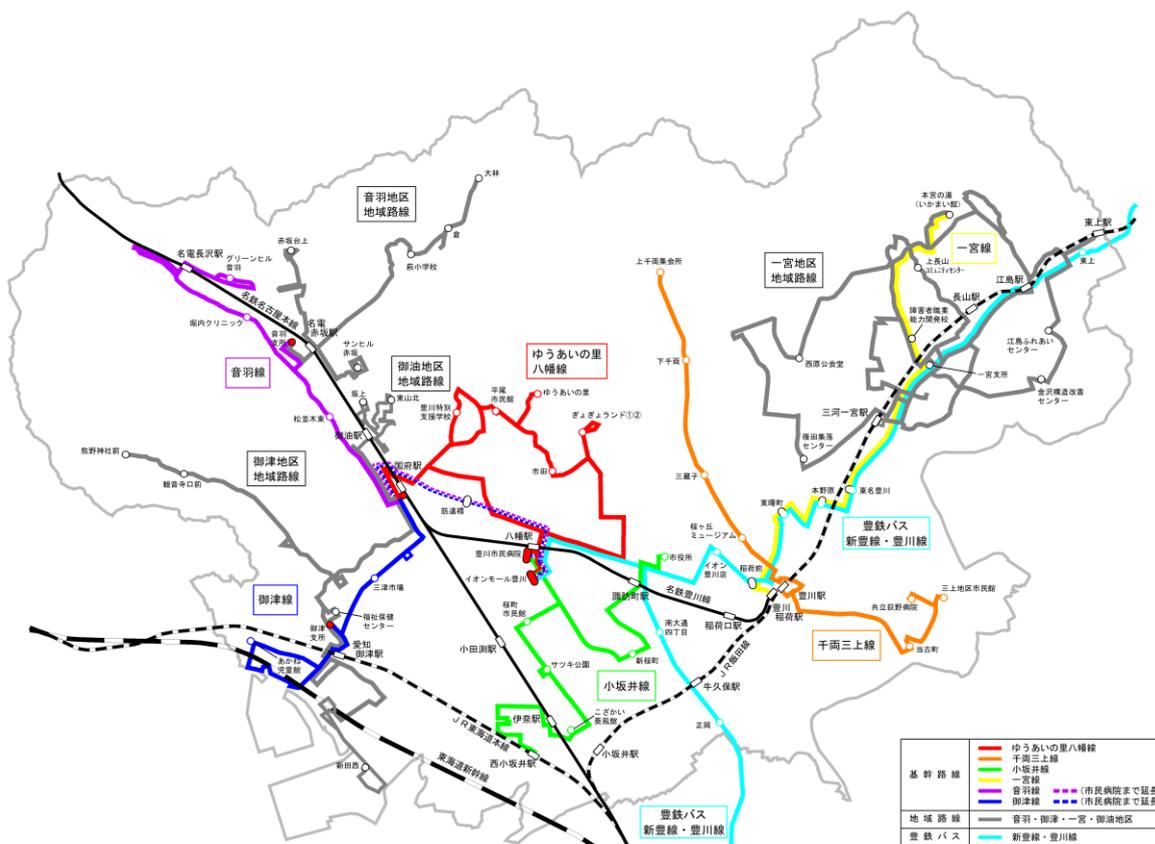
現地域公共交通計画の評価・改訂に向け、豊川市内居住者の日常的な交通行動や市内バス路線の利用状況、公共交通における利用意識等を把握するための調査を行う。

1.1.2. 調査対象

- ・ 15歳以上の豊川市民

1.1.3. 調査範囲

- ・ 豊川市内全域を対象とする。



1.2. 集計結果及び利用状況等分析

1.2.1. 回収結果

公共交通に関するアンケート調査票の回収状況は下表のとおりとなった。

回収数は1,389枚、記入総数は2,505名となり、1通あたり1.80名の記入となった。

また、アンケート調査票の回収率は、31.6%であった。

表 2-1：アンケート調査票回収結果

		配布数 (枚)	回収数 (枚)	回収率 (%)
市民アンケート	回収封筒	4,400	1,389	31.6%
	回答状況	記入総数：2,505名		1通あたり 1.80名記入

注：一部解答欄に不備があったため、回答欄を修正したアンケートを2,200枚追加配布。

【参考：小学校区ごとの回収枚数・回答数】

中学校区	小学校区	配布数 (枚)	回収数 (枚)	回答数 (名)	回収率 (%)
東部中学校	桜木小学校	174	54	96	31.0%
	豊小学校	174	48	95	27.6%
	豊川小学校	174	44	75	25.3%
	東部小学校	166	54	95	32.5%
南部中学校	中部小学校	184	47	80	25.5%
	牛久保小学校	174	54	89	31.0%
	天王小学校	166	53	88	31.9%
中部中学校	八南小学校	166	51	102	30.7%
	千両小学校	166	56	96	33.7%
	平尾小学校	166	51	87	30.7%
西部中学校	国府小学校	180	54	106	30.0%
	御油小学校	174	55	104	31.6%
代田中学校	代田小学校	194	57	99	29.4%
	桜町小学校	174	55	104	31.6%
金屋中学校	金屋小学校	206	45	75	21.8%
	三蔵子小学校	194	53	93	27.3%
一宮中学校	一宮西部小学校	160	35	64	21.9%
	一宮東部小学校	154	44	78	28.6%
	一宮南部小学校	146	57	123	39.0%
音羽中学校	萩小学校	146	51	94	34.9%
	長沢小学校	140	66	117	47.1%
	赤坂小学校	154	58	103	37.7%
御津中学校	御津北部小学校	154	58	104	37.7%
	御津南部小学校	174	46	90	26.4%
小坂井中学校	小坂井東小学校	174	50	91	28.7%
	小坂井西小学校	166	53	102	31.9%
合計		4,400	1,389	2,505	31.6%

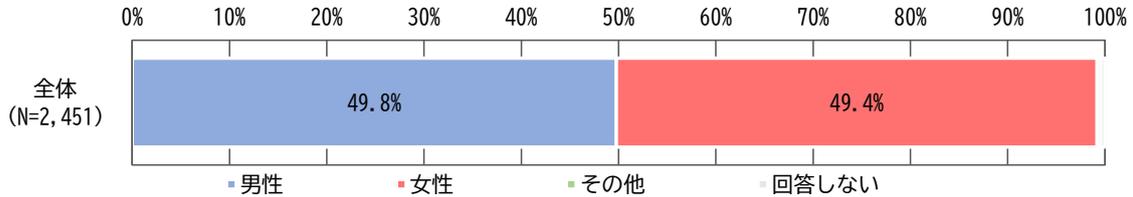
1.2.2. アンケート項目の調査結果

集計結果の概要を以下に示す。

なお、ここでは「不明」、「無回答」を除いて集計した。

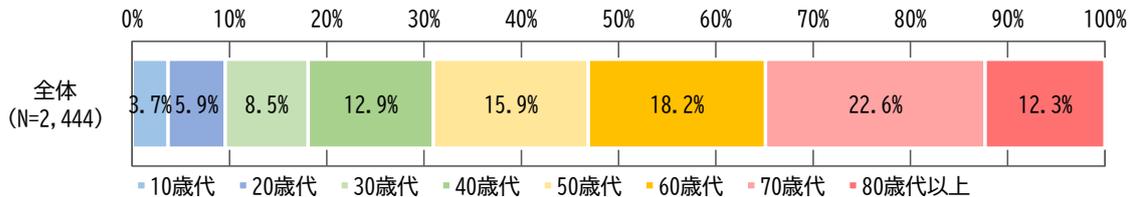
(1) 性別【問 2-1】

全体で見ると、男性が 49.8%、女性が 49.4%となっており、回答割合は概ね同程度となっている。



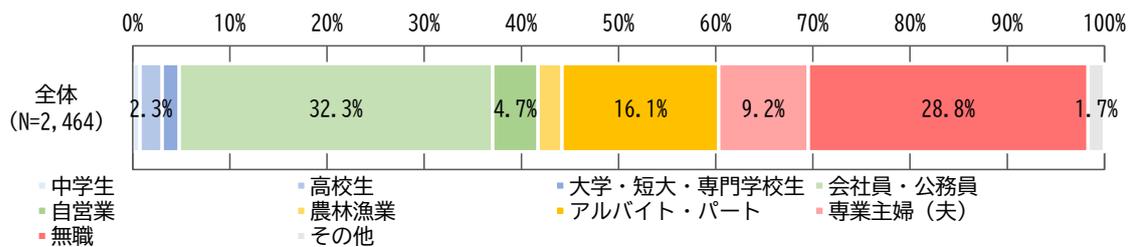
(2) 年齢【問 2-2】

全体で見ると、60歳以上の回答割合が 53.1%と、半分以上を占めている。それに対して、20歳以下の回答割合が低く、10%以下となっている。



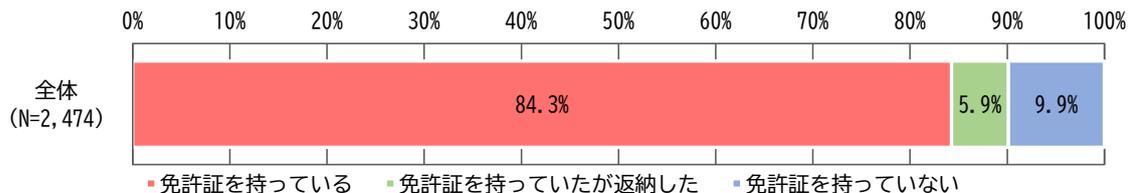
(3) 職業【問 2-3】

全体で見ると、「会社員・公務員」の回答割合が 32.3%と一番高く、次いで、28.8%の「無職」となっている。



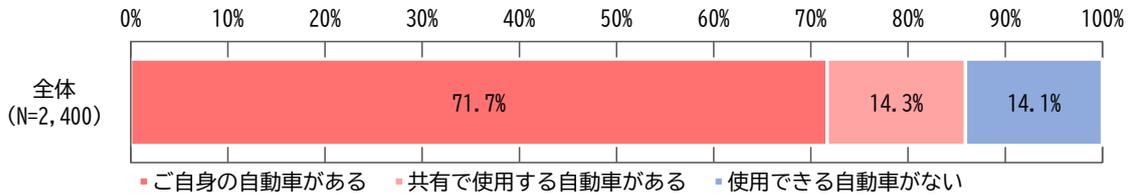
(4) 運転免許証の保有状況【問 2-4】

全体で見ると、運転免許証を「持っている」と回答した割合が 84.3%、「持っていない」または「持っていたが返納した」が 15.8%と、「持っている」の回答割合がかなり高くなっている。



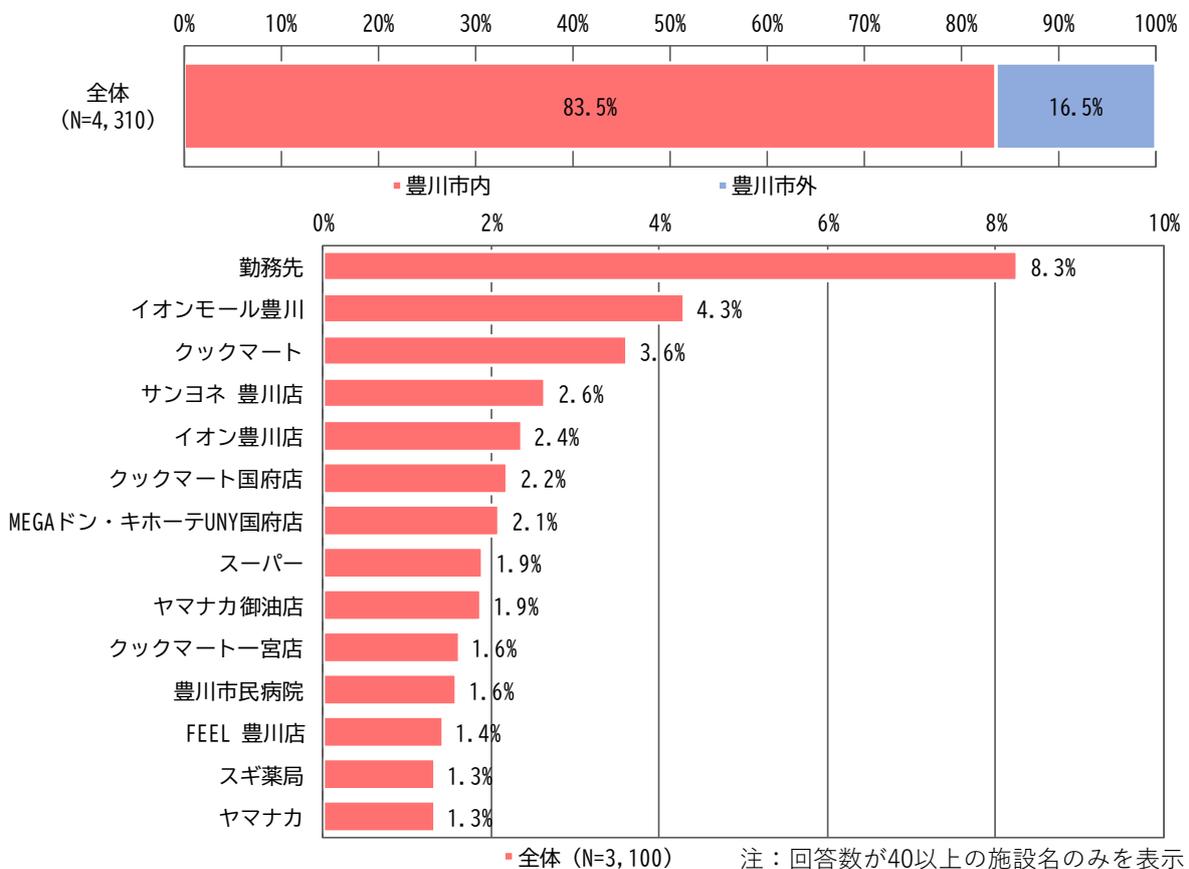
(5) 自動車の保有状況【問 2-5】

全体で見ると、「ご自身の自動車がある」または「共有で使用する自動車がある」といった、自動車の利用ができる回答の割合が86%と、かなり高くなっている。



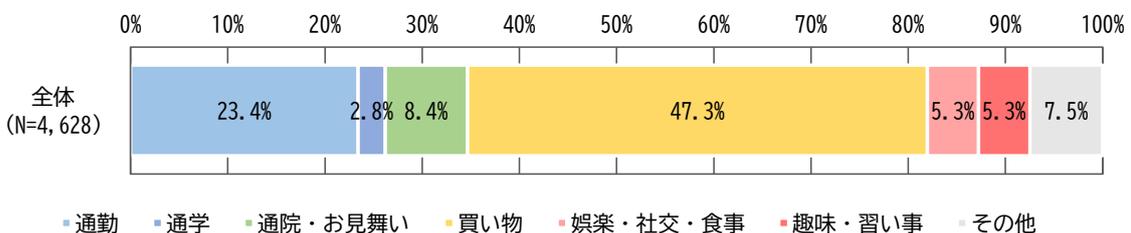
(6) 目的地【問 3-1、問 3-8】

全体で見ると、「豊川市内」を目的地としている割合が83.5%とかなり高くなっている。



(7) 移動目的【問 3-2、問 3-9】

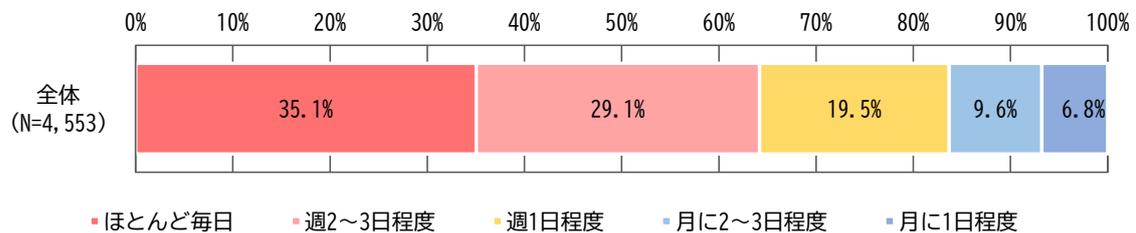
全体で見ると、「買い物」が47.3%と一番高く、次いで、「通勤」の23.4%となっている。それに対して、「通学」は2.8%と全ての目的の中で一番低い値となっている。



(8) 外出頻度【問 3-3、問 3-10】

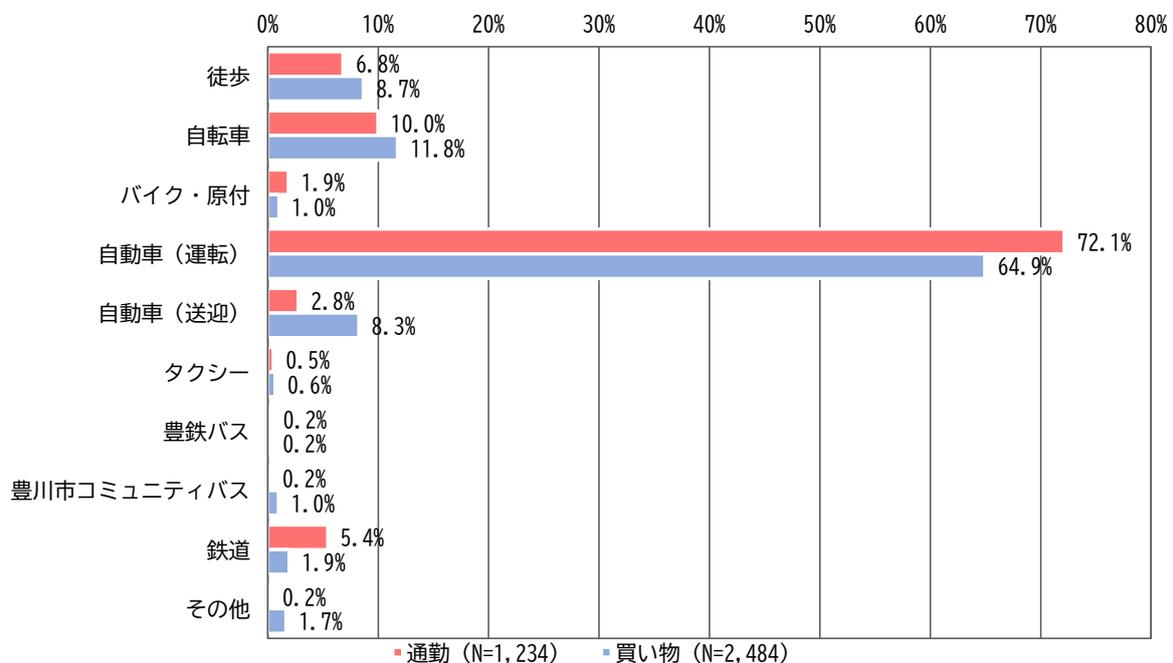
全体で見ると、「ほとんど毎日」の回答割合が 35.1%と一番高くなっている。

また、週 1 日以上の上の外出の割合が 80%以上となっている。



(9) 目的別利用交通手段【問 3-2×問 3-5、問 3-9×問 3-11】 [複数選択可]

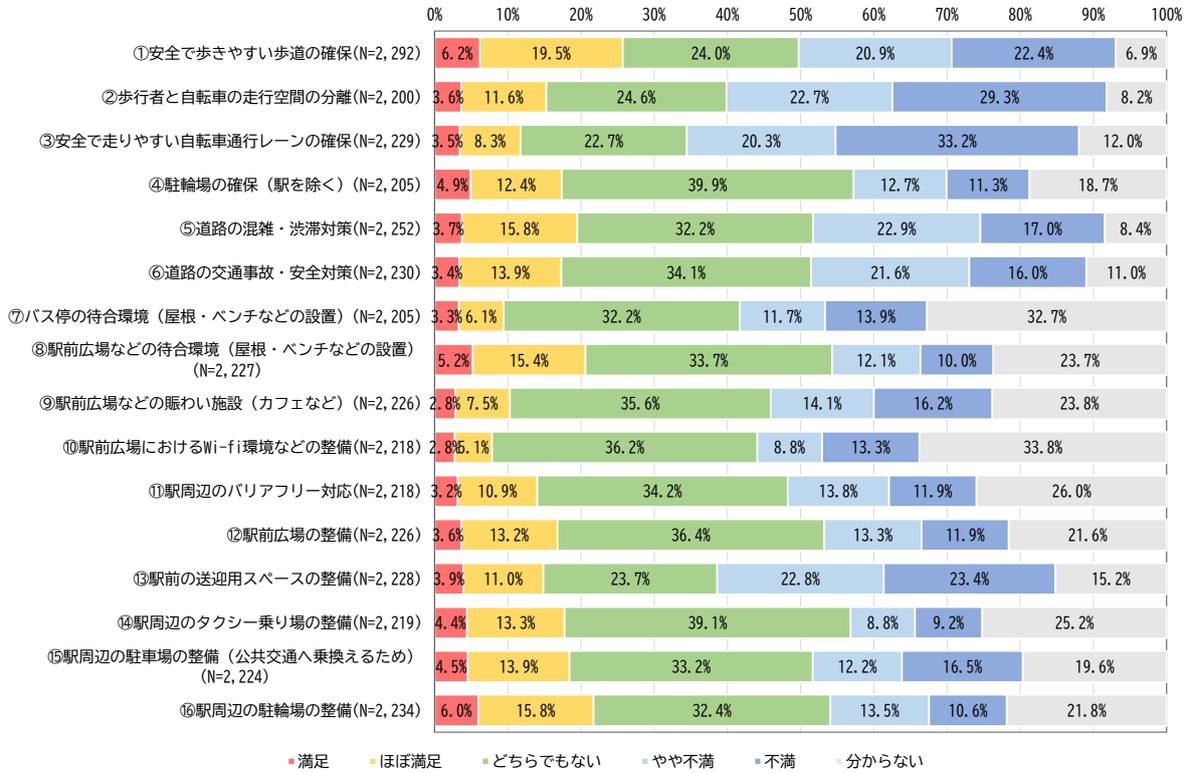
移動目的として多い「通勤」、「買い物」における利用交通手段を見ると、「自動車（運転）」の利用割合が、「通勤」、「買い物」ともに一番高くなっている。



(10) 駅周辺における交通手段ごとの満足度と重要度【問 4-1】

1) 満足度

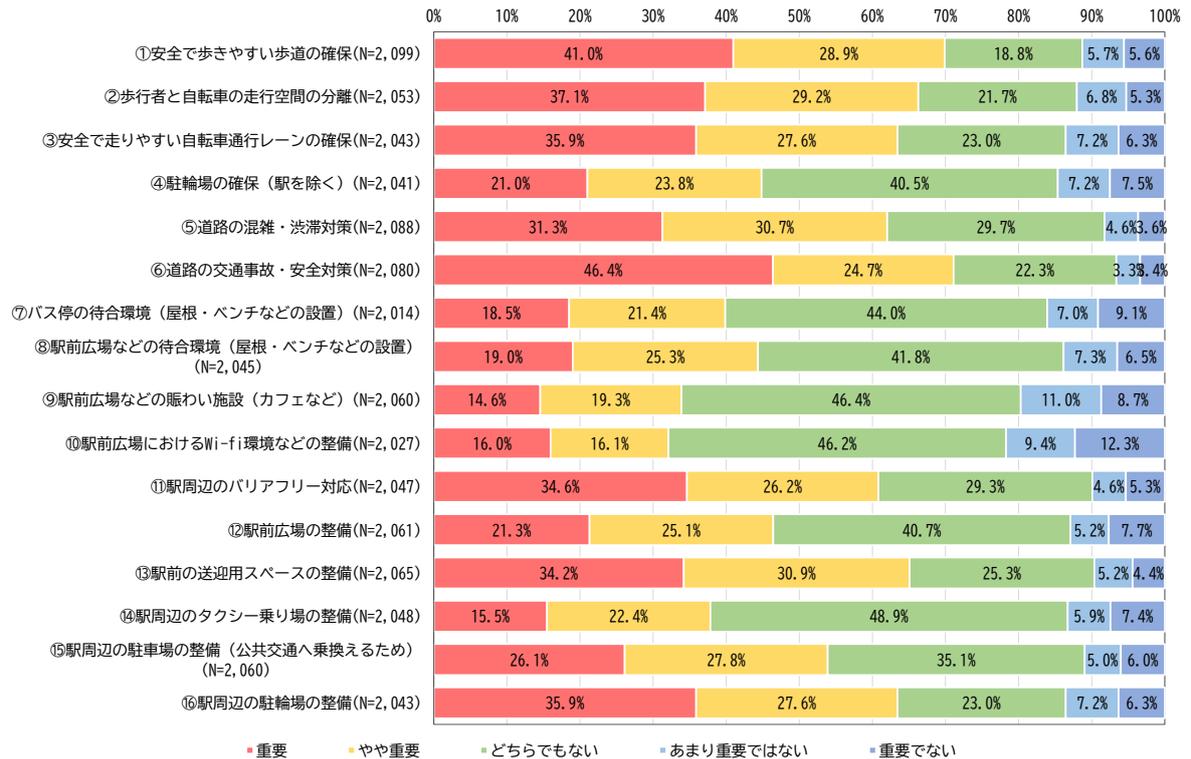
全体的に、「満足」、「やや満足」の合計が、「不満」、「やや不満」の合計を下回っている。



2) 重要度

全体的に、「重要」の回答割合が高くなっている。

項目別にみると、「⑥道路の交通事故・安全対策」においては、「重要」の割合が46.4%とかなり高くなっている。

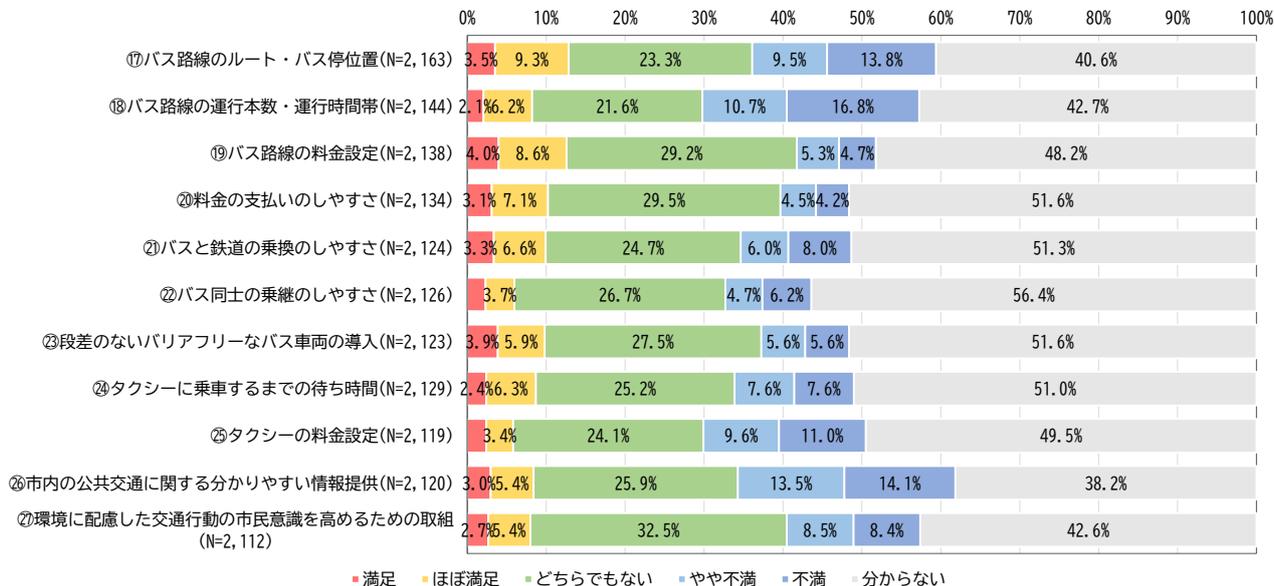


(11) 市内全体の交通手段ごとの満足度と重要度【問 4-2】

1) 満足度

全体的に「どちらでもない」や「分からない」の回答割合が高くなっている。

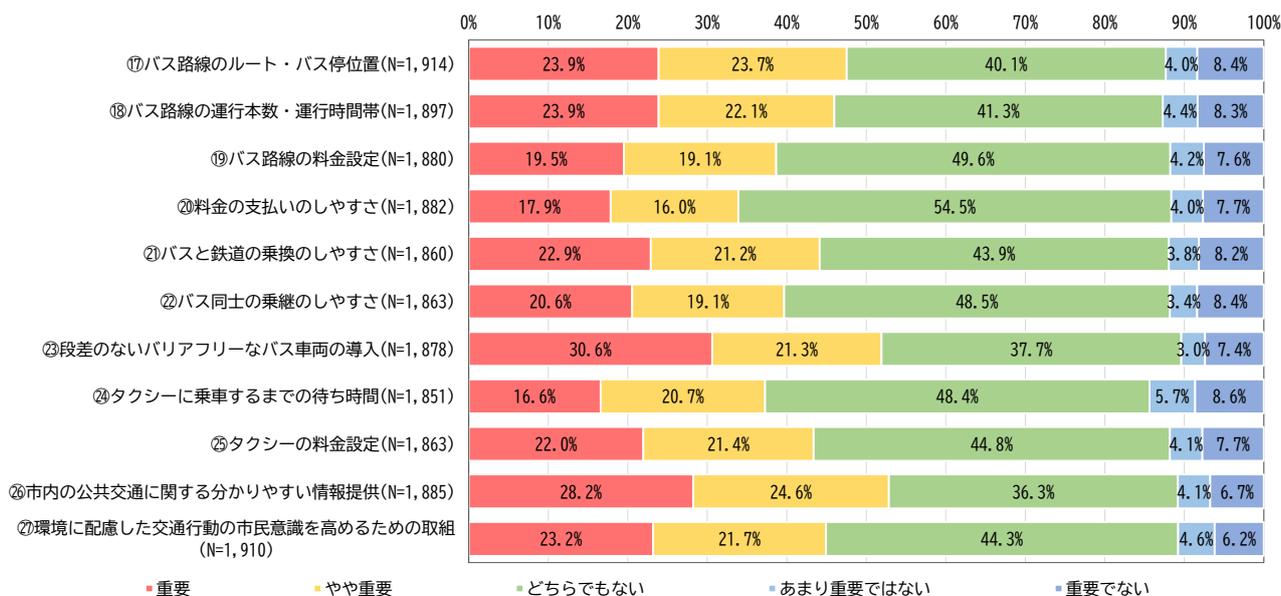
項目別にみると、「⑱バス路線の運行本数・運行時間帯」や「㉔市内の公共交通に関する分かりやすい情報提供」においては、「不満」、「やや不満」の割合が高くなっている。



2) 重要度

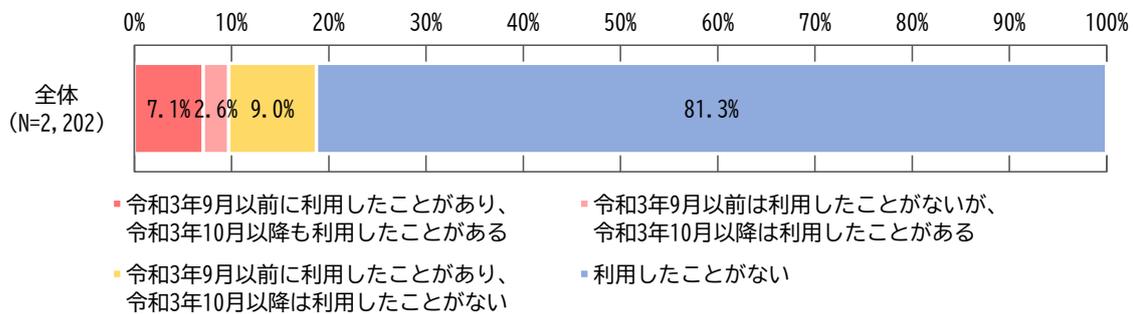
全体的に、「重要」、「やや重要」の回答割合が高くなっている。

項目別にみると、「㉔段差のないバリアフリーなバス車両の導入」、「㉔市内の公共交通に関する分かりやすい情報提供」における「重要」、「やや重要」の割合が50%以上と高くなっている。



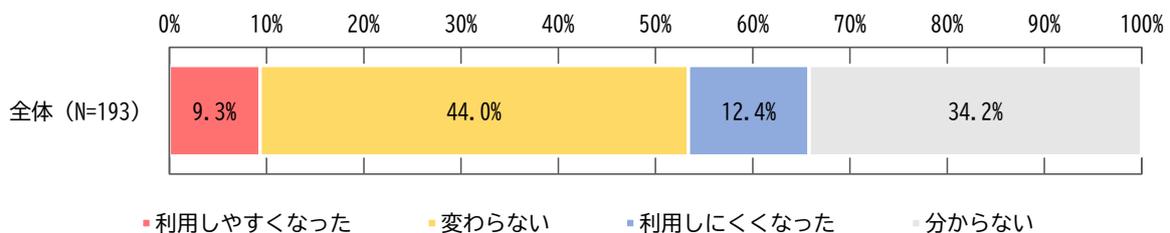
(12) バス路線の利用状況【問 5-1】

「利用したことがない」の回答割合が81.3%と、かなり高くなっている。
 また、現在利用している方の割合は9.7%と、10%に満たない。



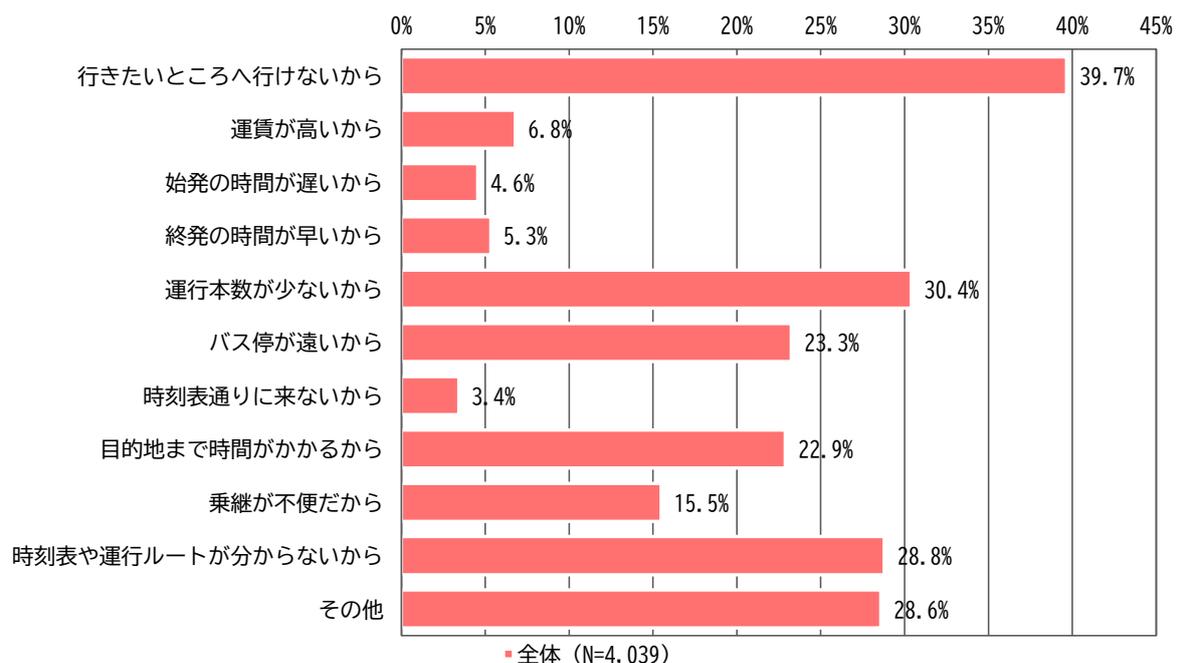
(13) バス路線見直し後の利便性の変化【問 5-3】

「利用しやすくなった」と比較して、「利用しにくくなった」の回答割合が3.1%高くなっている。



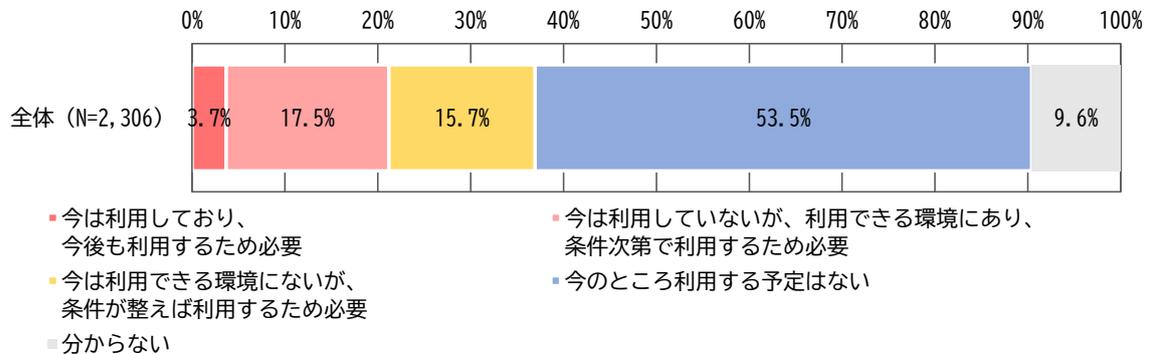
(14) バスが利用しにくい・バスを利用しない理由【問 5-4】 [複数選択可]

バスが利用しにくい・利用しない理由としては、「行きたいところへ行けないから」の回答割合が39.7%と、一番高くなっている。



(15) バスの必要性【問 5-6】

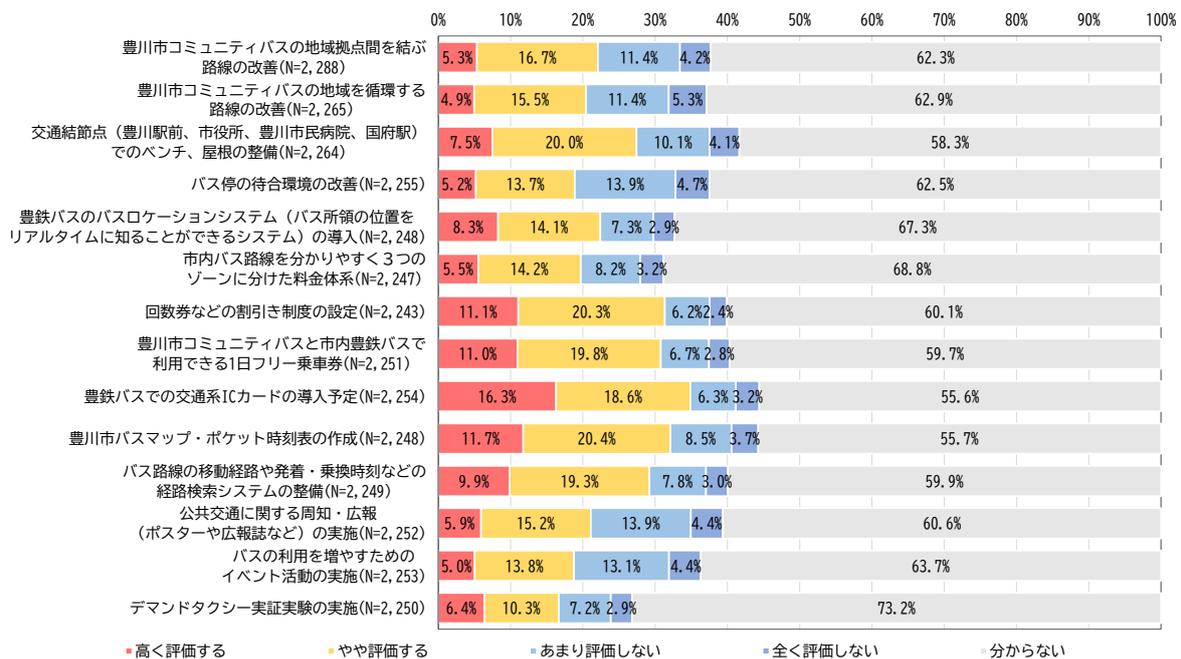
「今のところ利用する予定はない」の回答割合が50%以上と一番高くなっている。また、「今は利用していないが、利用できる環境にあり、条件次第で利用するため必要」の回答割合が17.5%と、二番目に高い割合となっている。



(16) 公共交通活性化のための取組の評価【問 6-1】

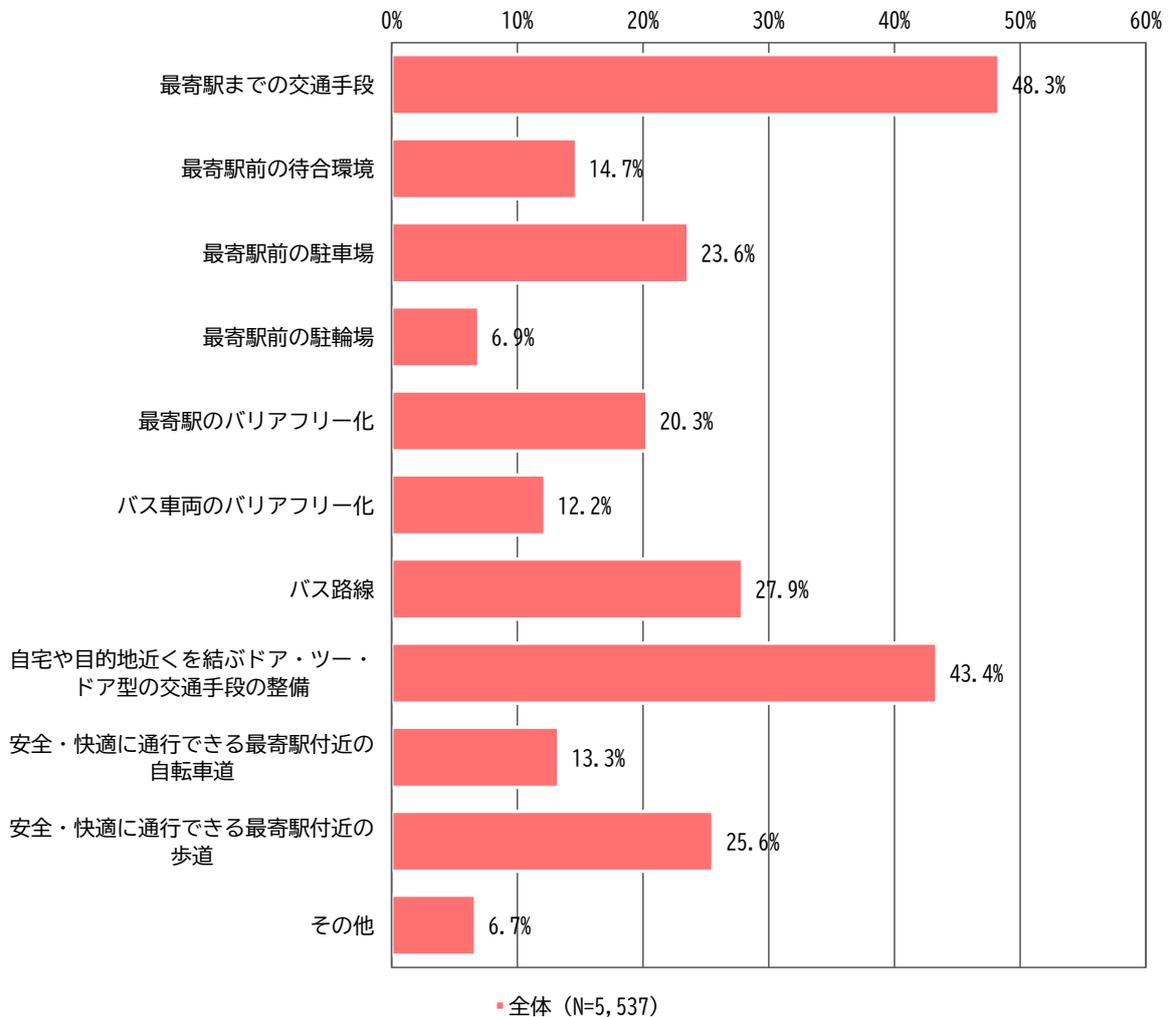
全ての項目において、「分からない」の回答割合が50%以上と一番高くなっている。

項目別にみていくと、「豊鉄バスでの交通系 IC カードの導入予定」は、「高く評価する」が16.3%と一番高くなっている。



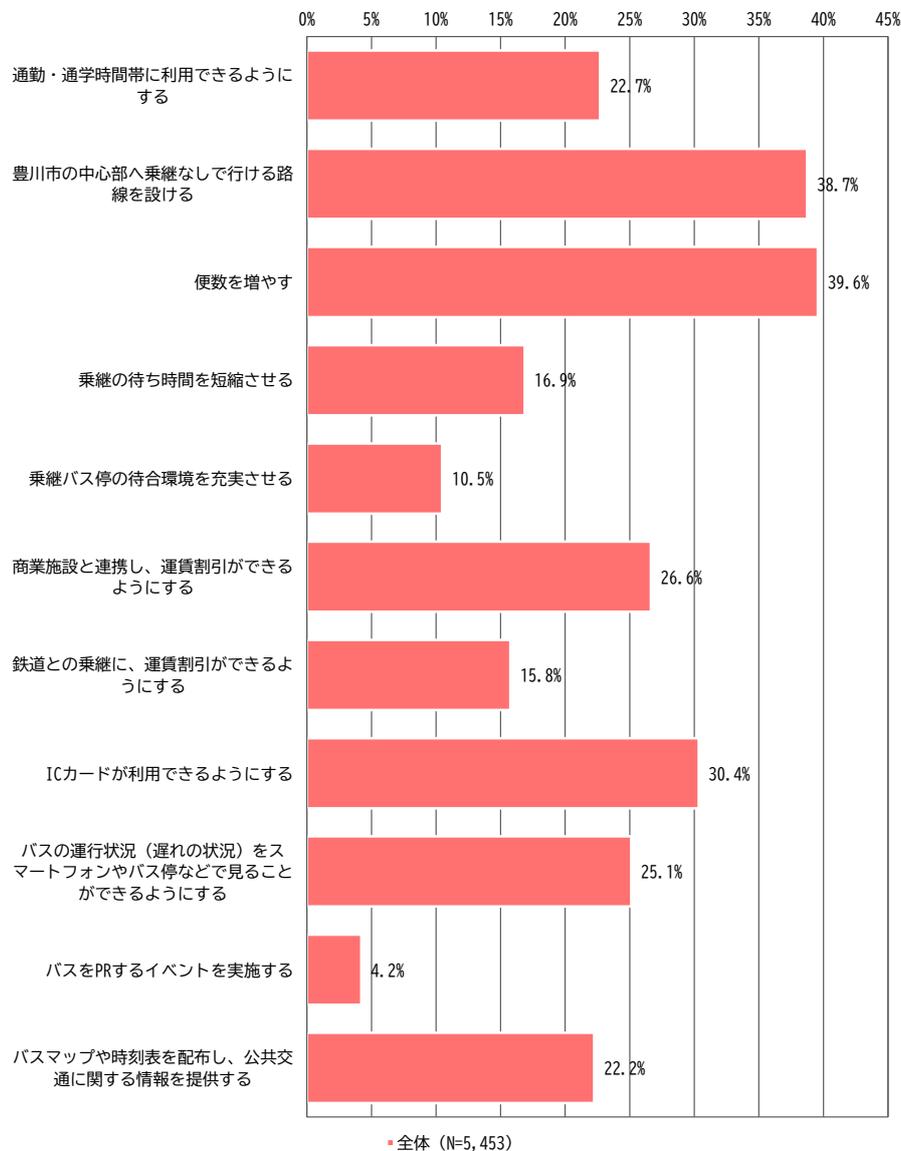
(17) 豊川市における将来の交通のあり方【問 7-1】 [3 つまで選択可]

「最寄駅までの交通手段」や「自宅や目的地近くを結ぶドア・ツー・ドア型の交通手段の整備」の回答割合が40%以上と高くなっている。それに対して、「最寄駅前の駐輪場」については、6.9%と低い割合となっている。



(18) バスの利用促進施策【問 8-1】 [3 つまで選択可]

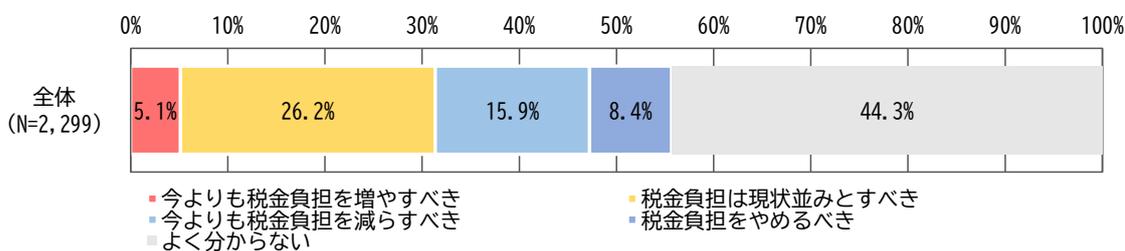
「豊川市の中心部へ乗継なしで行ける路線を設ける」や「便数を増やす」の回答割合が、約 40% と高くなっている。



(19) バス路線維持のための行政負担について【問 9-1】

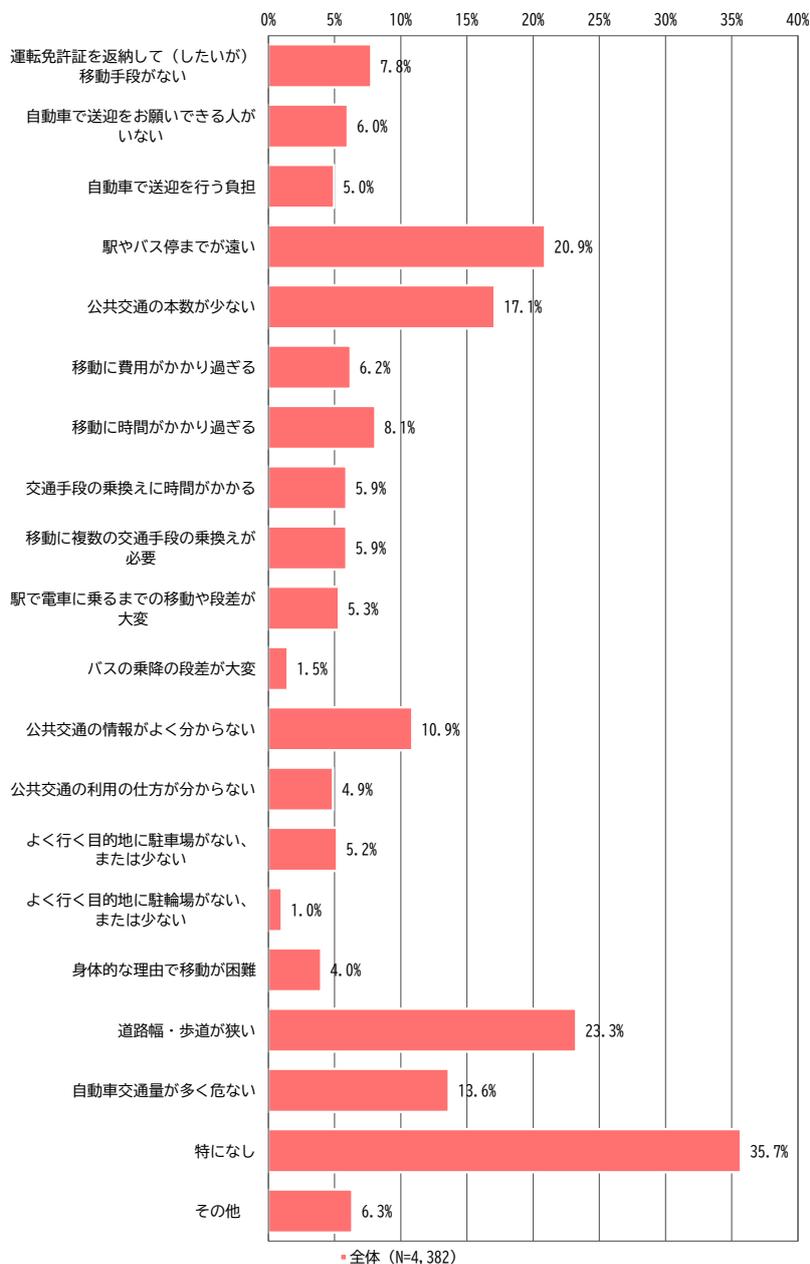
「よく分からない」を除くと、「税金負担は現状並みとすべき」の回答割合が 26.2% と一番高くなっている。

また、「今よりも税金負担を減らすべき」や「税金負担をやめるべき」の回答割合が、「今よりも税金負担を増やすべき」と比較して高くなっている。



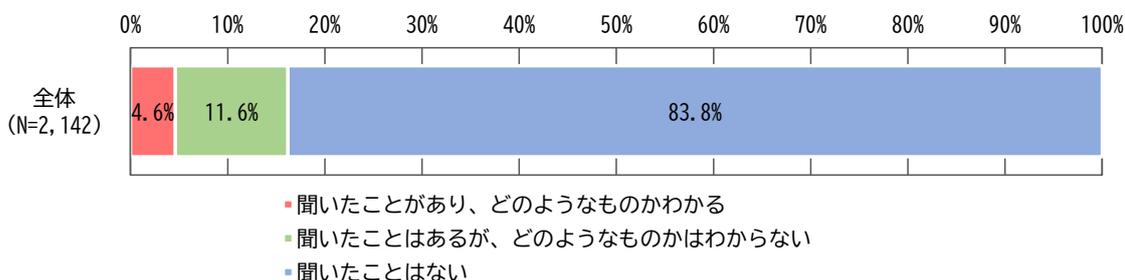
(20) 日常の移動で困っていること【問 10-2】〔複数選択可〕

困っていることとして、「道路幅・歩道が狭い」や「駅やバス停までが遠い」が 20%以上と、比較的高くなっている。



(21) MaaS についての認知度【問 11-2】

「聞いたことはない」の回答割合が 83.8%と、一番高くなっている。それに対して、「聞いたことがあり、どのようなものかわかる」は、4.6%とかなり低い割合となっている。



2. バス利用者アンケート調査

2.1. 調査概要

2.1.1. 調査の目的

令和3年10月のコミュニティバス路線見直し後の市内公共交通網の評価・改善と、イオンモール出店に伴う路線の見直しに関連したデータの収集、及び現地域公共交通計画の評価・改訂に向け、豊川市内のバス利用者の移動実態や乗継状況、バス移動のニーズ等を把握するための調査を行った。

2.1.2. 調査対象路線

(1) 基幹路線

- ・ ゆうあいの里八幡線（ゆうあいの里～ゆうあいの里）
- ・ 千両三上線（上千両集会所～三上地区市民館）
- ・ 小坂井線（市役所～西小坂井駅）
- ・ 一宮線（豊川駅前～本宮の湯）
- ・ 音羽線（イオンモール豊川～グリーンヒル音羽）
- ・ 御津線（イオンモール豊川～あかね児童館）

(2) 地域路線

- ・ 音羽地区地域路線（つつじバス全区間）
- ・ 御津地区地域路線（ハートフル号全区間）
- ・ 一宮地区地域路線（本宮線のんほい号全区間）
- ・ 御油地区地域路線（ごゆりんバス全区間）

(3) 広域路線

- ・ 豊鉄バス新豊線・豊川線（市内バス停：正岡～東上）

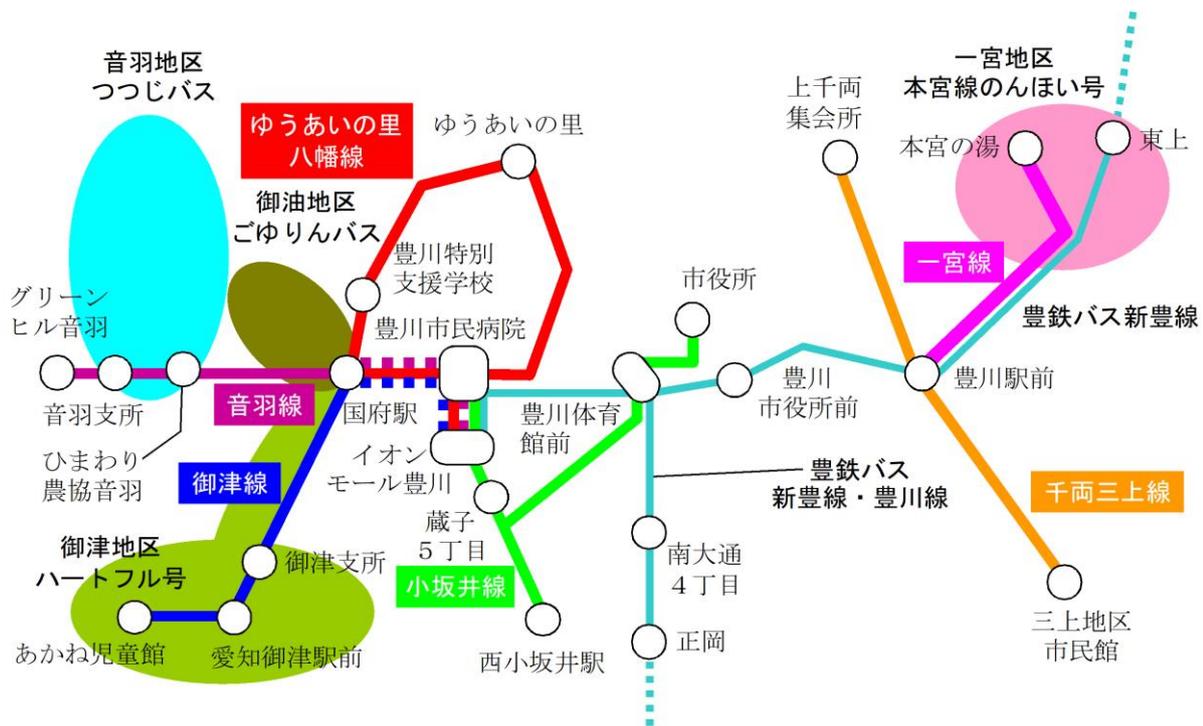


図 2-1：調査対象路線の路線略図

表 2-1：各路線の運行日と調査区間

区分	路線名	運行日	調査区間	
基幹路線	ゆうあいの里八幡線	毎日	全区間	
	千両三上線	毎日		
	小坂井線	毎日		
	一宮線	毎日		
	音羽線	毎日		
	御津線	毎日		
地域路線	音羽地区地域路線（つっじバス）	毎日	全区間	
	御津地区地域路線（ハートフル号）	北部小方面		月～金
		御津地区方面・国府駅方面		月～土
	一宮地区地域路線（本宮線のんほい号）	火～土		
御油地区地域路線（ごゆりんバス）	毎日			
広域路線	豊鉄バス新豊線・豊川線	毎日	正岡～東上	

2.1.3. 調査日

(1) 豊鉄バス 新豊線・豊川線

2日間調査を実施（終日全便を対象に実施）

平日調査：令和5年10月24日（火）

休日調査：令和5年10月28日（土） 2日間

(2) バス車両で運行する路線（ゆうあいの里八幡線、一宮線）

5日間調査を実施（終日全便を対象に実施）

令和5年10月24日（火）～28日（土）

(3) ジャンボタクシー車両で運行する路線（【基幹路線】千両三上線、小坂井線、音羽線、御津線【地域路線】音羽地区地域路線、御津地区地域路線、一宮地区地域路線、御油地区地域路線）

5日間調査を実施（終日全便を対象に実施）

令和5年10月24日（火）～28日（土）

2.2. 集計結果及び利用状況等分析

2.2.1. 回収結果

各路線のバス利用者アンケート調査票の回収状況は下表のとおりとなった。

回答者数は、豊川市コミュニティバスは 236 人（5 日間調査）、豊鉄バスは 163 人（2 日間調査）全体では 399 人となった。（令和 4 年度調査：3 日間調査 1,539 人）

また、豊川市コミュニティバス、豊鉄バスのバス利用者アンケート調査票回収率はそれぞれ 51.6%、28.5%となり、全体で 38.8%であった。

表 2-2：アンケート調査票回収結果

路線名		配布数 (枚)	回収数 (枚)	回収率 (%)	
豊川市 コミュニティバス	基幹 路線	ゆうあいの里八幡線	48	26	54.2%
		千両三上線	68	31	45.6%
		小坂井線	54	23	42.6%
		一宮線	93	37	39.8%
		音羽線	40	26	65.0%
		御津線	34	21	61.8%
		小計	337	164	48.7%
	地域 路線	音羽地区地域路線	51	28	54.9%
		御津地区地域路線	21	13	61.9%
		一宮地区地域路線	15	8	53.3%
		御油地区地域路線	33	23	69.7%
小計		120	72	60.0%	
計		457	236	51.6%	
豊鉄バス	平日	363	99	27.3%	
	休日	208	64	30.8%	
	小計	571	163	28.5%	
合計		1,028	399	38.8%	

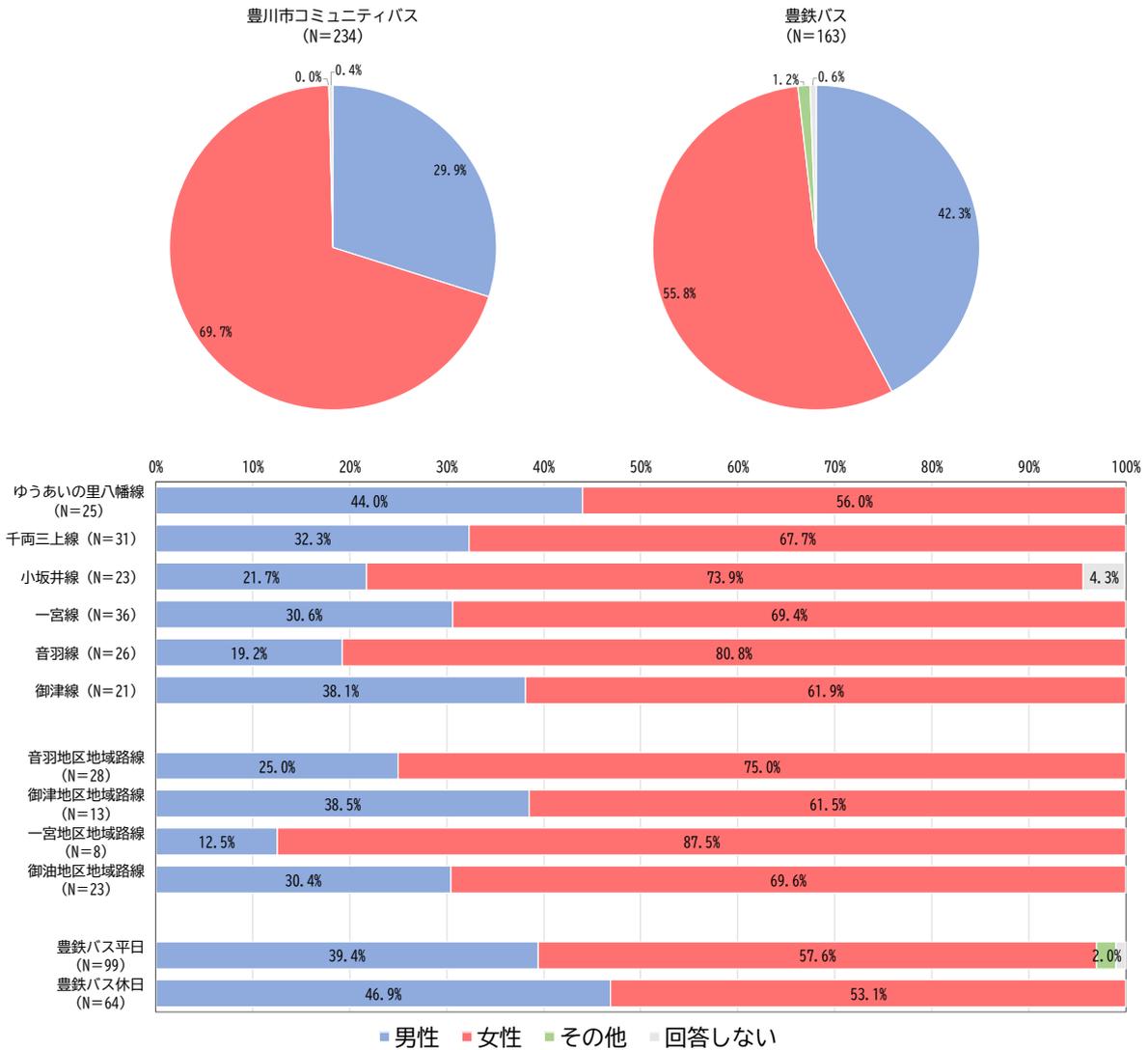
2.2.2. アンケート項目の調査結果

(1) 性別【問1(1)】

豊川市コミュニティバスでは、「女性」の割合が69.7%を占めており、豊鉄バスと比較して13.9%高くなっている。

音羽線と一宮地区地域路線の2路線においては、「女性」の割合が80%以上となっている。

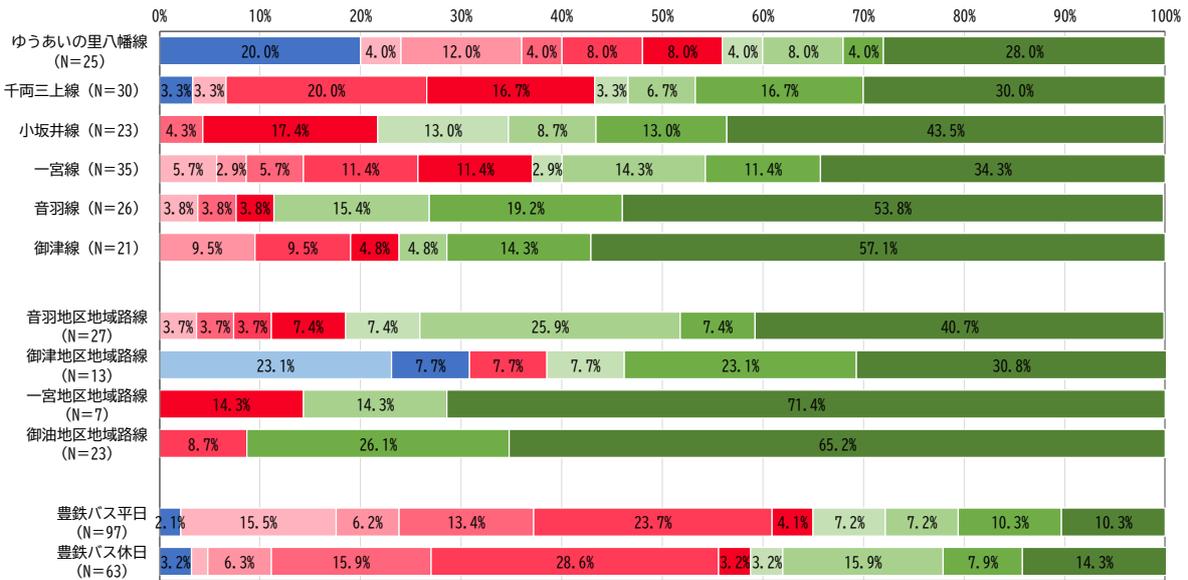
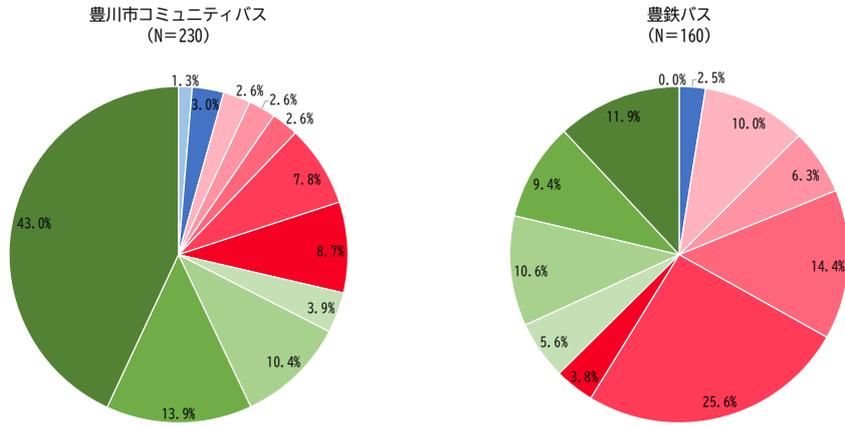
また、「男性」の利用割合が一番高いのは、豊鉄バス 休日の46.9%、次いで、ゆうあいの里八幡線の44.0%となっている。



(2) 年齢【問 1 (2)】

65 歳以上の利用割合が、豊川市コミュニティバスが 71.2%、豊鉄バスが 37.5%と、豊鉄バスが豊川市コミュニティバスと比較して、33.7%低くなっている。

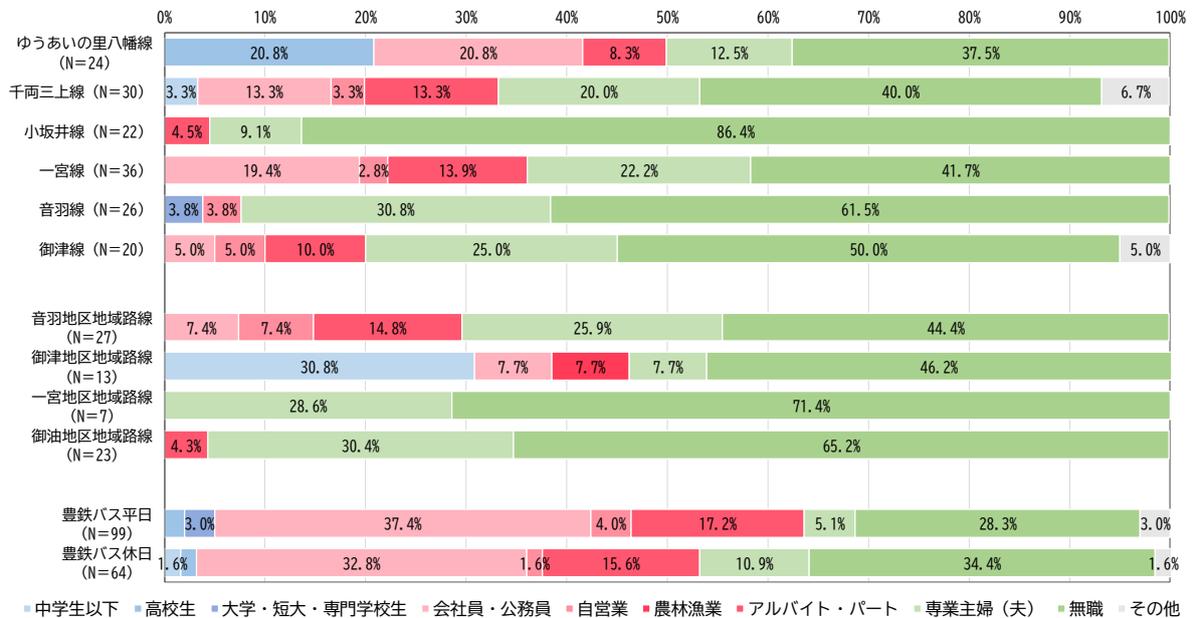
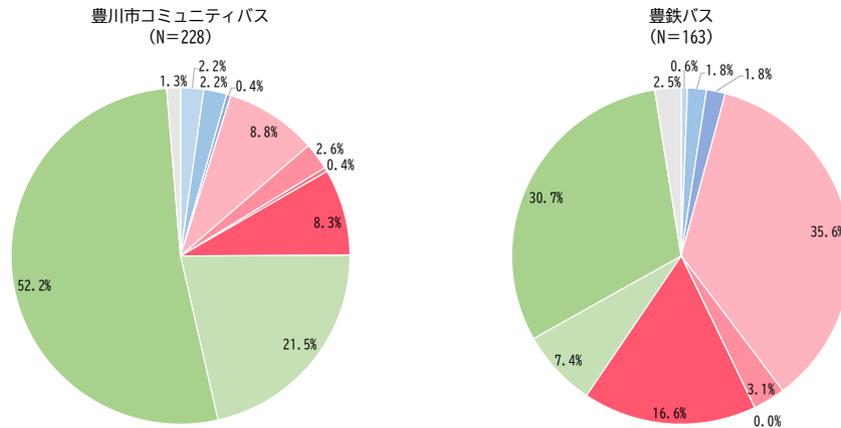
御津地区地域路線では、20 歳未満の利用割合が 30.8%と全路線の中で一番高くなっている。それに対して、御油地区地域路線は、65 歳以上の利用割合が 91.3%と一番高くなっている。



■ 9歳以下 ■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60~64歳 ■ 65~69歳 ■ 70~74歳 ■ 75~79歳 ■ 80歳以上

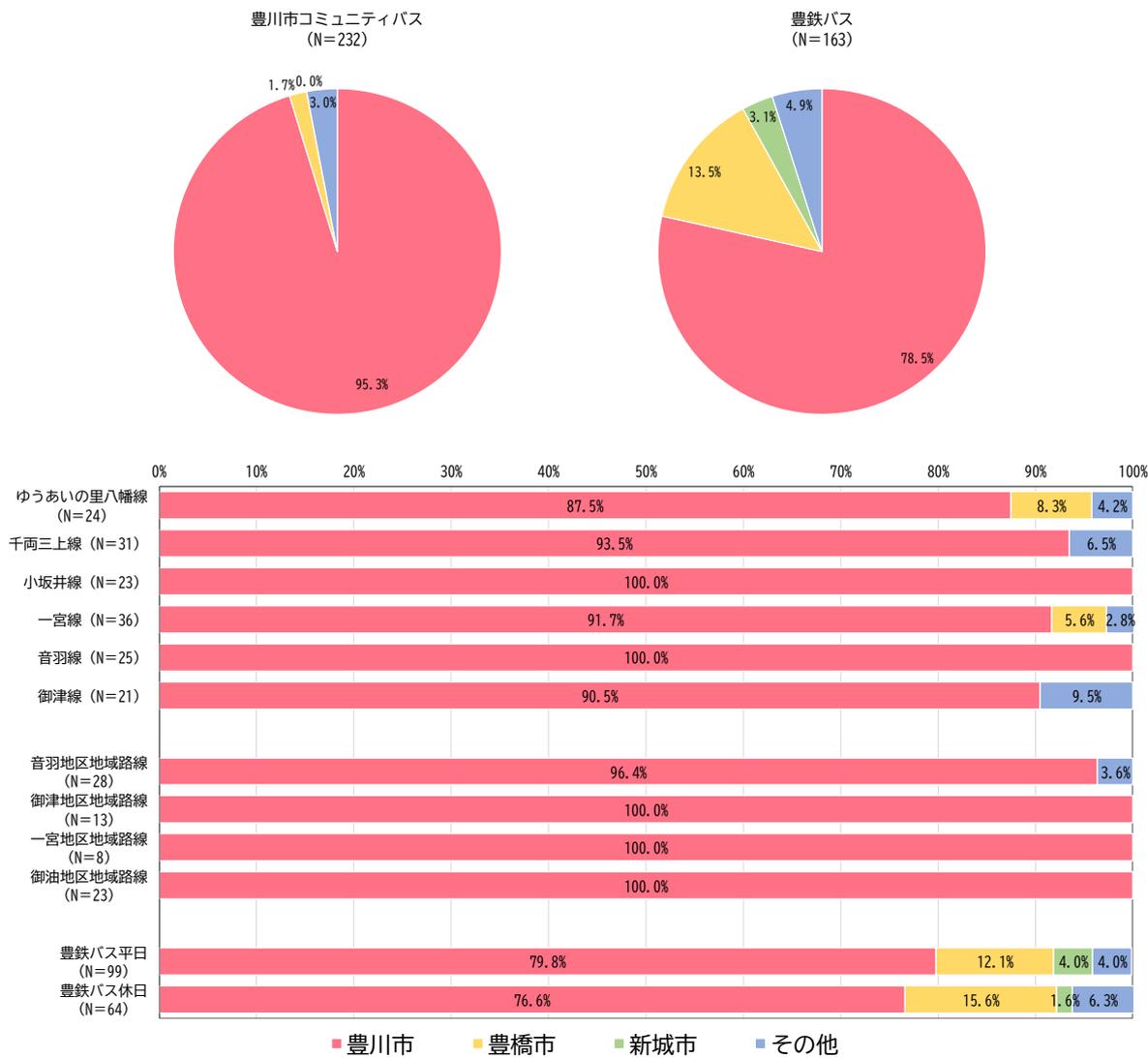
(3) 職業【問1(3)】

豊川市コミュニティバスでは、「無職」の利用割合が52.2%、豊鉄バスでは、「会社員・公務員」の利用割合が35.6%と、一番高くなっている。



(4) 居住地【問1(4)】

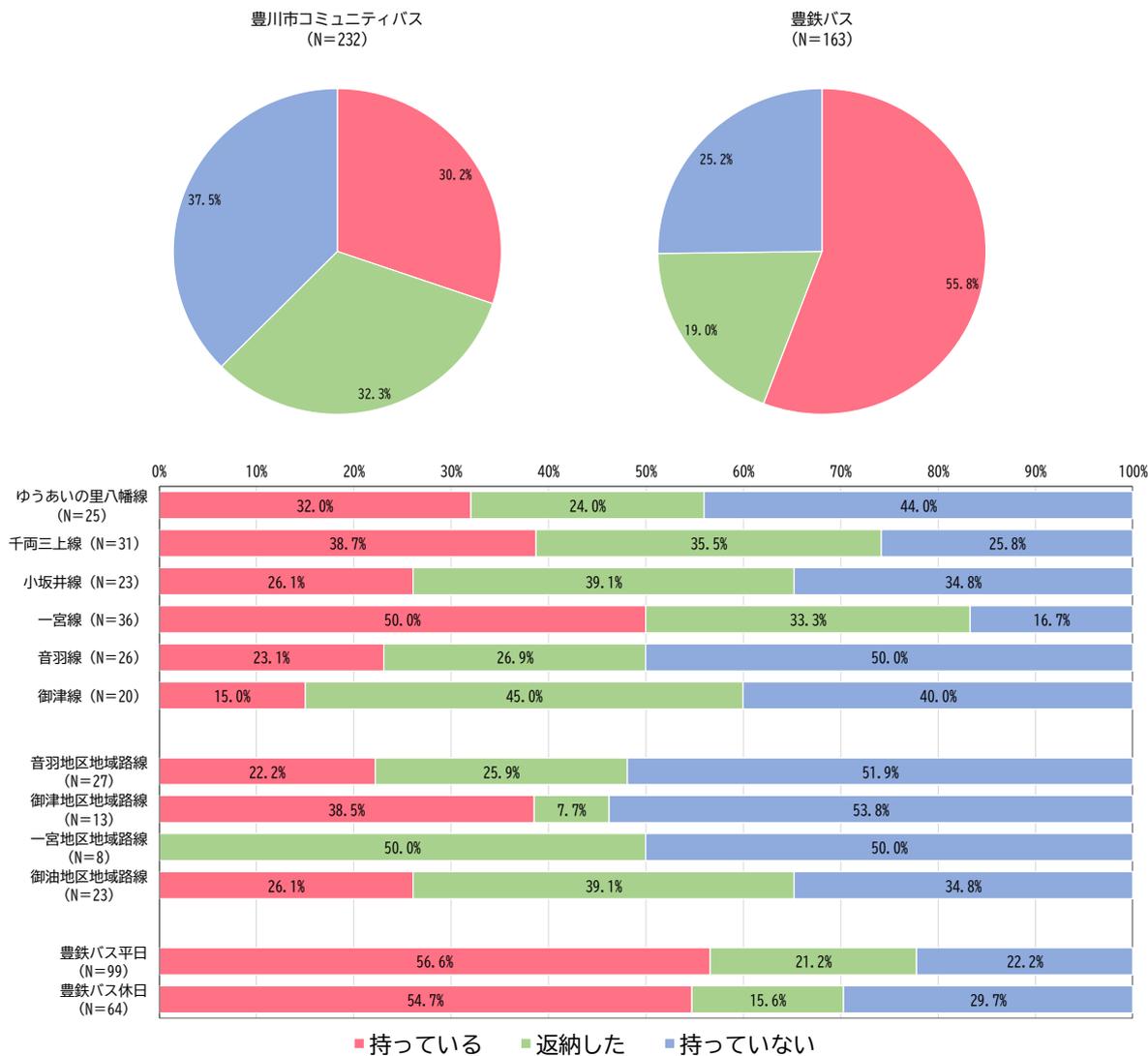
豊川市コミュニティバスは、「豊川市」居住者の利用割合が95.3%となっている。それに対して、豊鉄バスでは、78.5%となっており、「豊川市」居住者以外の利用割合が、豊川市コミュニティバスと比較して高くなっている。



(5) 運転免許の保有状況【問1(5)】

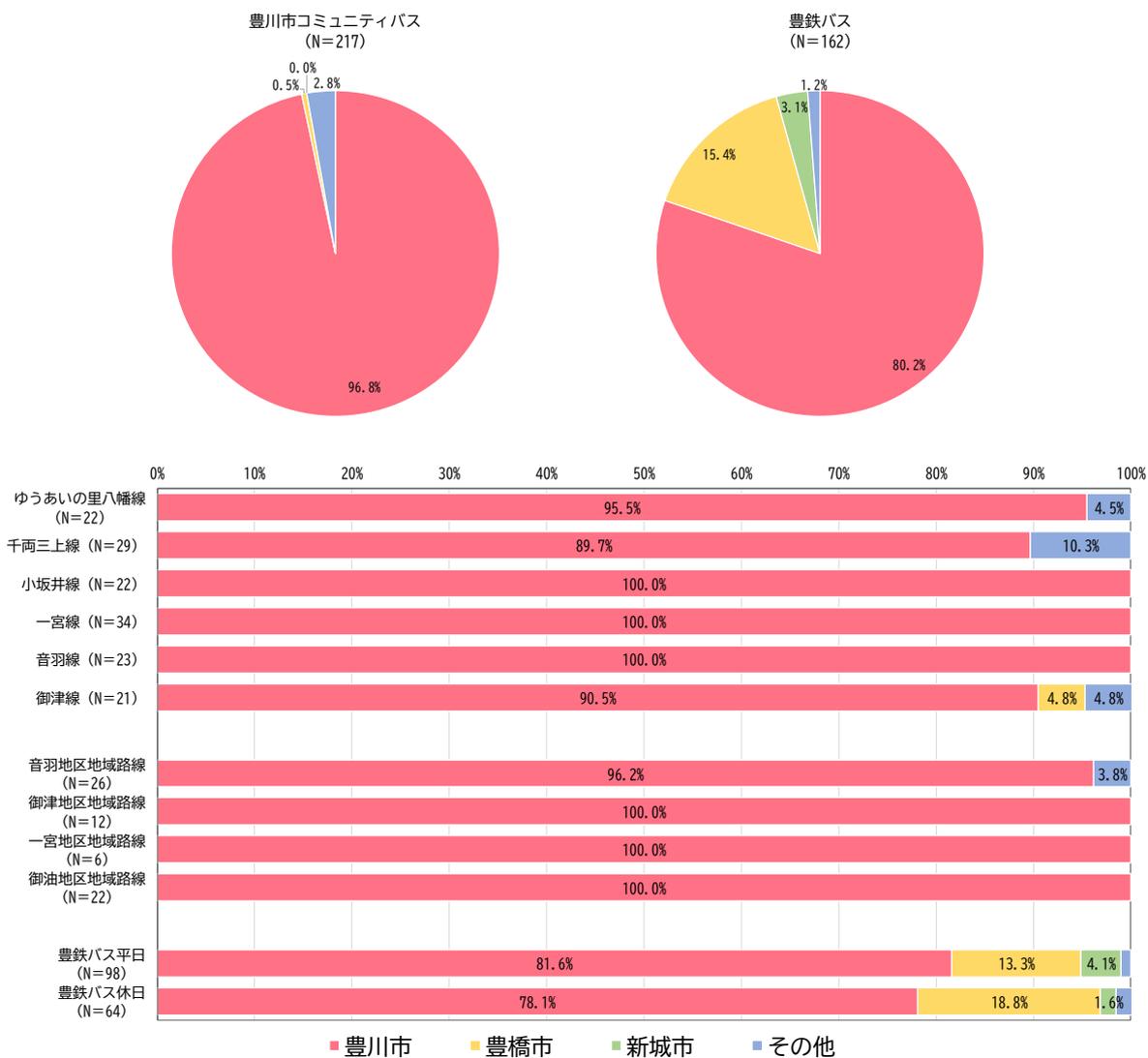
豊川市コミュニティバスの利用割合は、それぞれ「持っている」が30.2%、「返納した」が32.3%、「持っていない」が37.5%となっており、すべての項目の割合がほとんど同じとなっている。

それに対して、豊鉄バスは、「持っている」が55.8%と、豊鉄バス利用者は運転免許証を持っている割合が、豊川市コミュニティバス利用者と比較して高くなっている。



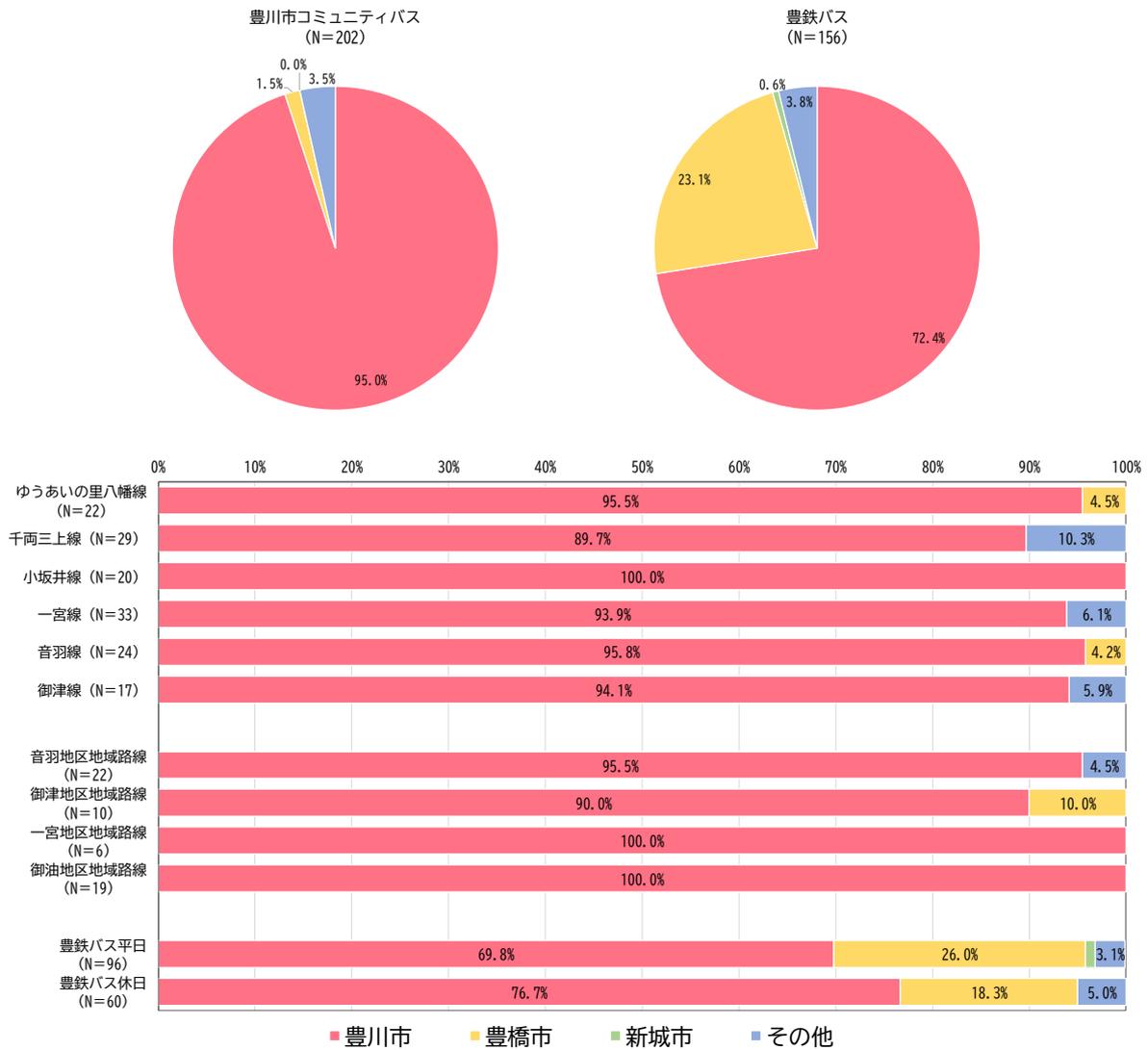
(6) 出発地【問 2 (1)】

豊川市コミュニティバスでは、「豊川市」を出発地とする利用割合が 96.8%となっている。それに対して、豊鉄バスでは、「豊川市」を出発地とする利用割合は 80.2%となっており、約 20%が豊川市外を出発地としている。



(7) 目的地【問 2 (1)】

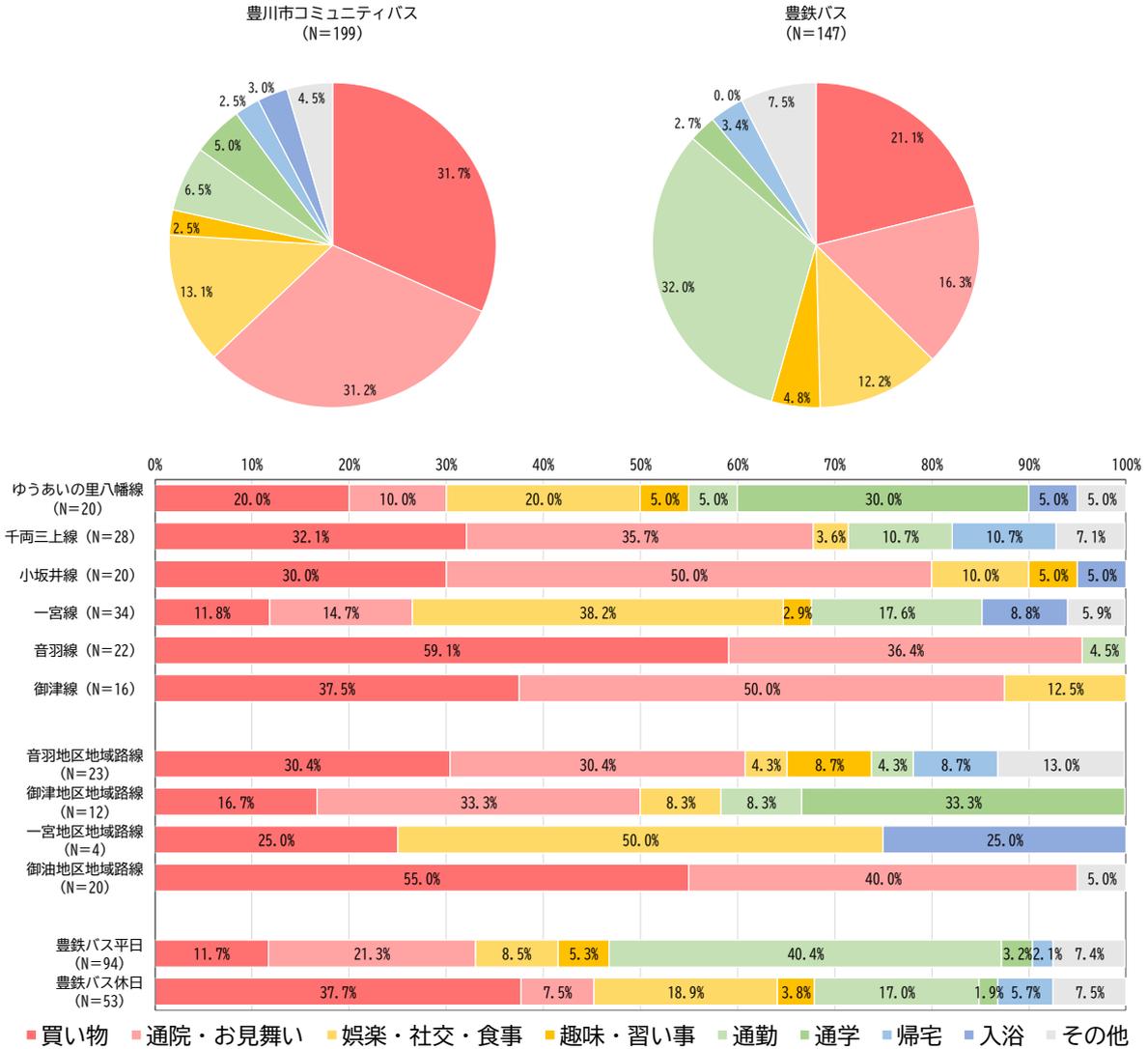
豊川市コミュニティバスでは、「豊川市」を目的地とする利用割合が 95.0%となっている。それに対して、豊鉄バスでは、「豊川市」を目的地とする利用割合は 72.4%となっており、約 30%が豊川市外を目的地としている。



(8) 目的【問2 (3)】

豊川市コミュニティバスでは、「買い物」や「通院・お見舞い」での利用割合が高く、豊鉄バスでは、「通勤」目的での利用割合が高くなっている。

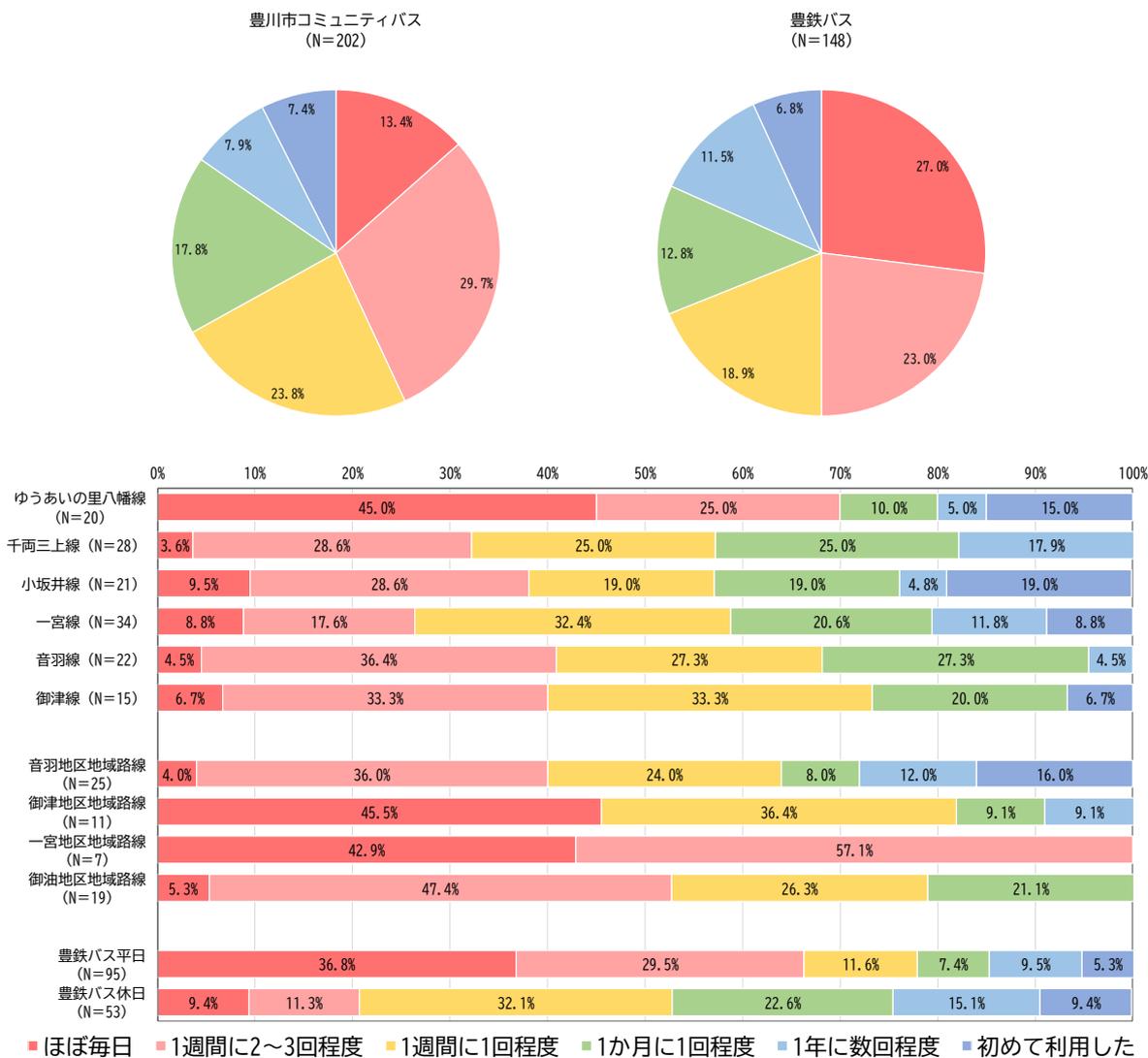
豊鉄バスは、平日の利用割合は、「通勤」は約40%と高い割合となっているが、休日になると「買い物」が約40%と高い割合になっている。



(9) 利用頻度【問 2 (9)】

1週間に1回以上利用する選択肢の回答割合が、豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに約70%と高くなっている。

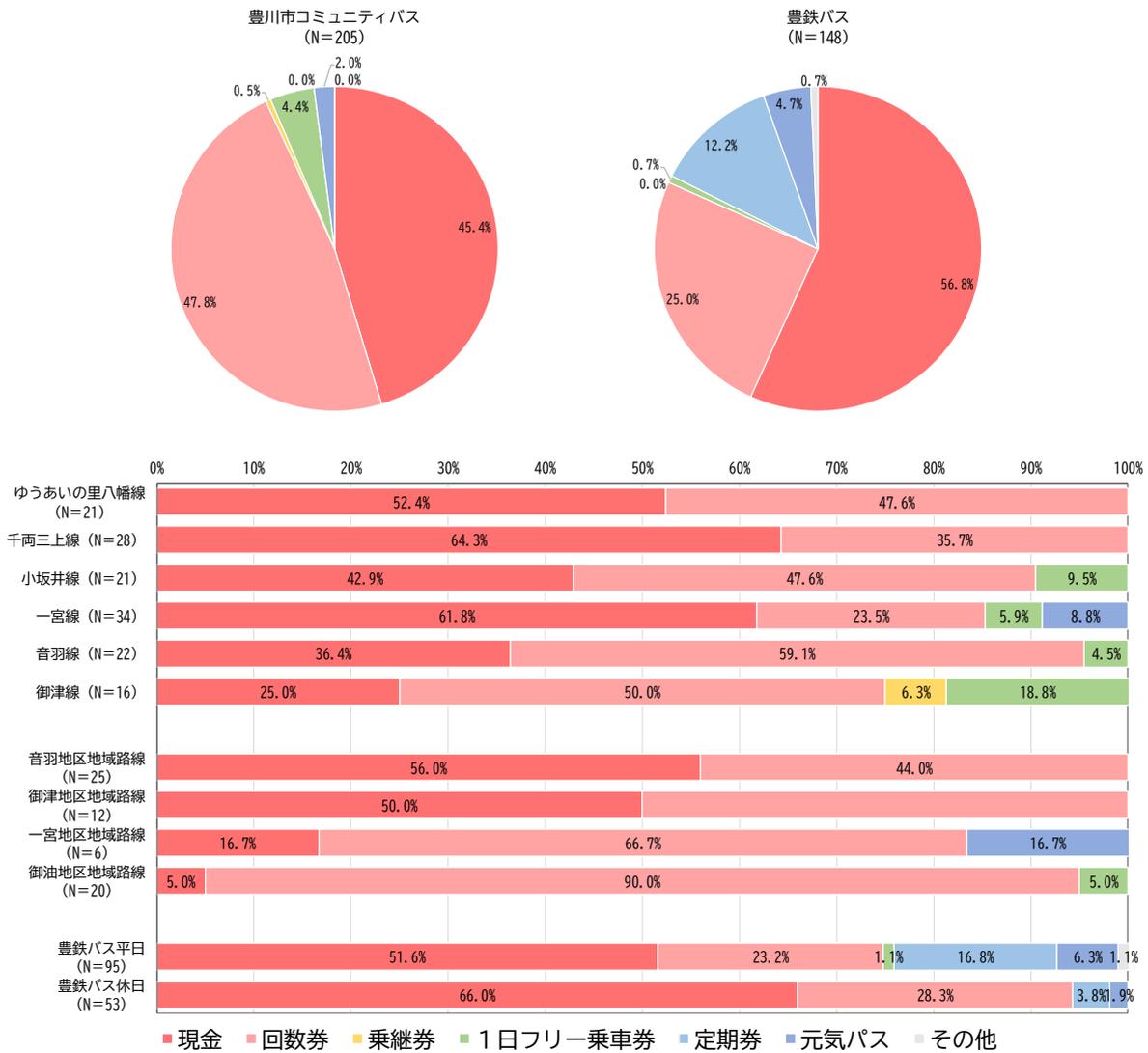
路線別にみると、一宮地区地域路線では「ほぼ毎日」、「1週間に2～3回程度」の合計割合が100%となっている。



(10) 支払方法【問2(8)】

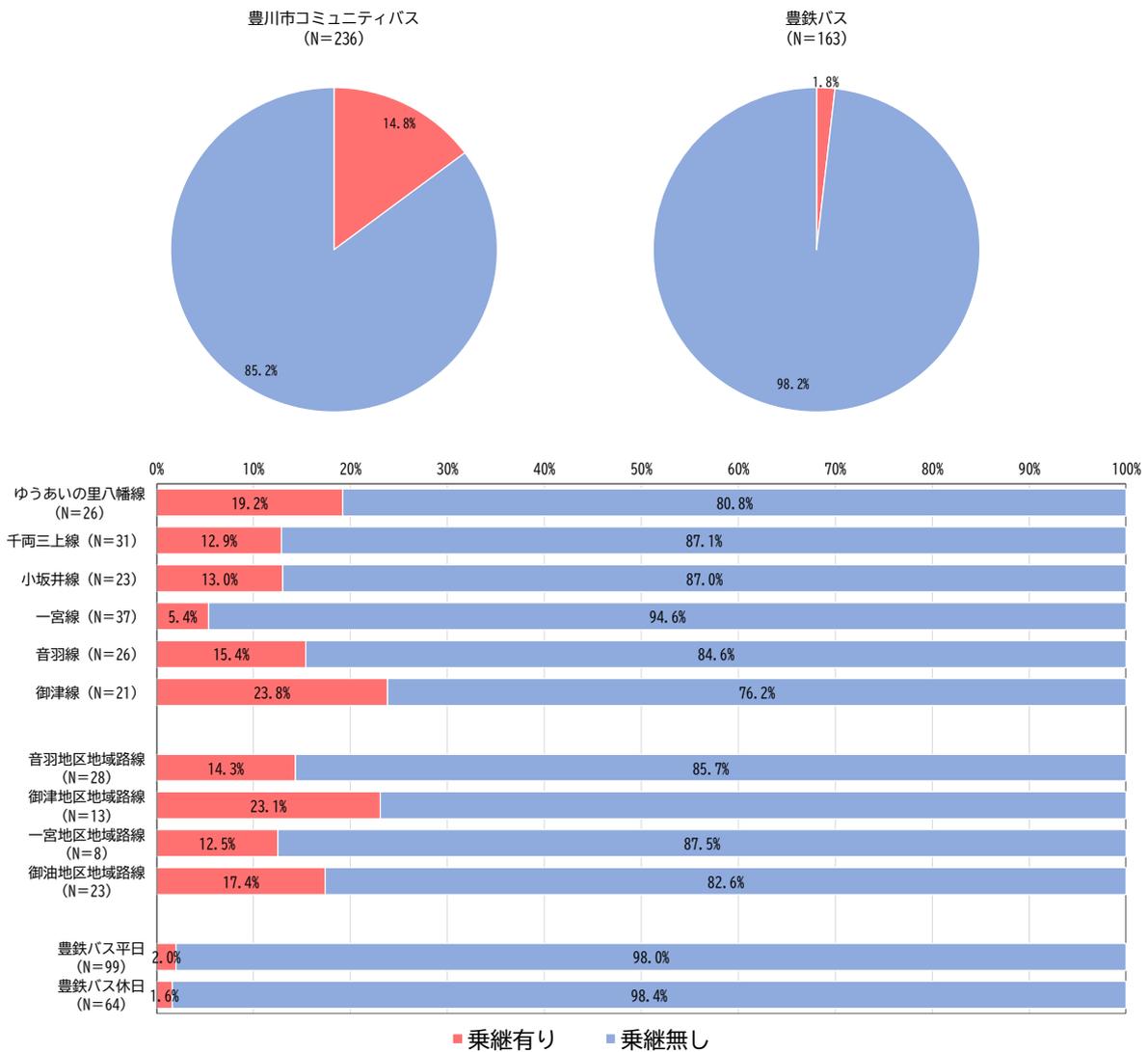
豊川市コミュニティバスでは、「回数券」の利用割合が47.8%と一番高くなっている。それに対して、豊鉄バスでは、「現金」の回答割合が56.8%と一番高くなっている。

また、路線別にみると、「現金」と「回数券」での支払いの合計割合が100%となっている路線が4路線、90%以上となっている路線が4路線と、路線数の半分以上を占めている。



(11) 乗継利用【問 2 (2)】

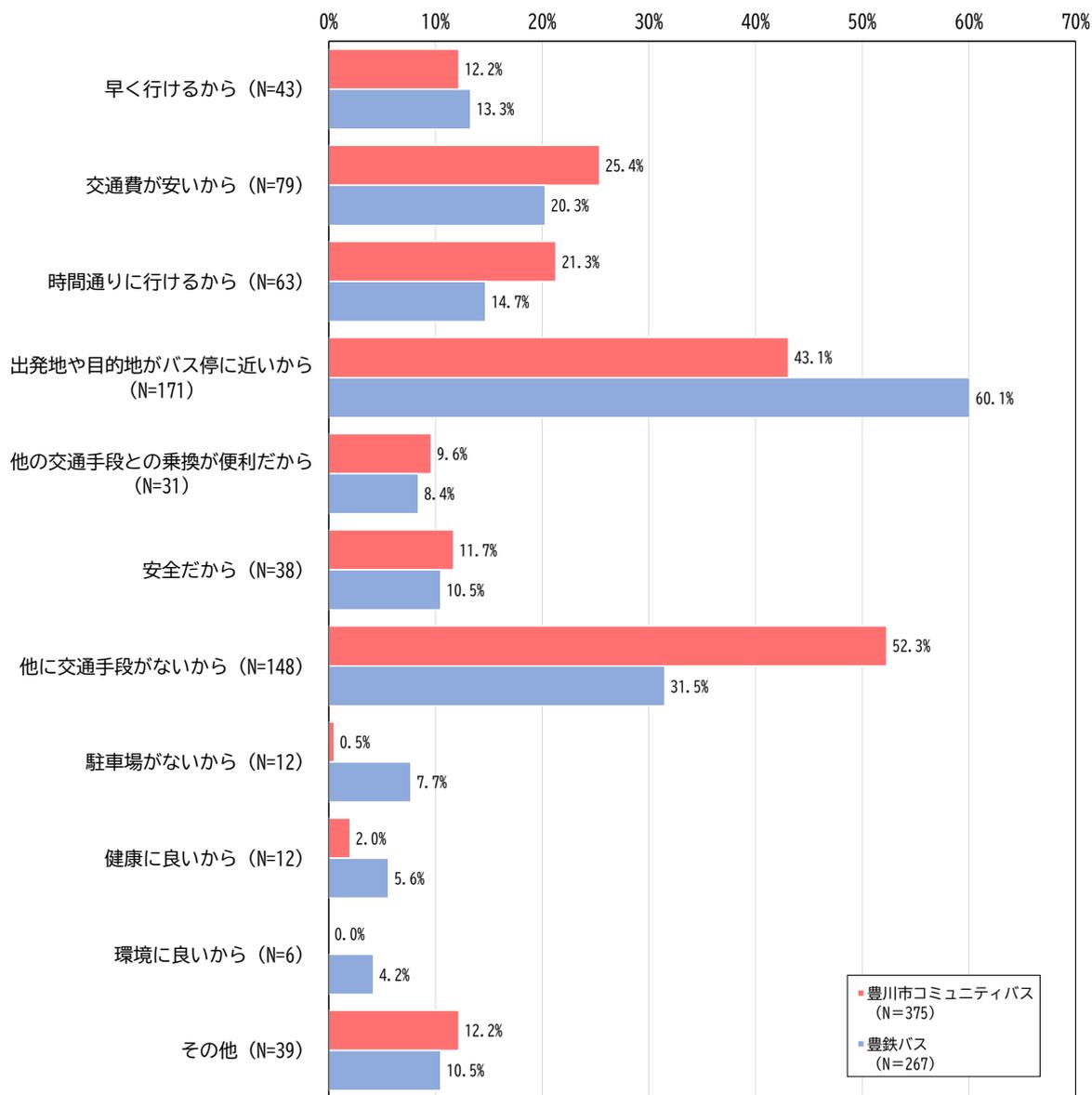
豊川市コミュニティバスでは、乗継利用が 14.8%となっているが、豊鉄バスでは、乗継利用が 1.8%となっており、乗継利用がほとんどされていない。



(12) バスを利用した理由【問 2 (11)】 [複数選択可]

豊川市コミュニティバスでは、「他に交通手段がないから」の回答割合が 52.3%と一番高くなっており、豊鉄バスでは、「出発地や目的地がバス停に近いから」の回答割合が 60.1%と一番高くなっている。

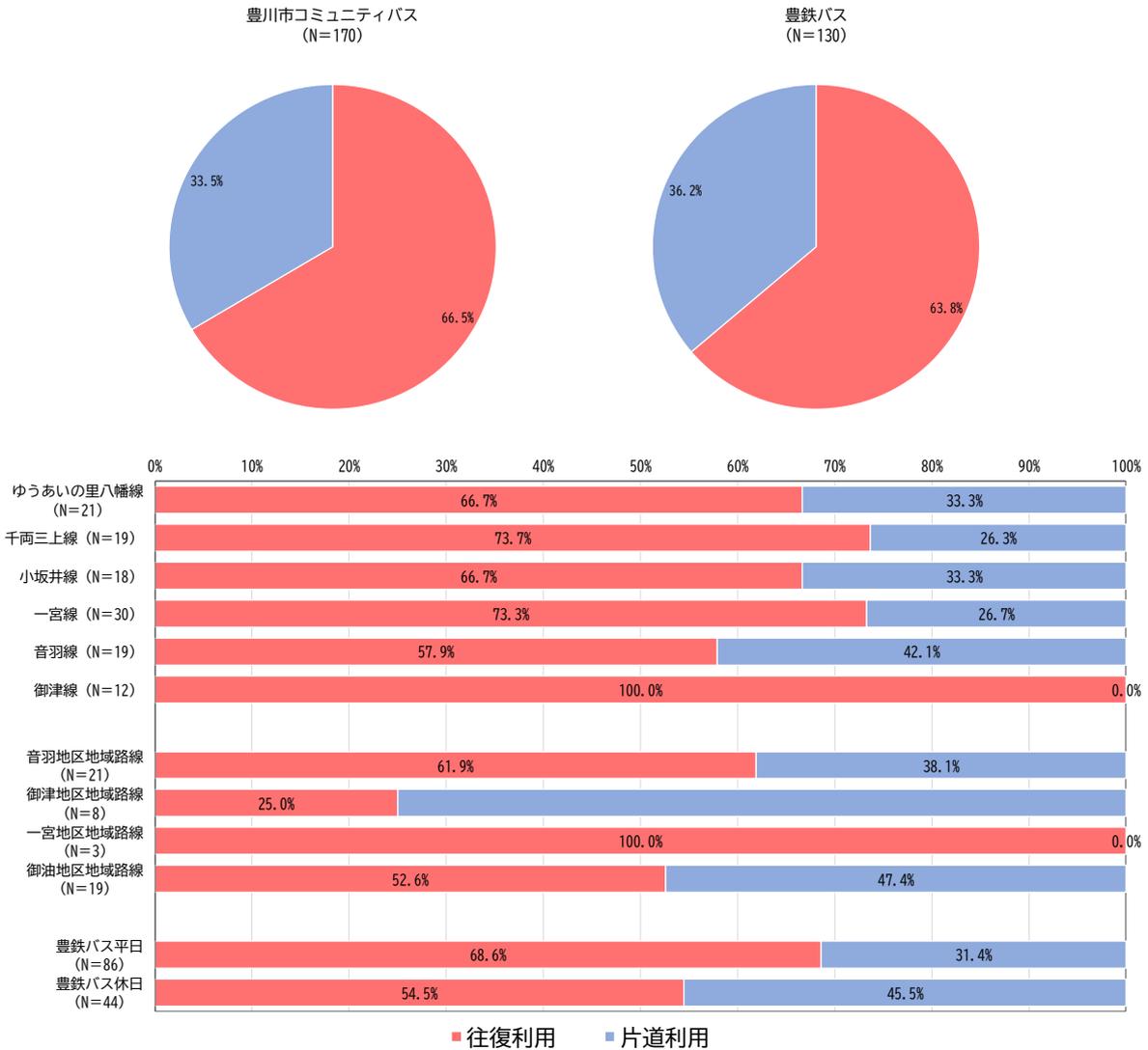
「駐車場がないから」や「健康に良いから」、「環境に良いから」の回答割合は、特に、豊川市コミュニティバス利用者において低くなっている。



(13) バスの往復利用【問 2 (12)】

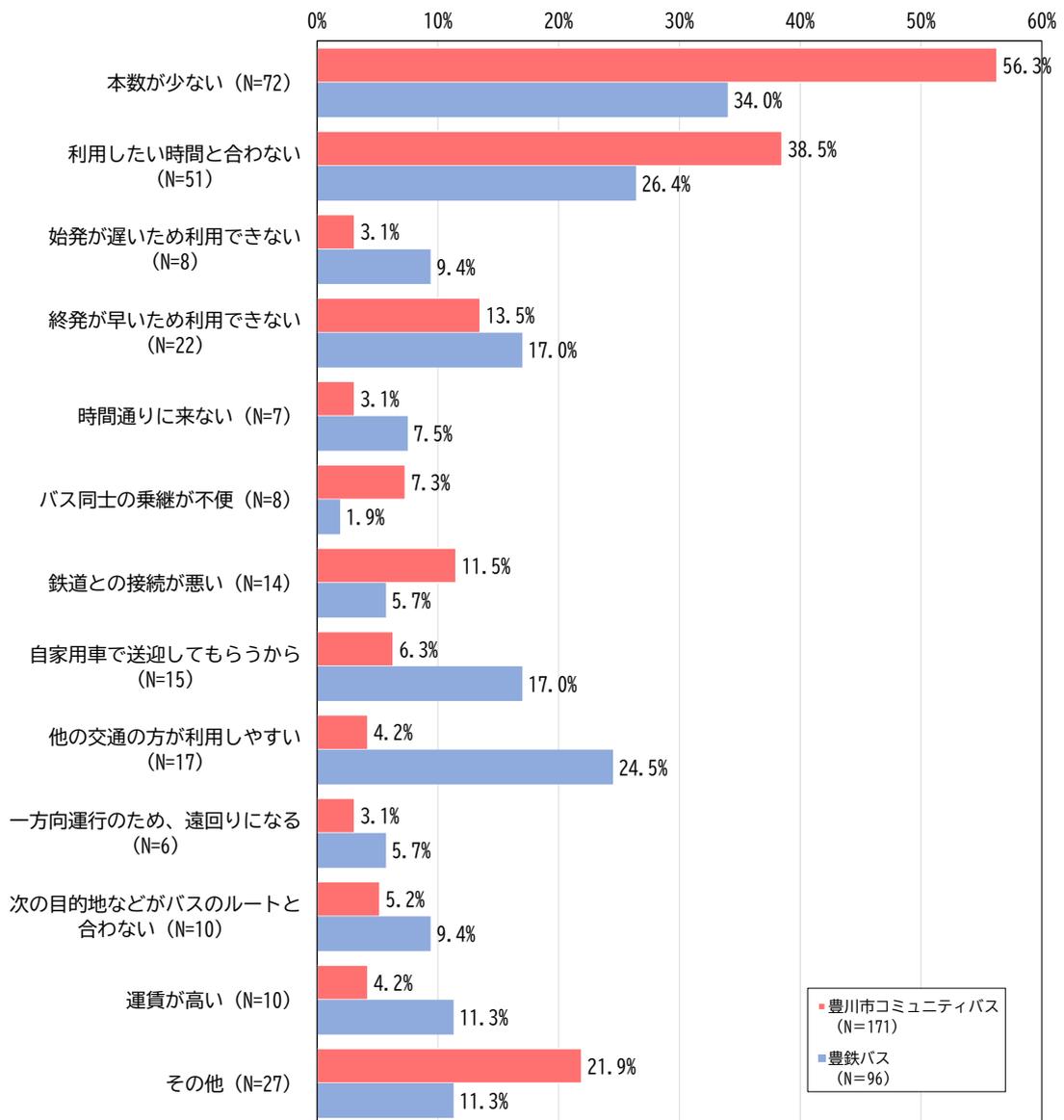
豊川市コミュニティバスの往復利用割合は 66.5%、豊鉄バスの往復利用割合は 63.8%と、豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに60%以上が往復利用をしている。

また、路線別にみると、御津地区地域路線では往復利用割合が25.0%と低いが、その他の全ての路線で往復利用割合が50%以上となっている。



(14) 片道利用の理由【問 2 (13)】〔複数選択可〕

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに「本数が少ない」、「利用したい時間と合わない」の回答割合が高くなっており、豊川市コミュニティバスの片道利用者のうち半数以上が「本数が少ない」と回答している。



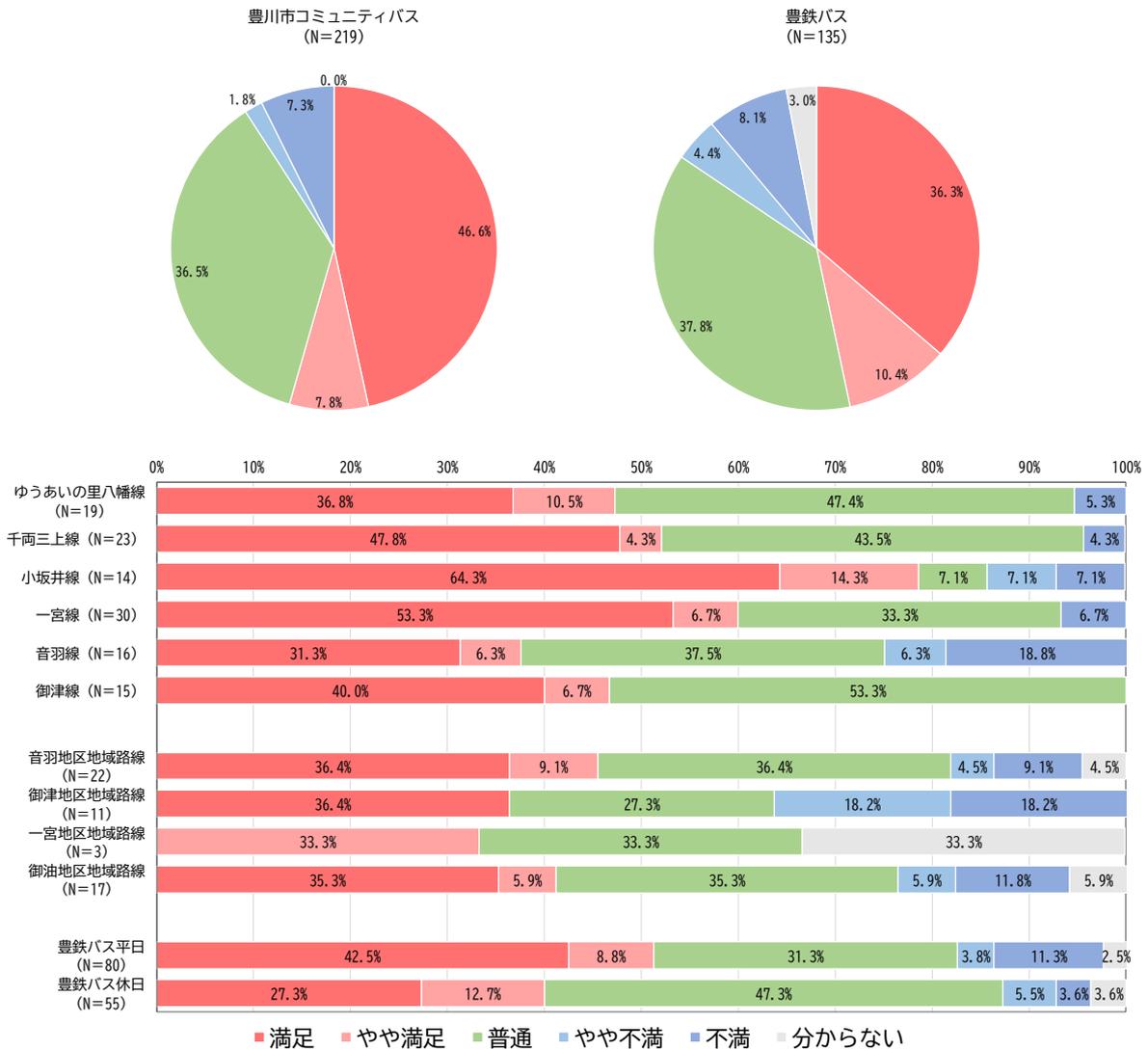
(15) バス利用者の満足度

1) 運賃【問3 ①】

豊川市コミュニティバスでは、「満足」、「やや満足」の回答割合が 54.4%と半数以上が満足している結果となっている。

それに対して、豊鉄バスでは、「満足」、「やや満足」の回答割合が 46.7%となっており、「満足」の回答割合が、豊川市コミュニティバスと比較して約 10%低くなっている。

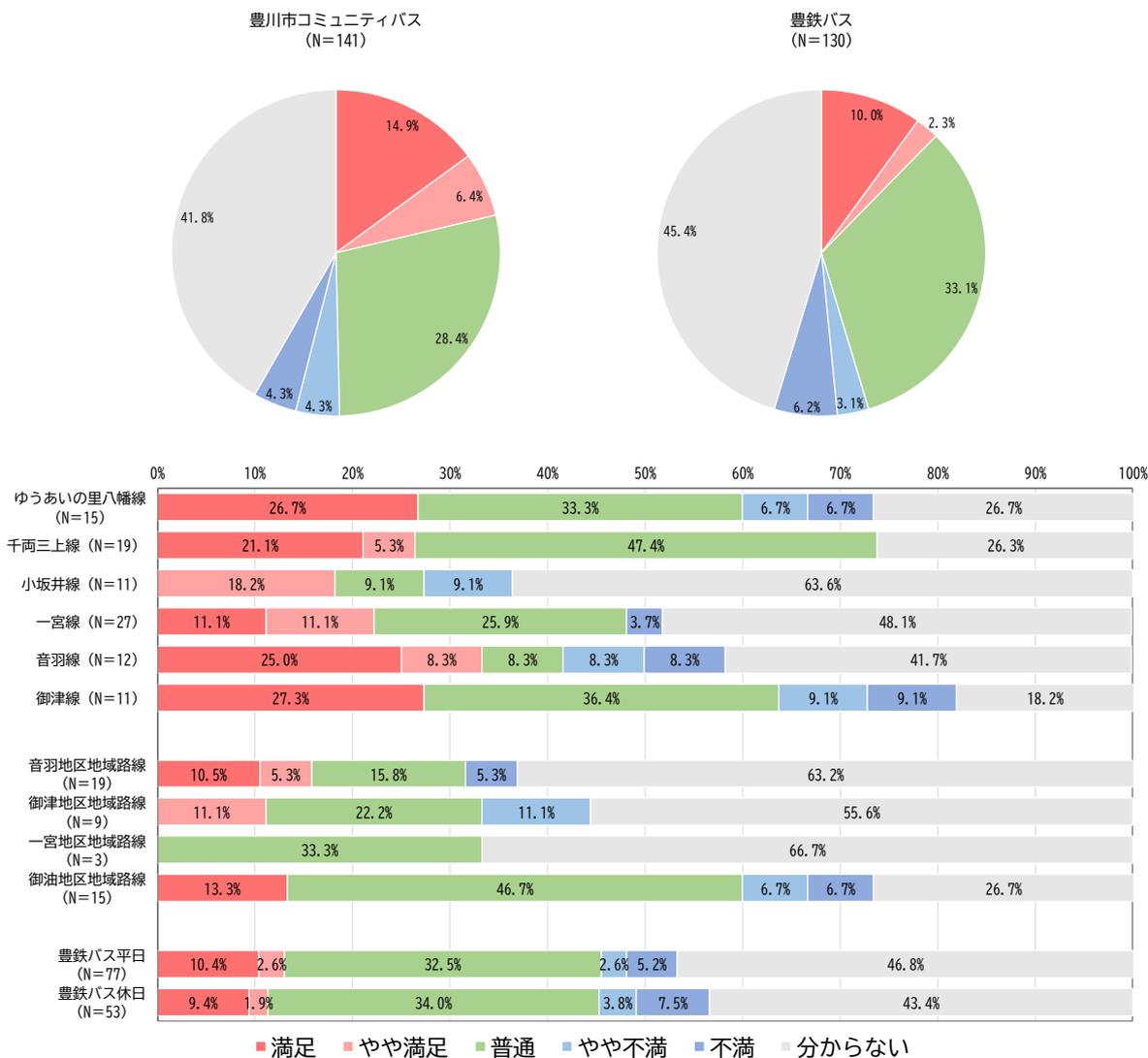
路線別にみると、小坂井線では、「満足」、「やや満足」の回答割合が約 80%と高い値になっている。また、御津地区地域路線では、「不満」、「やや不満」の回答割合が 36.4%と一番高くなっている。



2) 市内を2つのゾーンに分けた運賃体系【問3 ②】

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「分からない」、「普通」の回答割合が高くなっている。

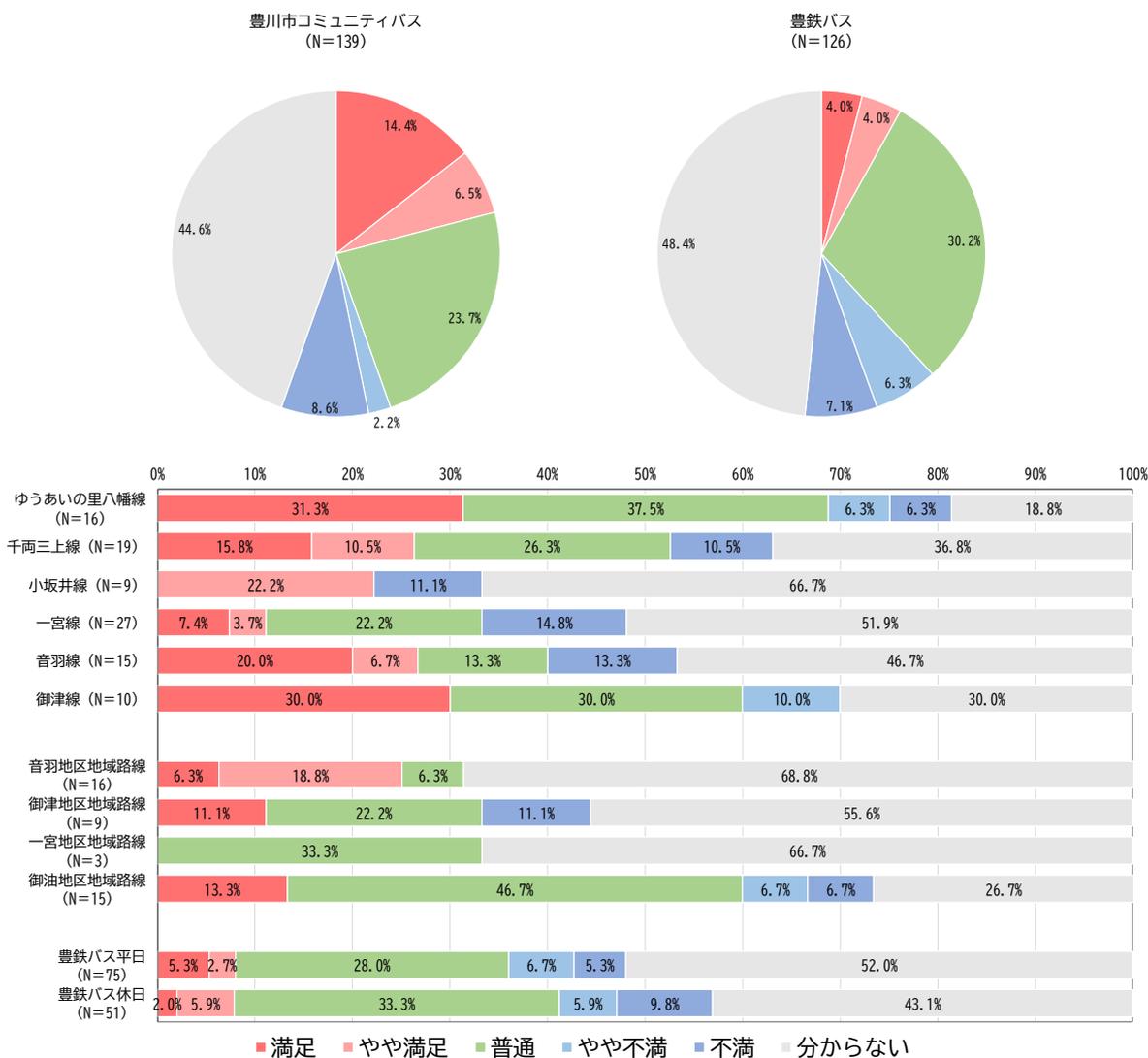
また、路線別にみると、御津線は「満足」が27.3%と一番高いが、「不満」、「やや不満」も18.2%と一番高い割合となっている。



3) ゾーンをまたいだ際の運賃の加算【問3 ③】

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「分からない」、「普通」の回答割合が高くなっている。

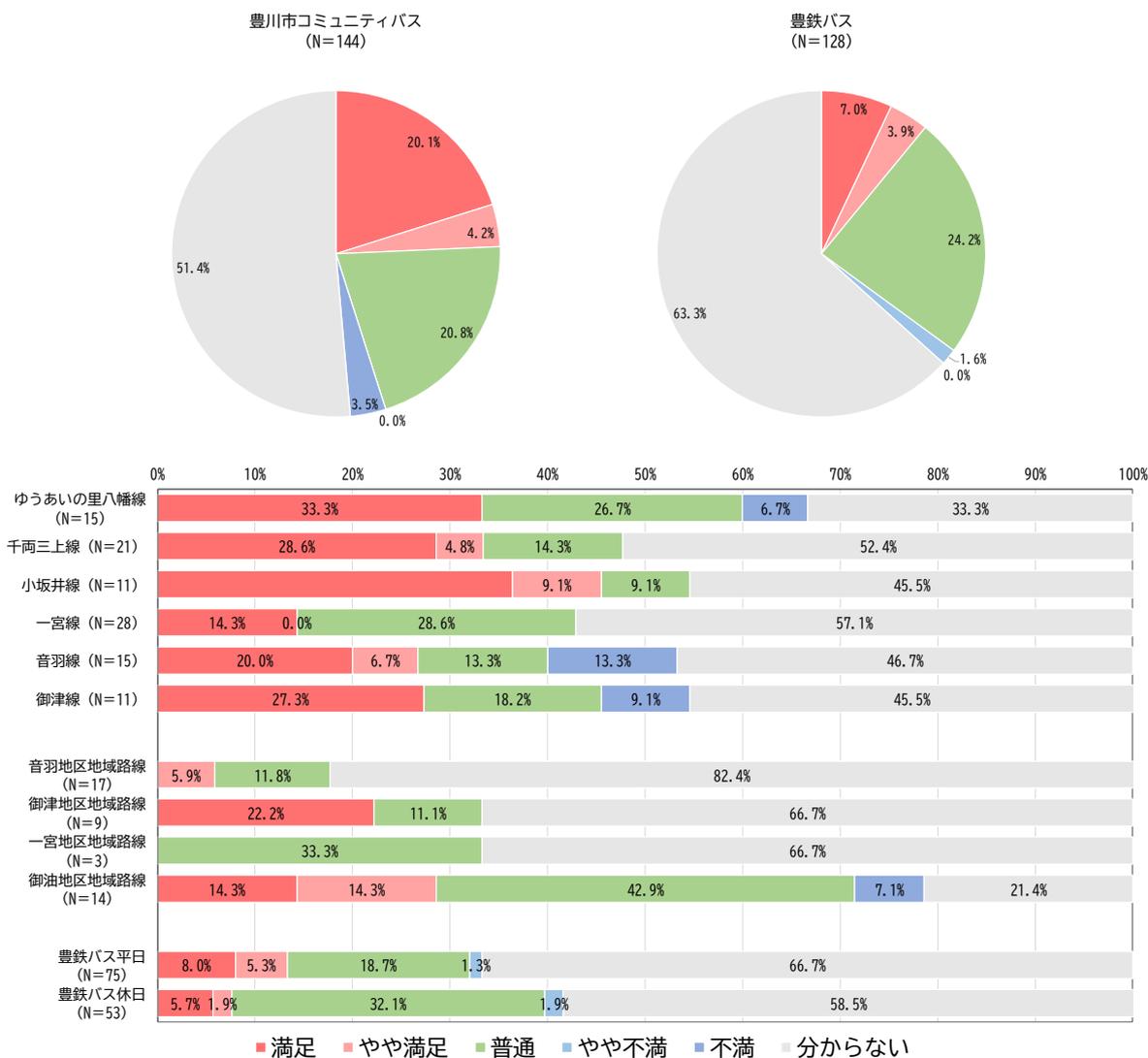
また、路線別にみると、ゆうあいの里八幡線では、「満足」の回答割合が高くなっている。それに対して、豊鉄バス休日では、「不満」、「やや不満」の回答割合が高くなっている。



4) 1日フリー乗車券の販売額【問3 ④】

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに「分からない」の回答割合が50%以上と高くなっている。

「不満」、「やや不満」の回答割合に関しては、豊川市コミュニティバスでは3.5%、豊鉄バスでは1.6%とかなり低くなっている。

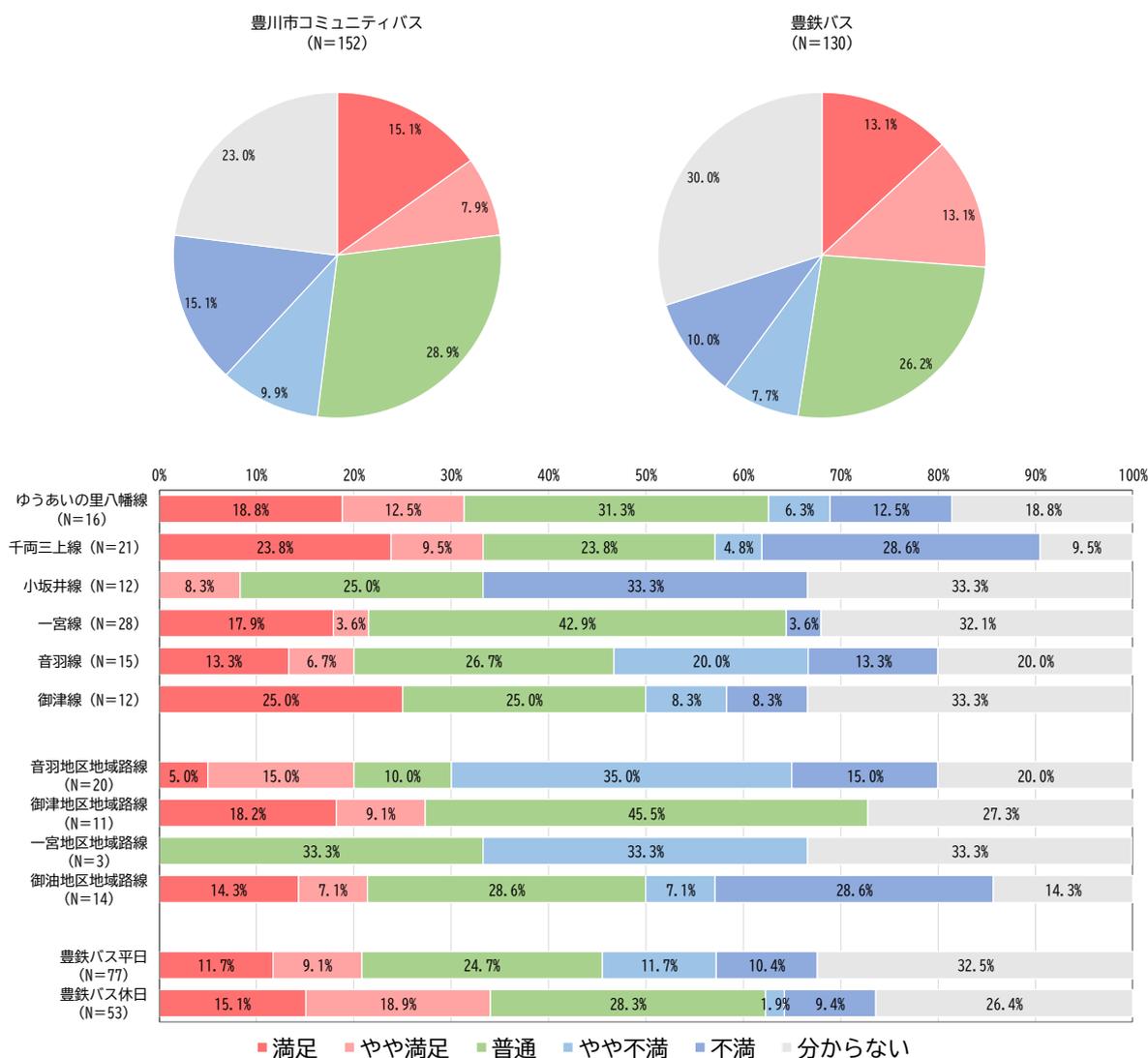


5) バスと鉄道の乗換のしやすさ【問3 ⑤】

豊川市コミュニティバスでは、「不満」、「やや不満」の回答割合が25%となっている。

それに対して、豊鉄バスでは、「満足」、「やや満足」の回答割合が26.2%となっている。

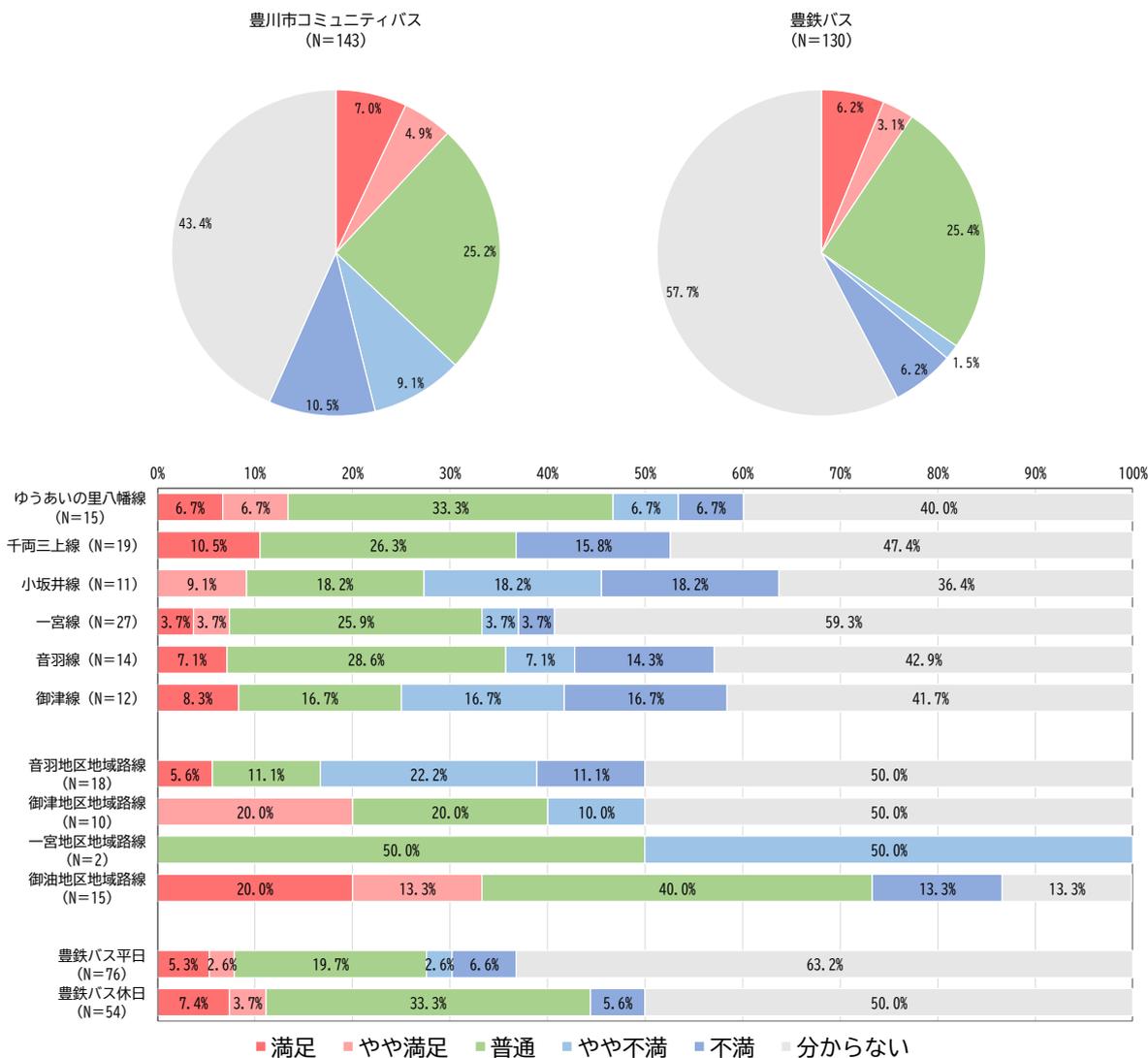
路線別にみると、特に、ゆうあいの里八幡線、千両三上線、豊鉄バス休日において、「満足」「やや満足」の回答割合が高くなっている。それに対して、音羽地区地域路線における「不満」、「やや不満」の回答割合が50%と半数を占めている。



6) バス同士の乗継のしやすさ【問3 ⑥】

豊川市コミュニティバス、豊鉄バス、それぞれ「分からない」、「普通」の回答割合が 68.6%、83.1%とかなり高い割合を占めている。

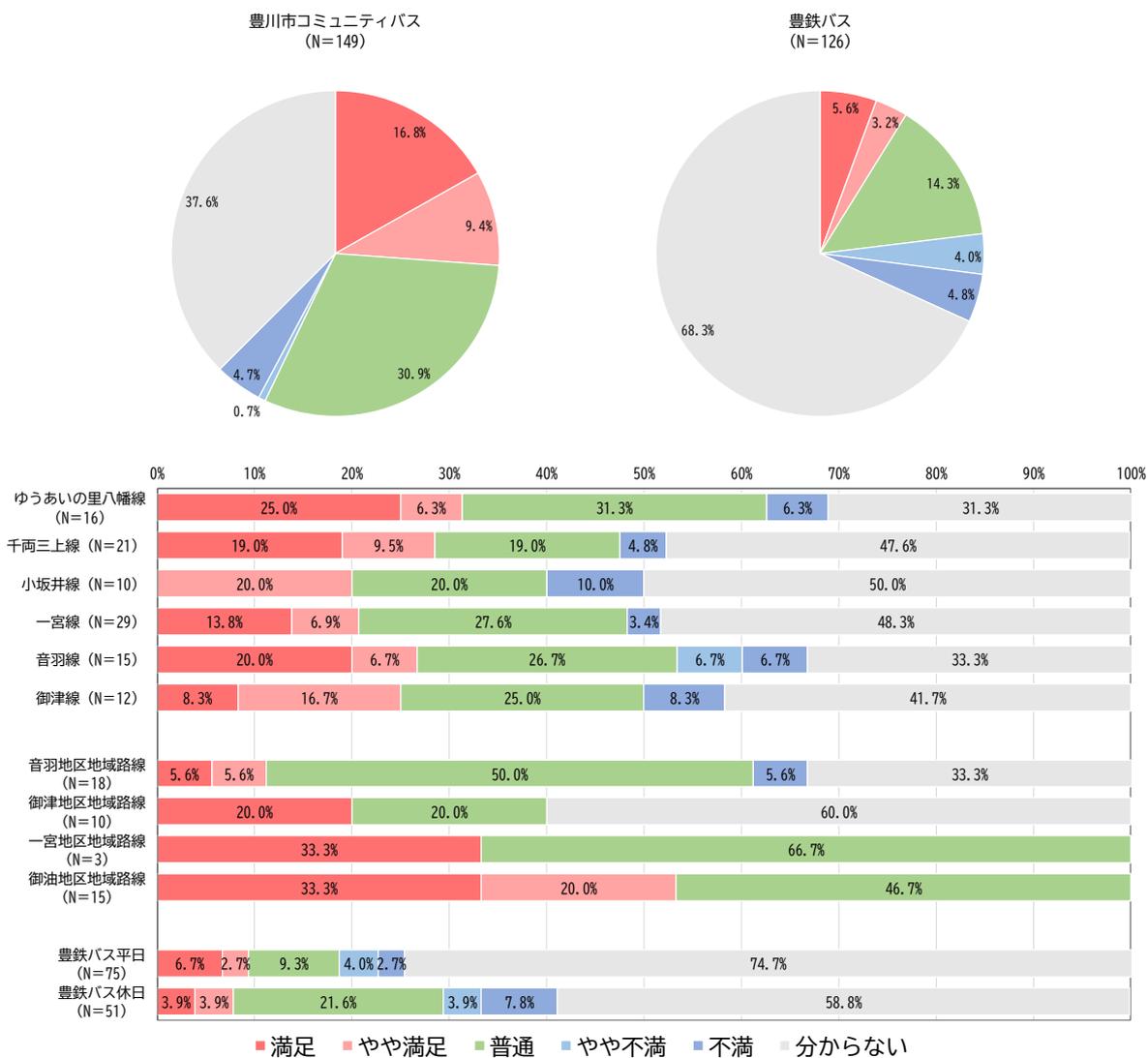
また、豊川市コミュニティバスにおいては、「不満」、「やや不満」の回答割合が約 20%と、「満足」、「やや満足」と比較して高くなっている。



7) 乗継券の使いやすさ【問3 ⑦】

豊川市コミュニティバスでは、「満足」、「やや満足」の回答割合が26.2%となっている。

それに対して、豊鉄バスでは、「普通」、「分からない」の回答割合が82.6%と、かなり高い割合となっている。

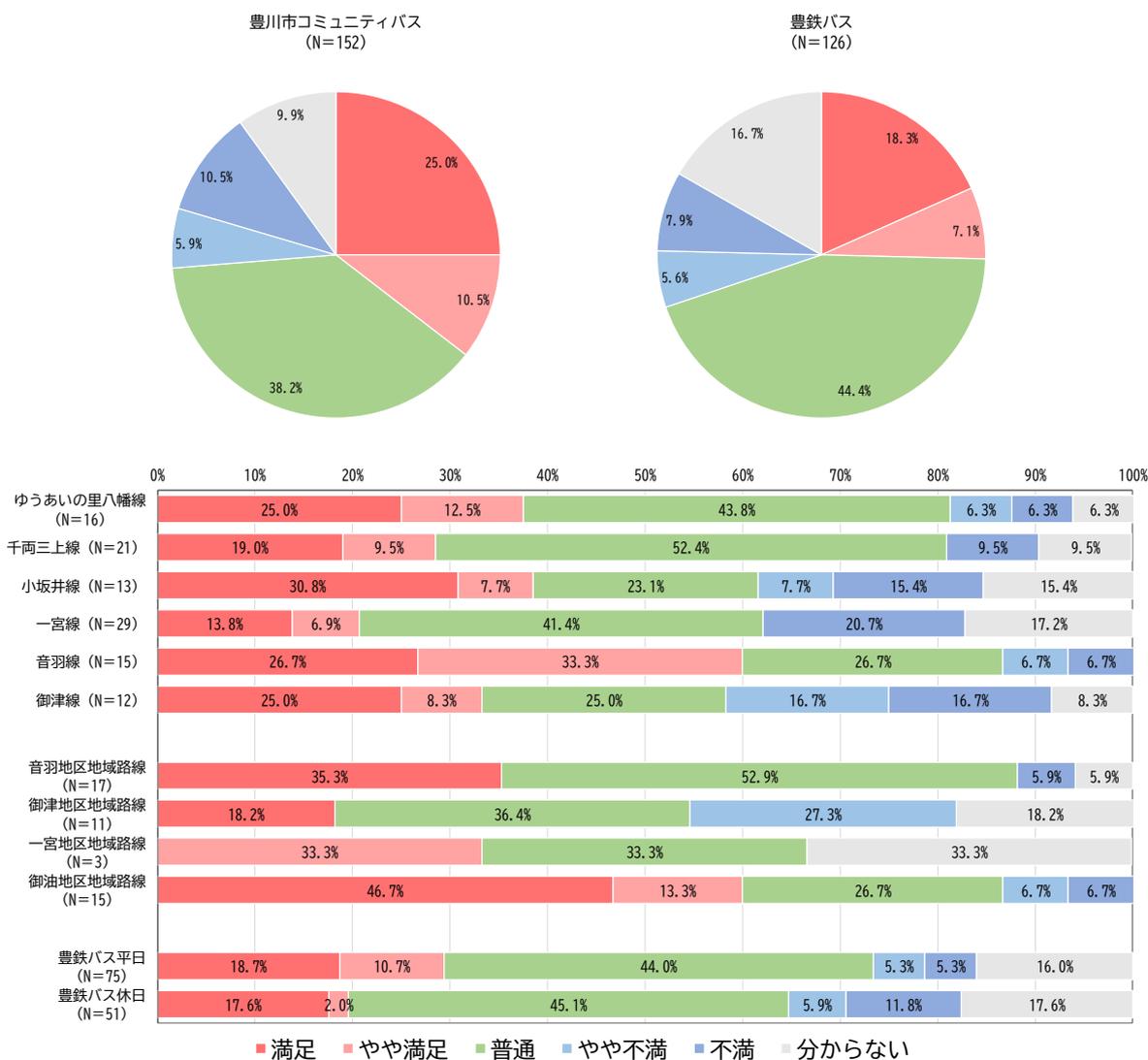


8) 運行日（運行曜日）【問3 ⑧】

豊川市コミュニティバスでは、「満足」、「やや満足」の回答割合が35.5%となっている。

また、豊鉄バスに関しても、「不満」、「やや不満」と比較して、「満足」、「やや満足」の回答割合が高くなっている。

路線別にみると、御油地区地域路線では、「満足」の回答割合が46.7%と高くなっている。

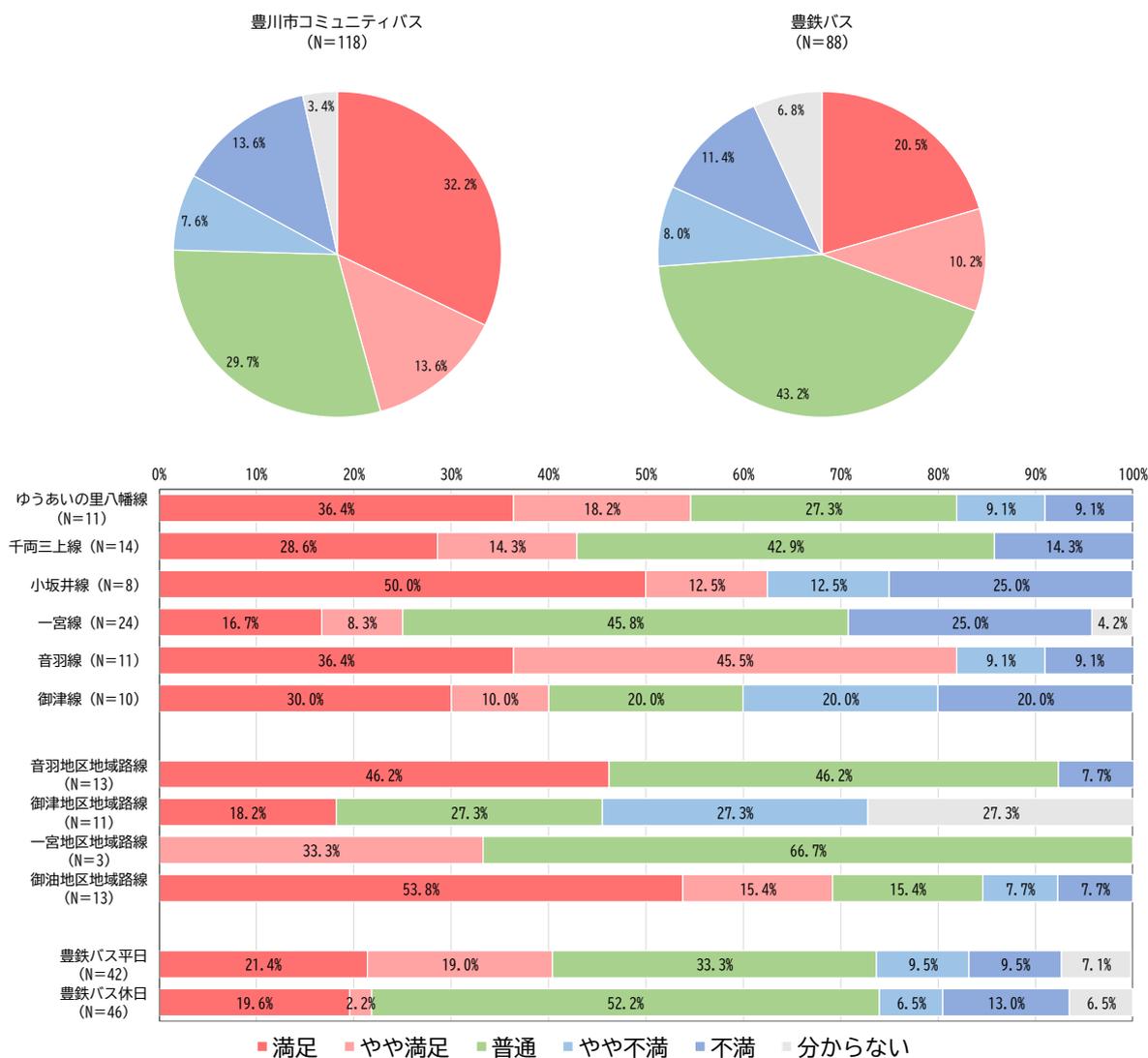


9) 1日の運行本数【問3 ⑨】

豊川市コミュニティバスでは、「満足」、「やや満足」の回答割合が、45.8%となっている。

それに対して、豊鉄バスでは、「普通」、「分からない」の回答割合が50%となっている。

また、路線別にみると、音羽線での「満足」、「やや満足」の回答割合が、81.9%とかなり高くなっている。

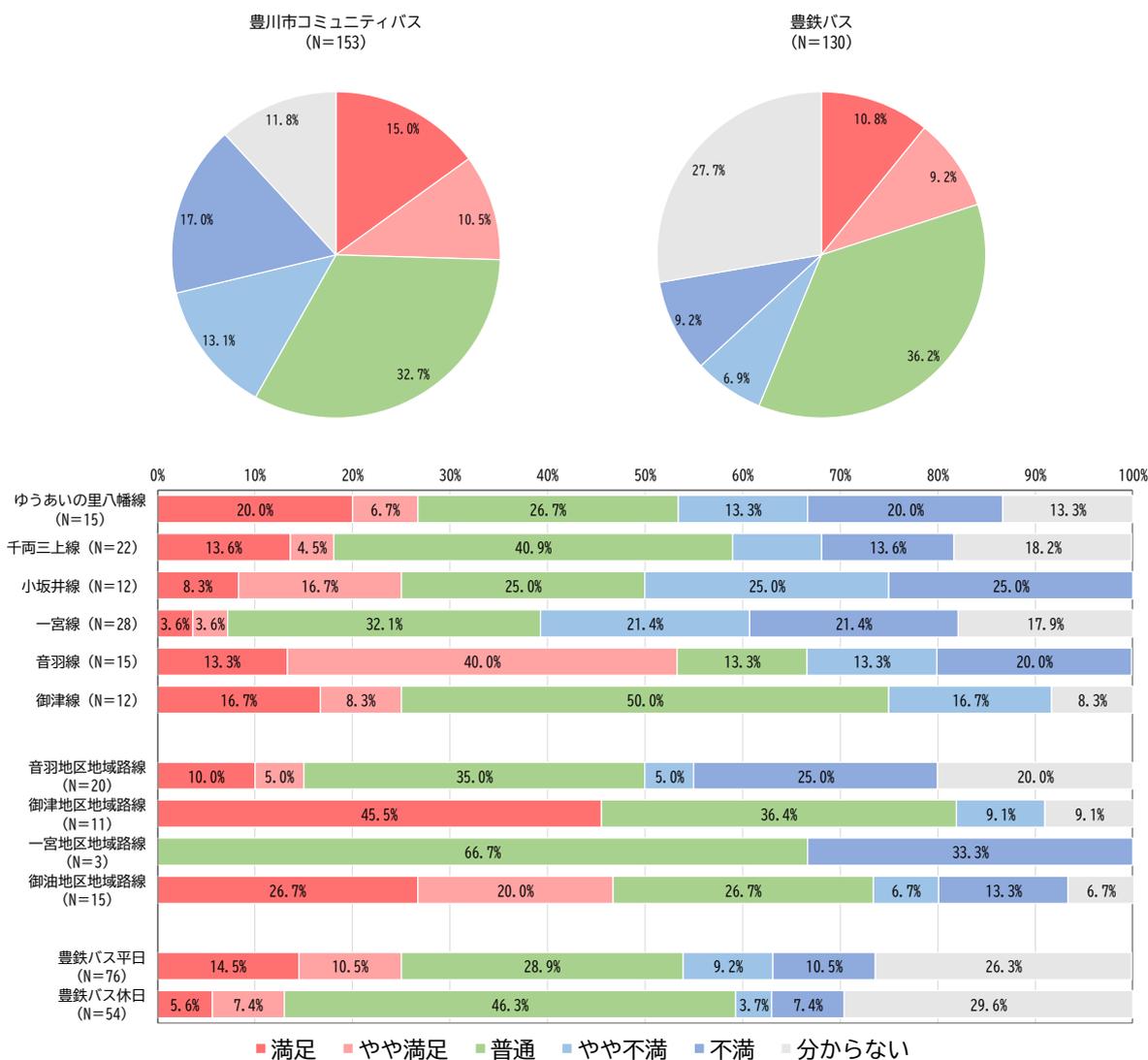


10) 始発便の時刻【問3 ⑩】

豊川市コミュニティバスでは、「不満」、「やや不満」の回答割合が「満足」、「やや満足」と比較して、少し高くなっている。

それに対して、豊鉄バスでは「満足」、「やや満足」の回答割合が高くなっている。

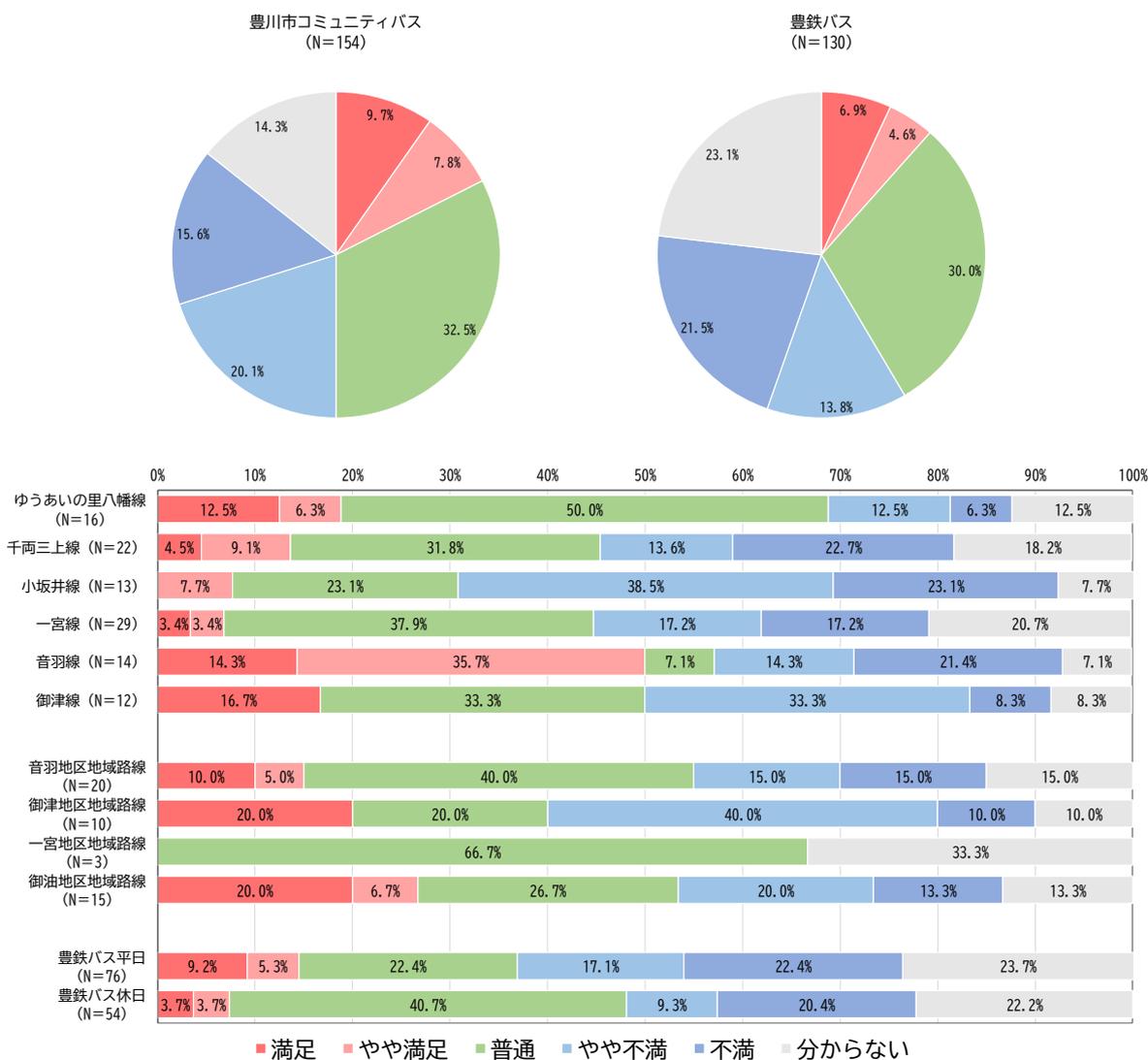
また、豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「普通」が一番高い回答割合となっている。



11) 終発便の時刻【問3 ⑪】

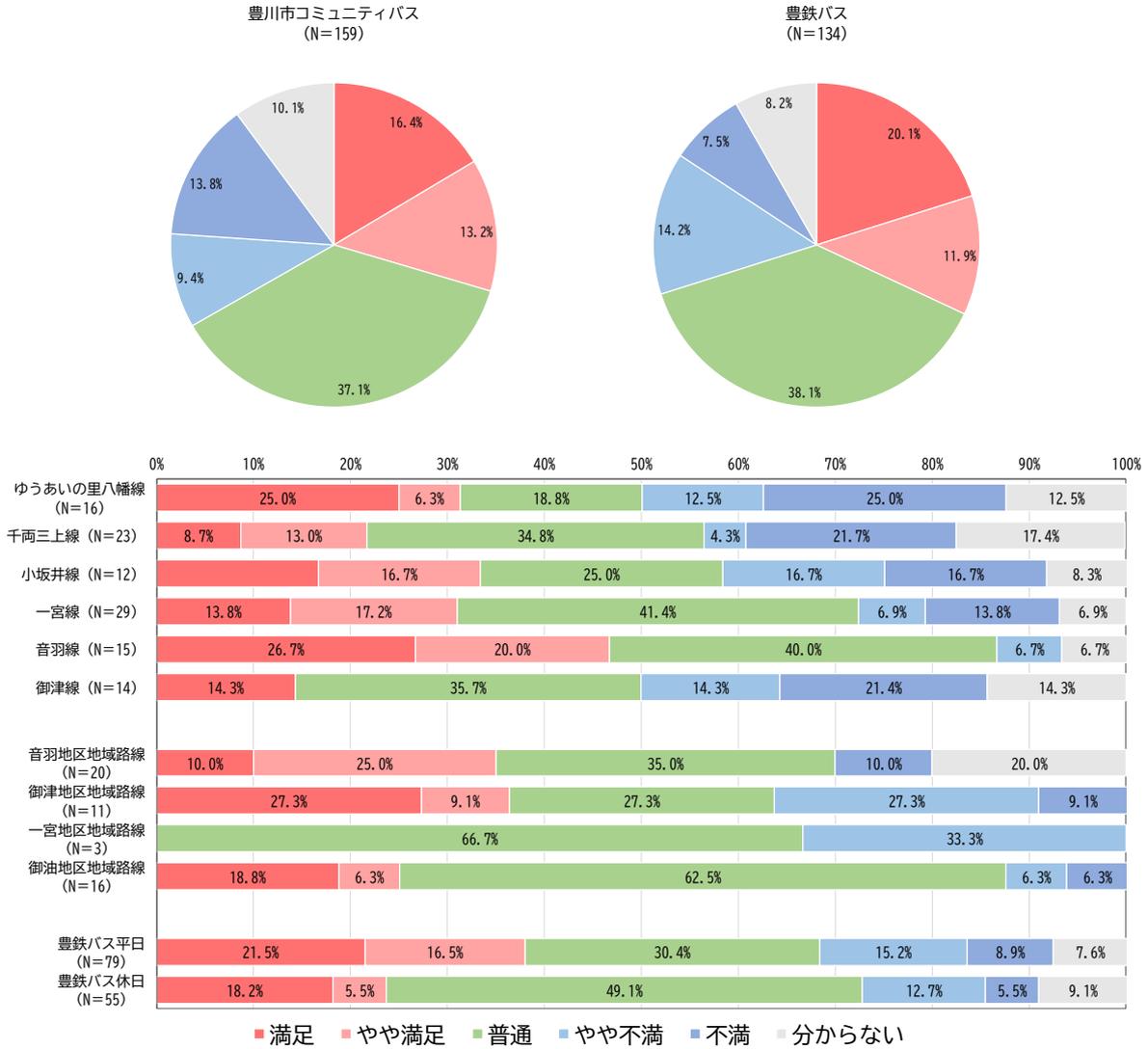
豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「不満」、「やや不満」の回答割合が35%以上となっている。

路線別にみると、音羽線での「満足」、「やや満足」の割合が高い一方で、小坂井線、御津地区地域路線での「不満」、「やや不満」の割合が50%以上と高くなっている。



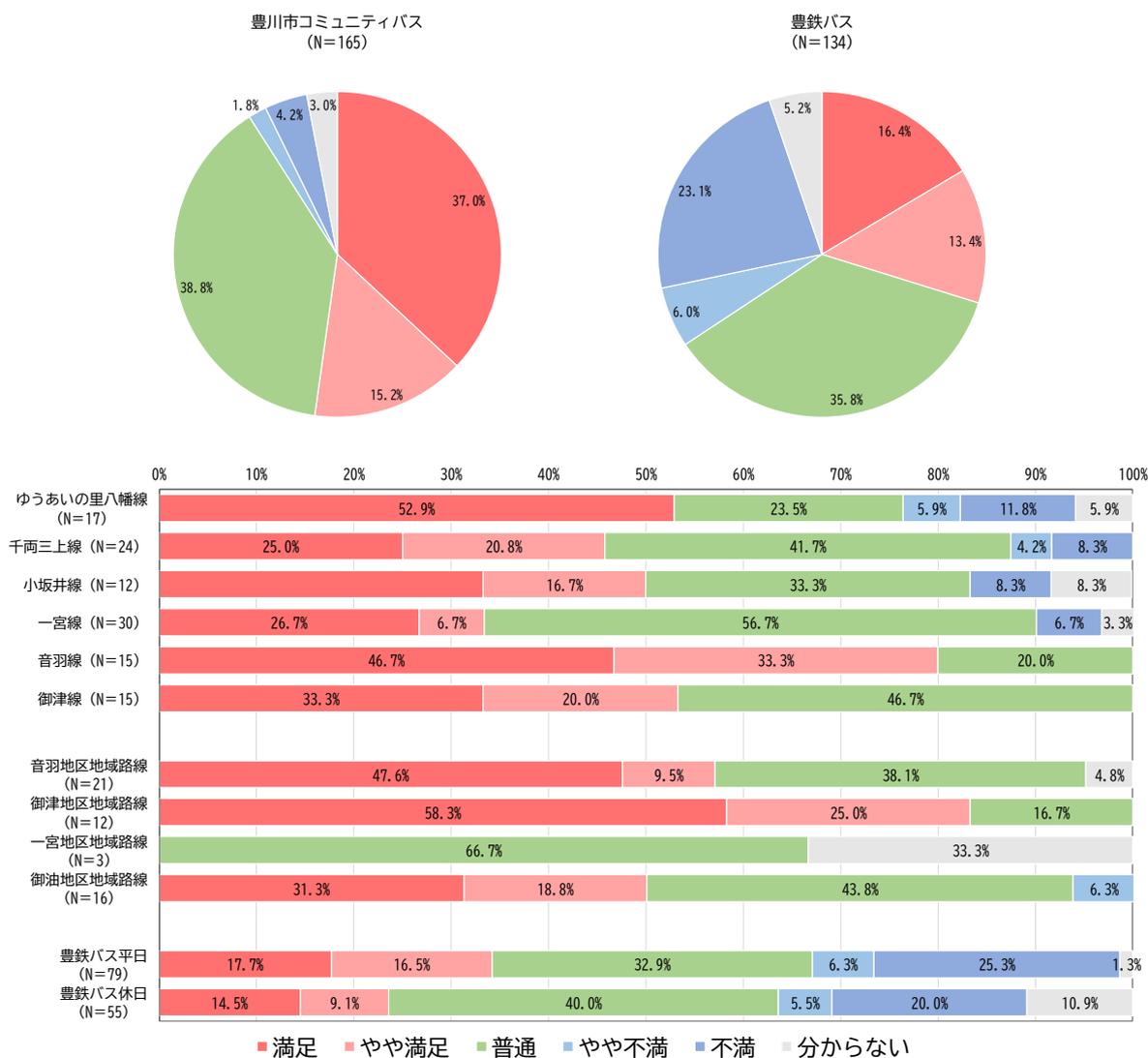
12) 運行ルート【問3 ⑫】

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「満足」、「やや満足」の回答割合が約30%、「不満」、「やや不満」の回答割合が約20%となっている。



13) 運行ダイヤの正確さ【問3 ⑬】

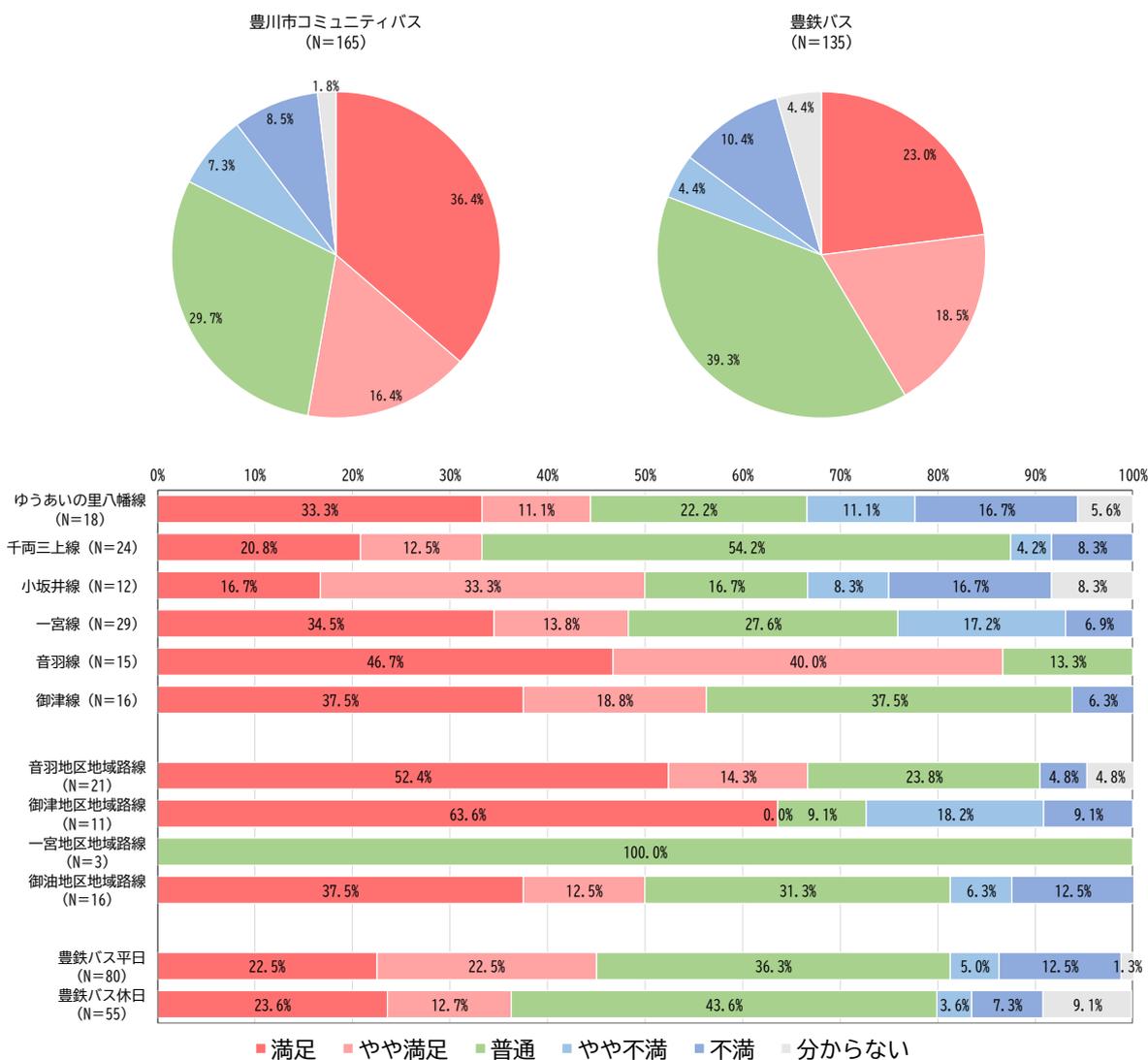
豊川市コミュニティバスでは、「満足」、「やや満足」の回答割合が52.2%と高くなっている。それに対して、豊鉄バスでは、「不満」の回答割合が23.1%と「普通」次いで高くなっている。また、路線別にみると、豊川市コミュニティバスでは、路線の半数で「不満」や「やや不満」の回答はなかった。



14) バス停の設置位置【問3 ⑭】

豊川市コミュニティバスでは、「満足」、「やや満足」の回答割合が52.8%と高くなっている。それに対して、豊鉄バスでは、「普通」の回答割合が高くなっている。

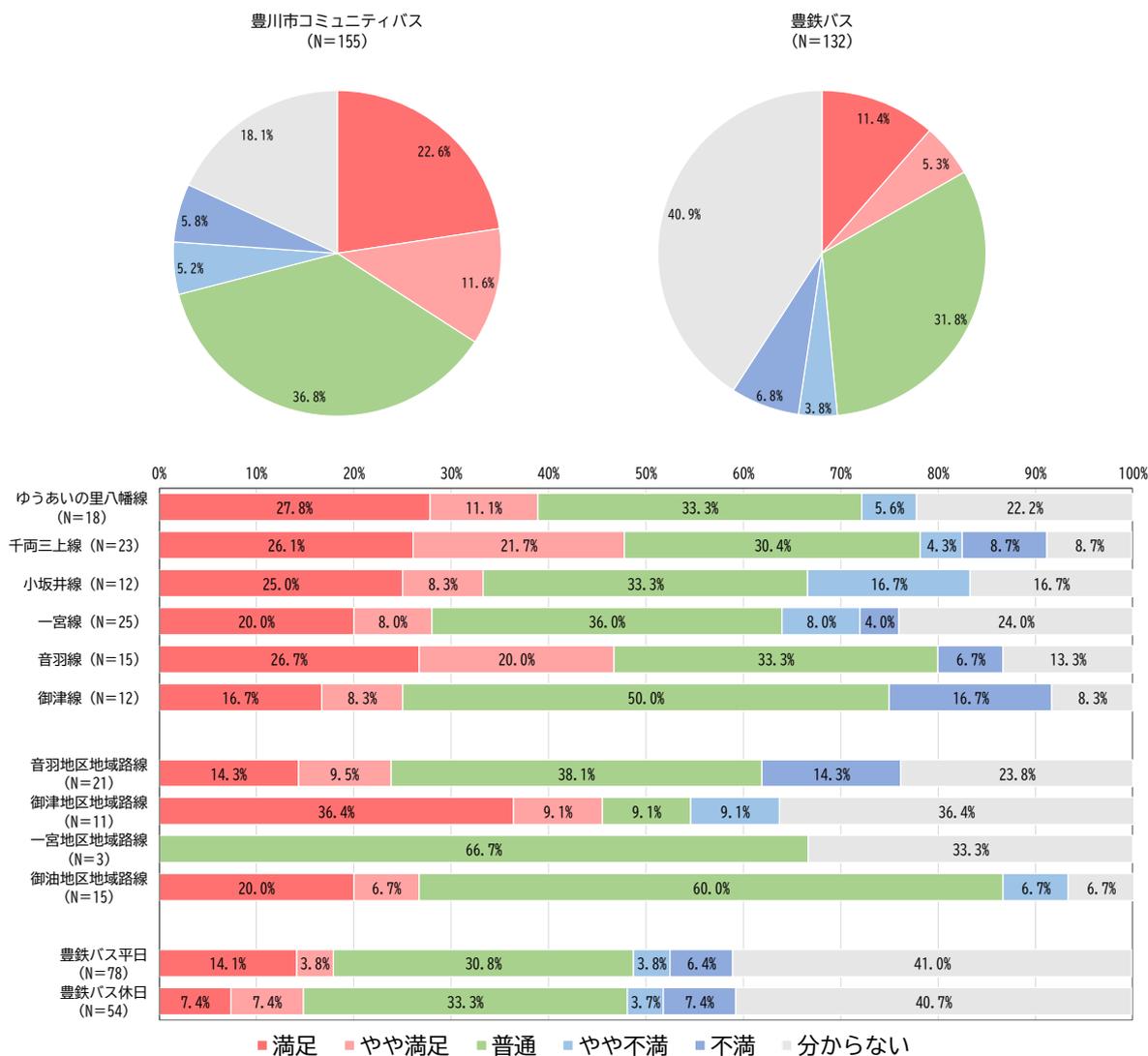
また、路線別にみると、音羽線では、80%以上が「満足」、「やや満足」という回答となっている。



15) 車両の識別のしやすさ【問3 ⑮】

豊川市コミュニティバスでは、「満足」、「やや満足」の回答割合が60.2%と高くなっている。それに対して、豊鉄バスでは、「普通」の回答割合が44.3%と一番高くなっている。

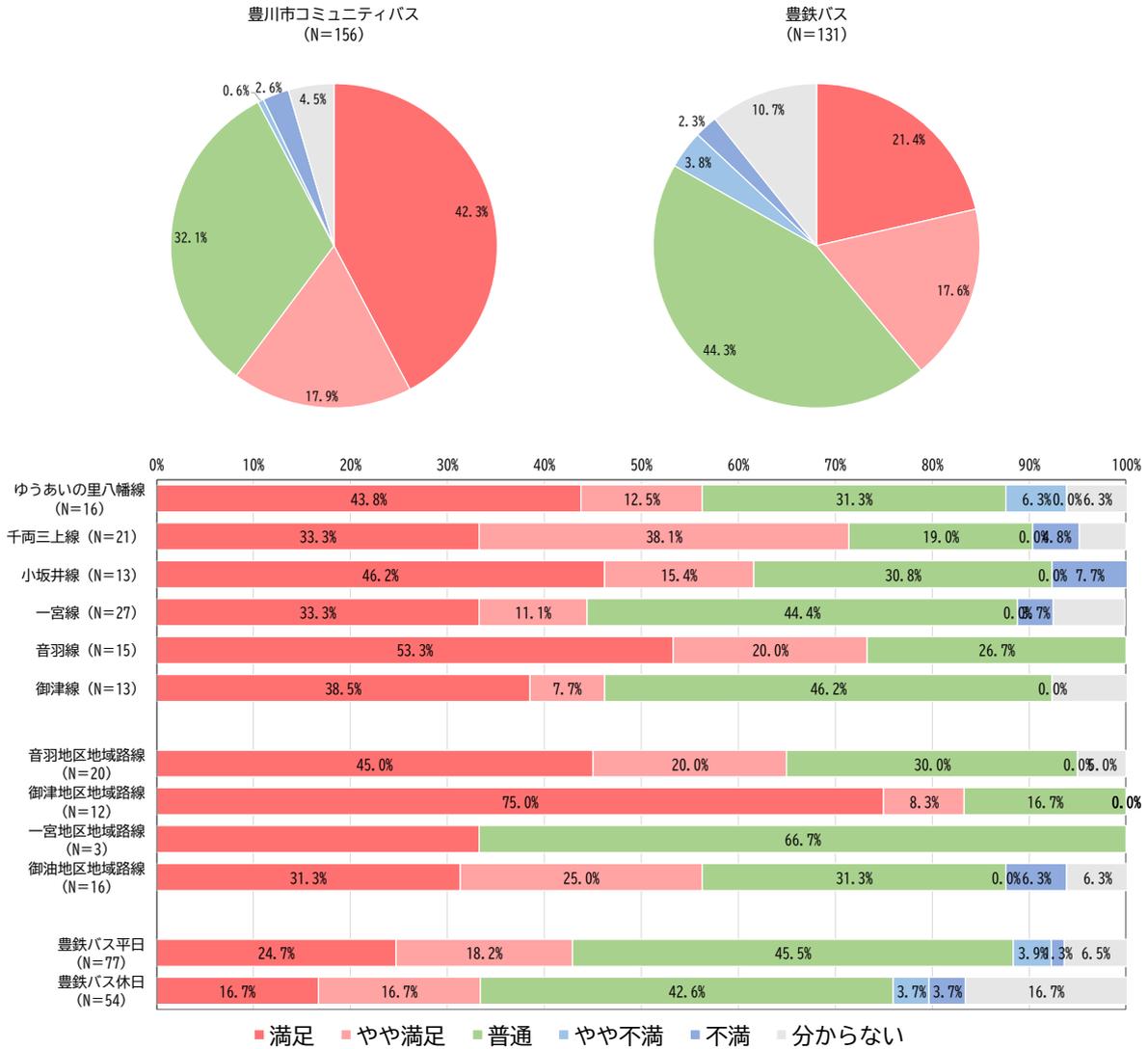
また、路線別にみると、御津地区地域路線では、「満足」、「やや満足」の回答割合が80%以上とかなり高い割合となっている。



16) 豊川市バスマップの使いやすさ【問3 ⑩】

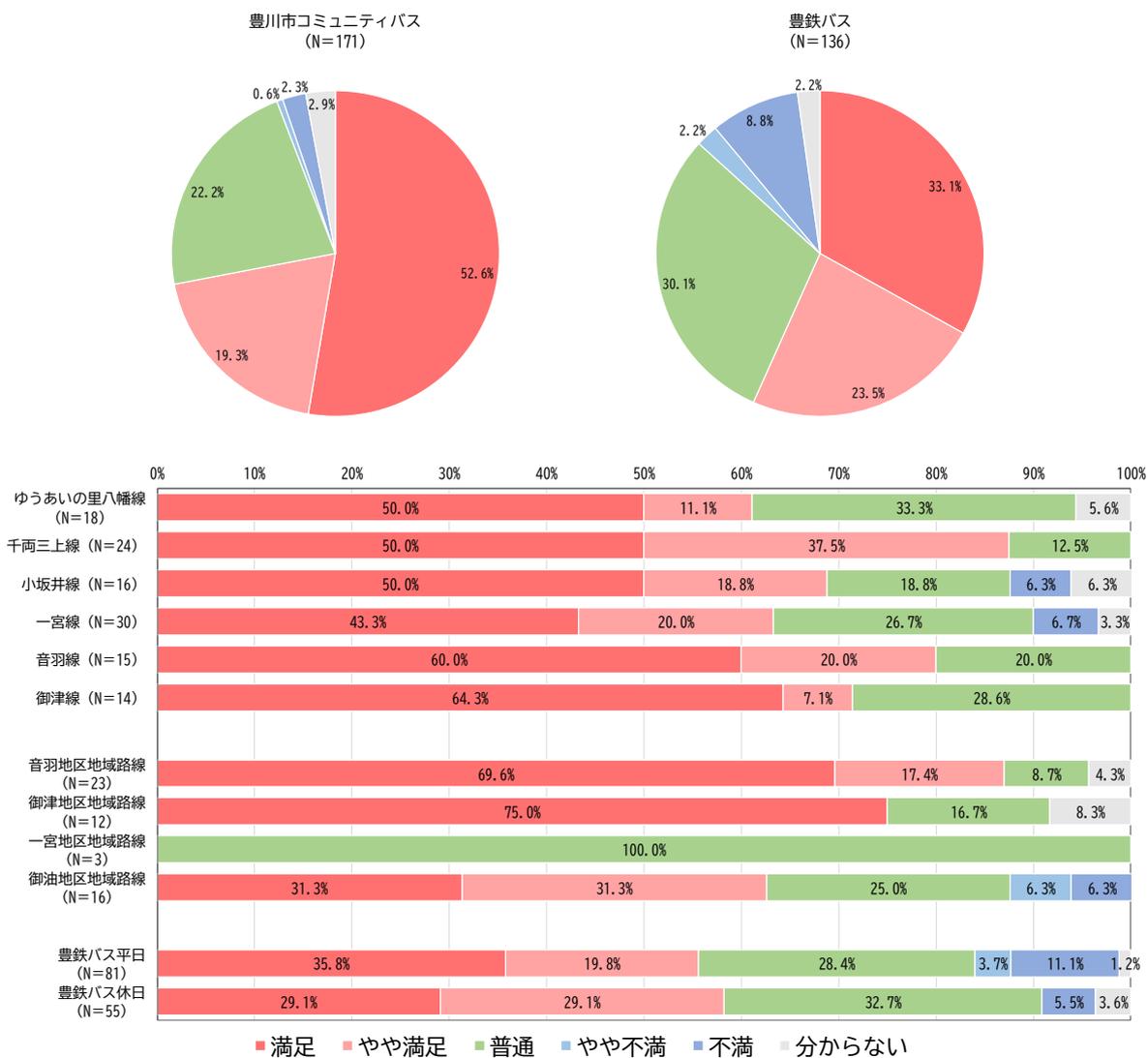
豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「普通」、「分からない」の回答割合が高くなっている。

また、「不満」、「やや不満」と比較して、「満足」、「やや満足」の回答割合が高くなっている。



17) バス運転手の運転操作【問3 ⑰】

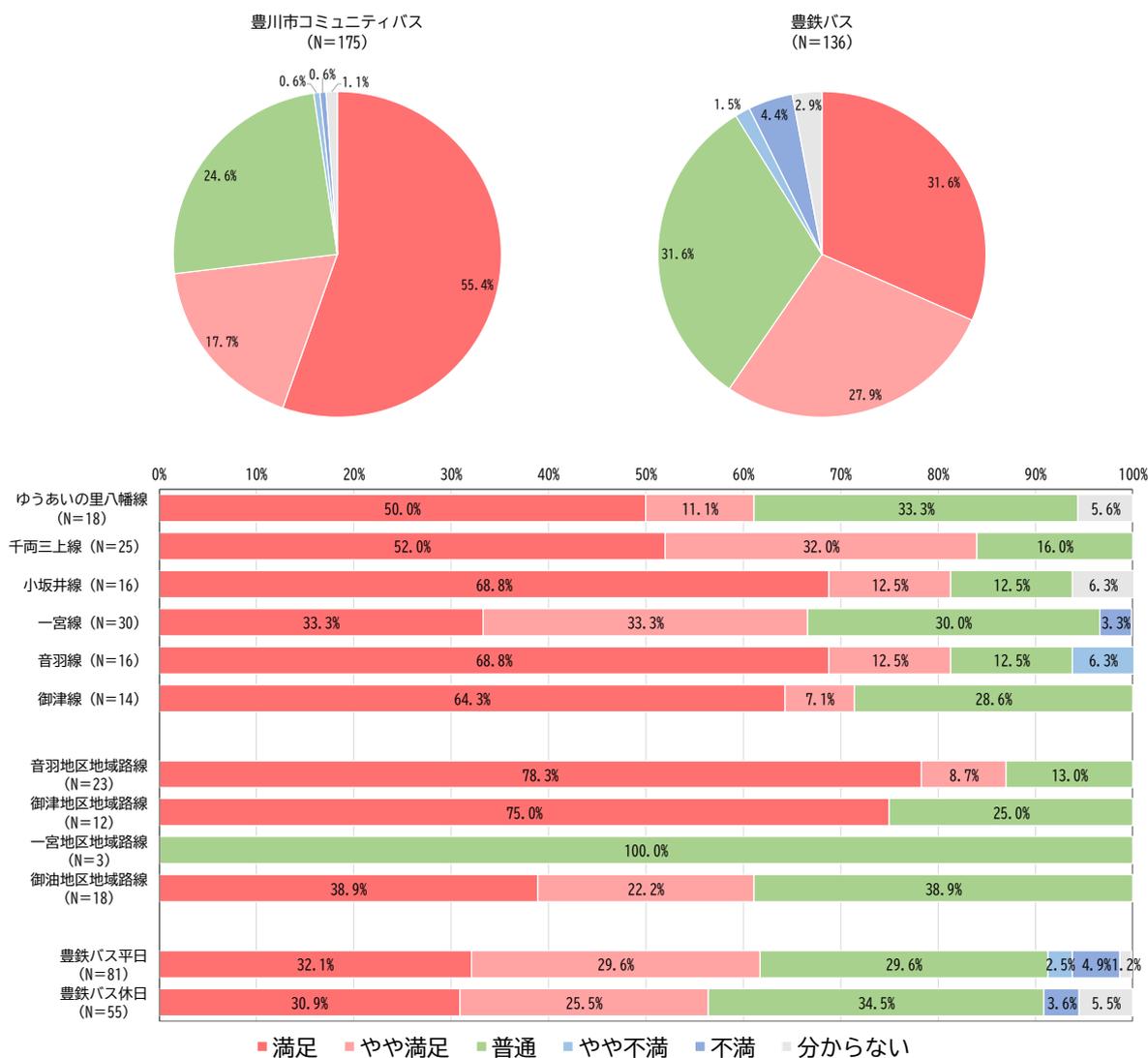
豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、半数以上が「満足」、「やや満足」と回答している。
 また、路線別にみると、豊鉄バス平日では、「不満」の回答割合が 11.1%と他と比較して、高くなっている。



18) バス運転手の接遇【問3 ⑱】

豊川市コミュニティバスでは73.1%、豊鉄バスでは59.5%が「満足」、「やや満足」とかなり高い割合となっている。

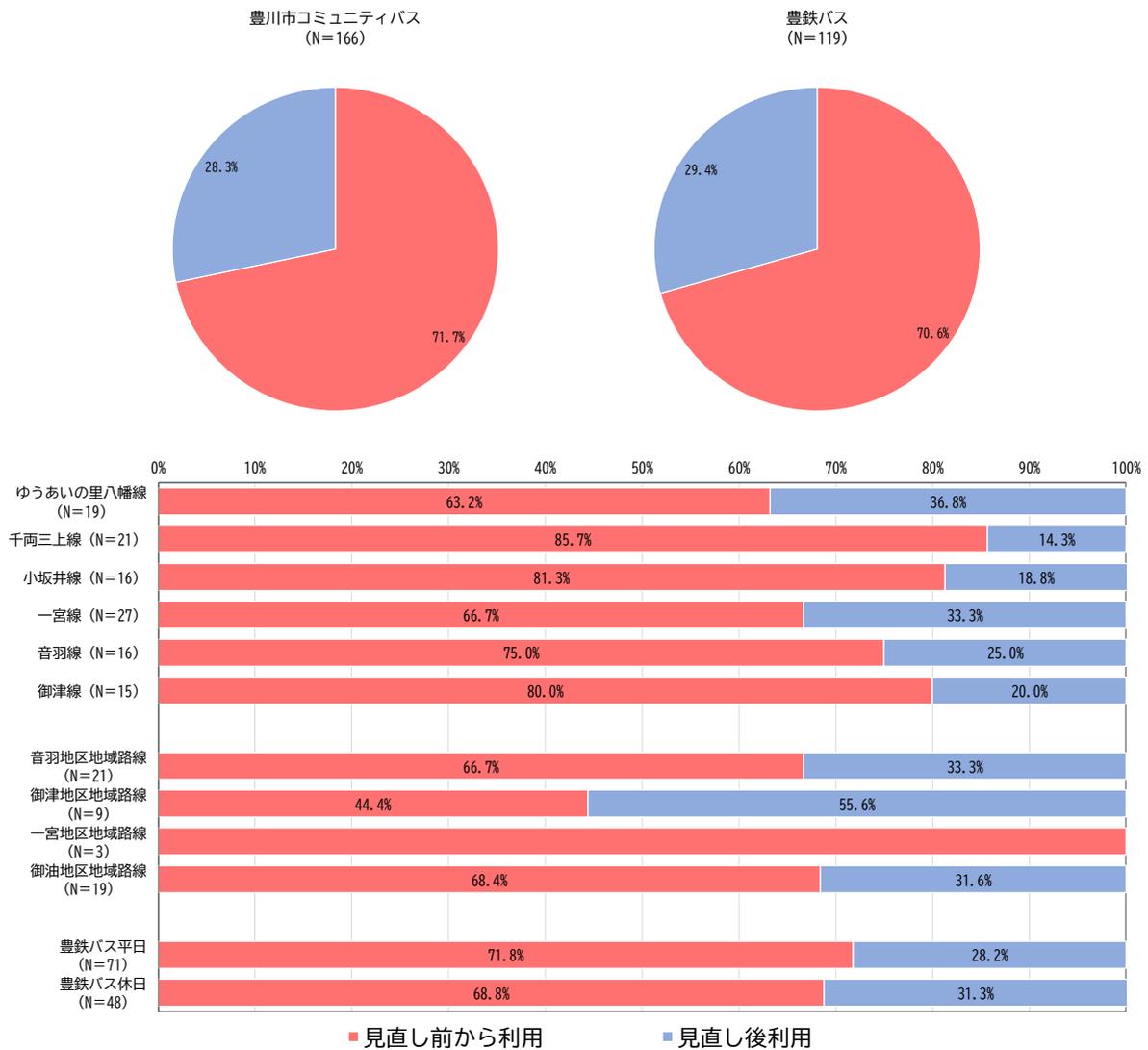
また、一宮線、音羽線、豊鉄バス平日・休日を除く路線では、「不満」、「やや不満」の回答はなかった。



(16) バス路線見直し前後の利用【問 4 (1)】

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、70%以上がバス路線見直し前からバスを利用している。

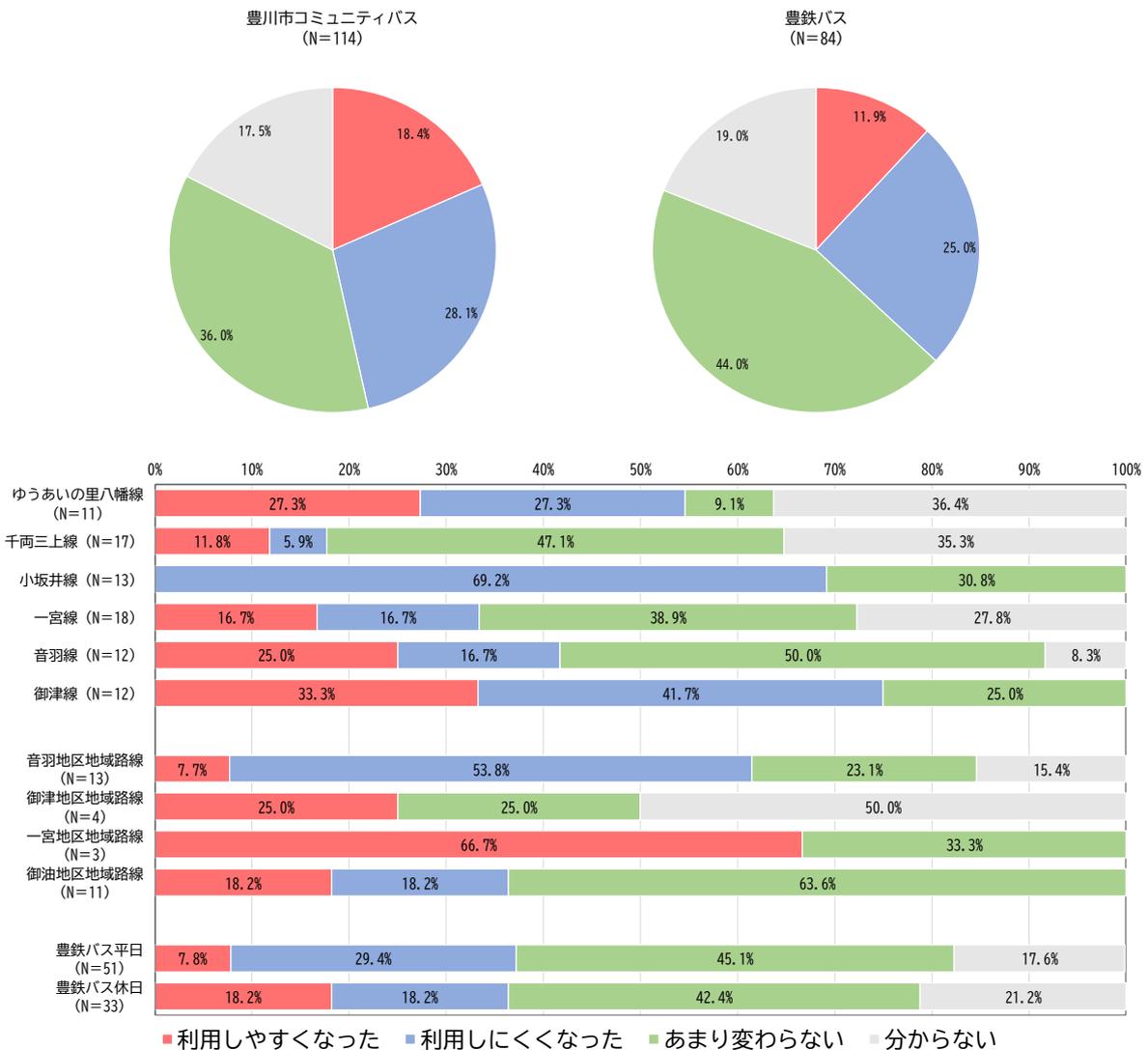
また、路線別にみると、御津地区地域路線では、バス路線見直し後から利用している割合が 55.6% と全路線で一番高くなっている。



(17) 利用しやすさの変化【問 4 (1)、(2)】

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「あまり変わらない」の回答割合が高く、次いで「利用しにくくなった」が高くなっている。

また、路線別にみると、小坂井線では、「利用しにくくなった」が、一宮地区地域路線では、「利用しやすくなった」が、それぞれ約 70%を占めている。

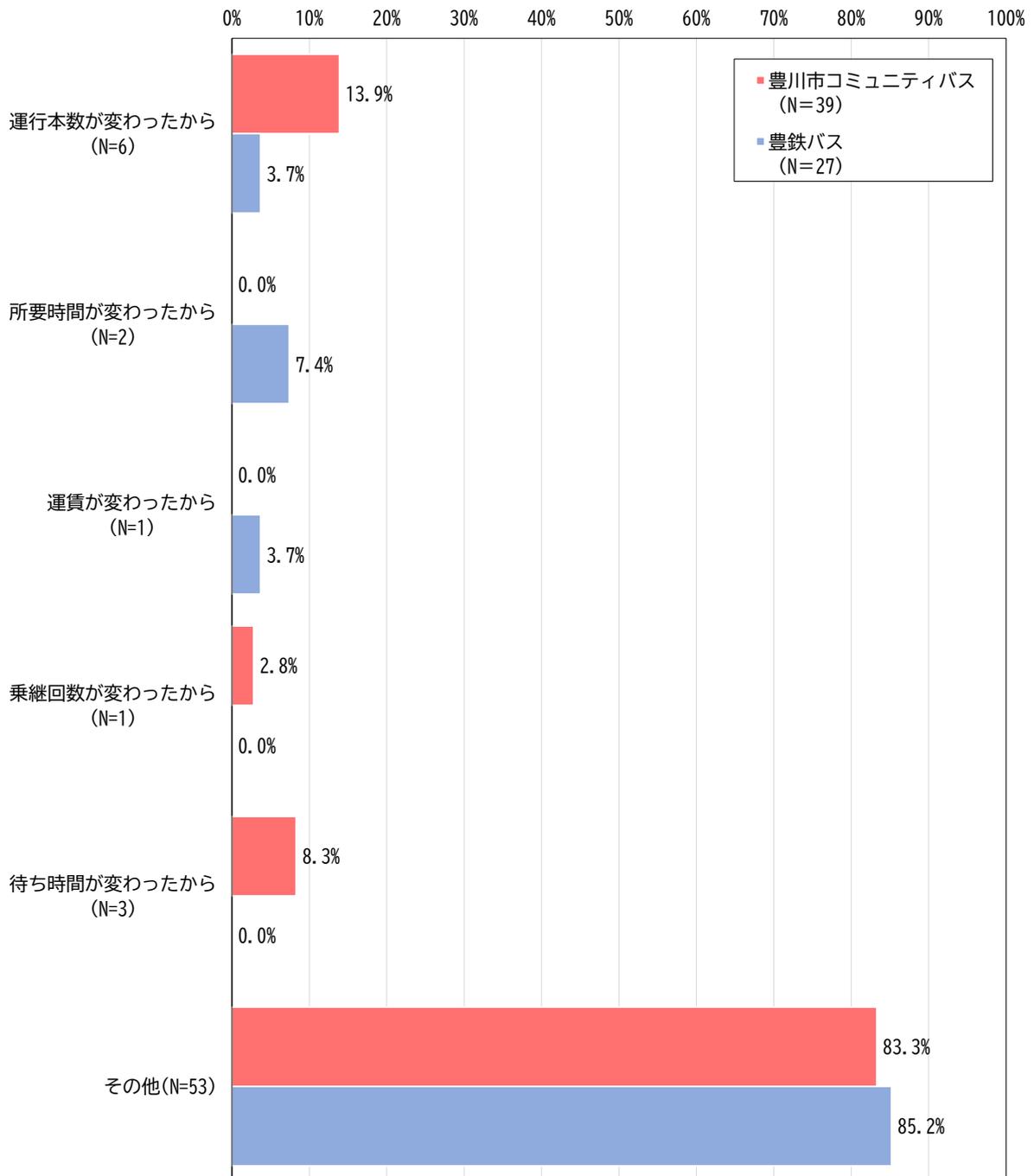


(18) バス路線見直し後の利用理由

1) バス路線見直し後に利用をするようになった理由【問4(1) × (3)】 [複数選択可]

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに80%以上が「その他」と回答している。

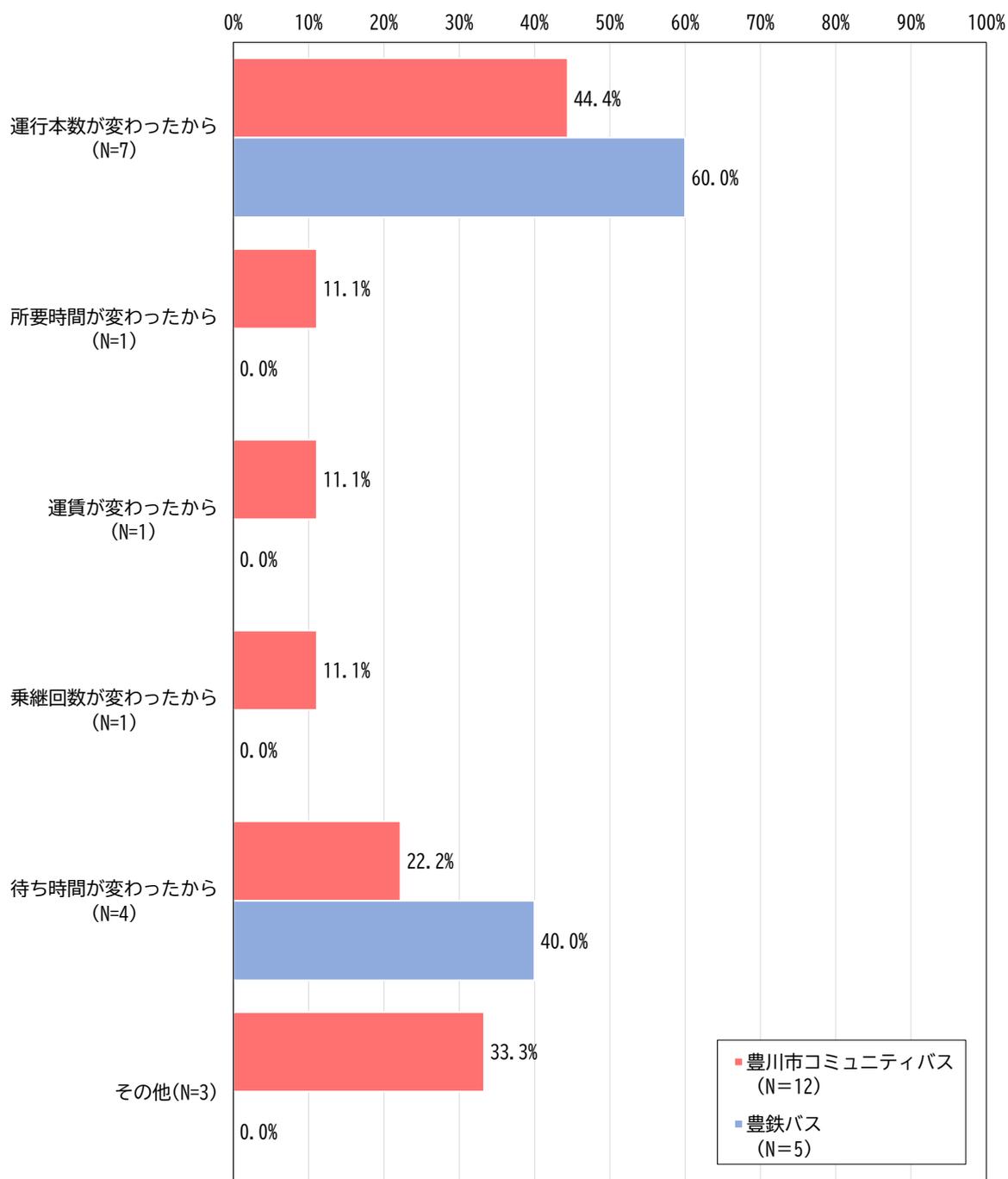
「その他」の回答については、引っ越しや車に乗らなくなった等の理由が多くなっている。



2) バス路線見直し後に利用しやすくなった理由【問 4 (1) × (2) × (3)】 [複数選択可]

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「運行本数が変わったから」の利用割合が一番高くなっている。

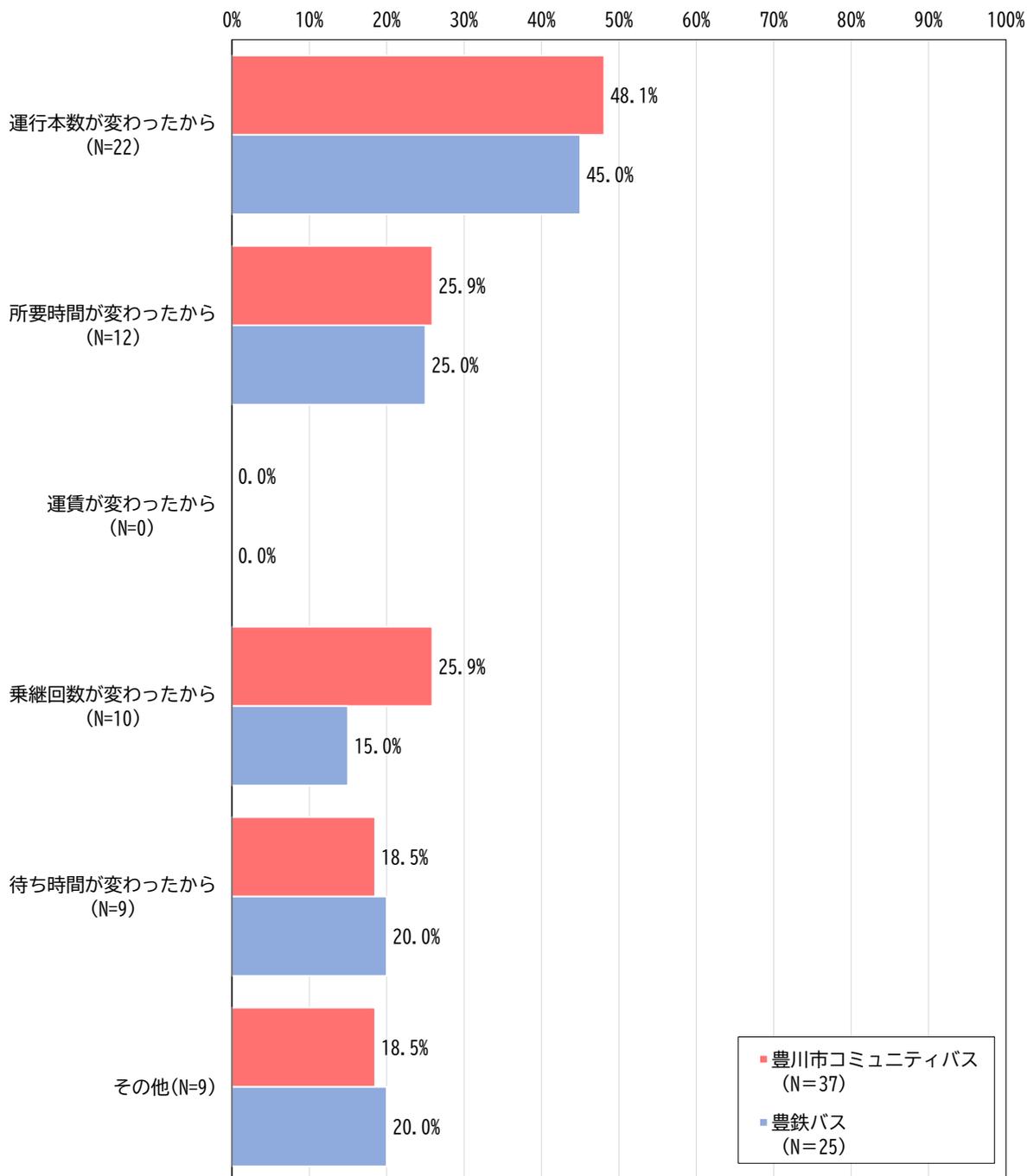
また、「待ち時間が変わったから」の回答割合も比較的高くなっている。



3) バス路線見直し後に利用しにくくなった理由【問 4 (1) × (2) × (3)】 [複数選択可]

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「運行本数が変わったから」の回答割合が約 50% と一番高くなっている。

また、豊川市コミュニティバスでは、「所要時間が変わったから」、「乗継回数が変わったから」の回答割合が運行本数に次いで高くなっている。

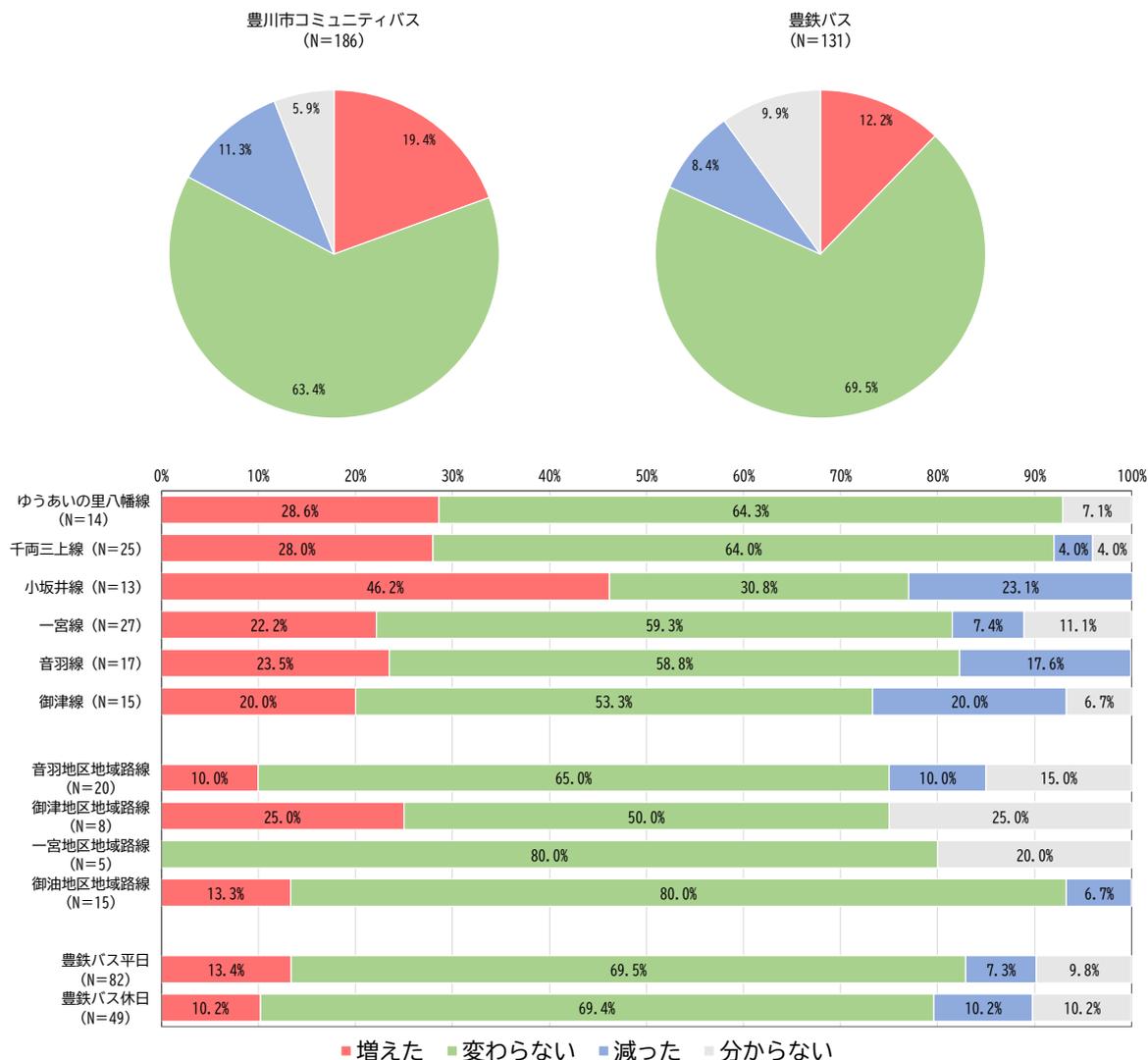


(19) バス路線見直し後の行動の変化

1) 以前から行っていたところへの外出回数【問5 ①】

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「変わらない」の回答割合が60%以上と高くなっている。

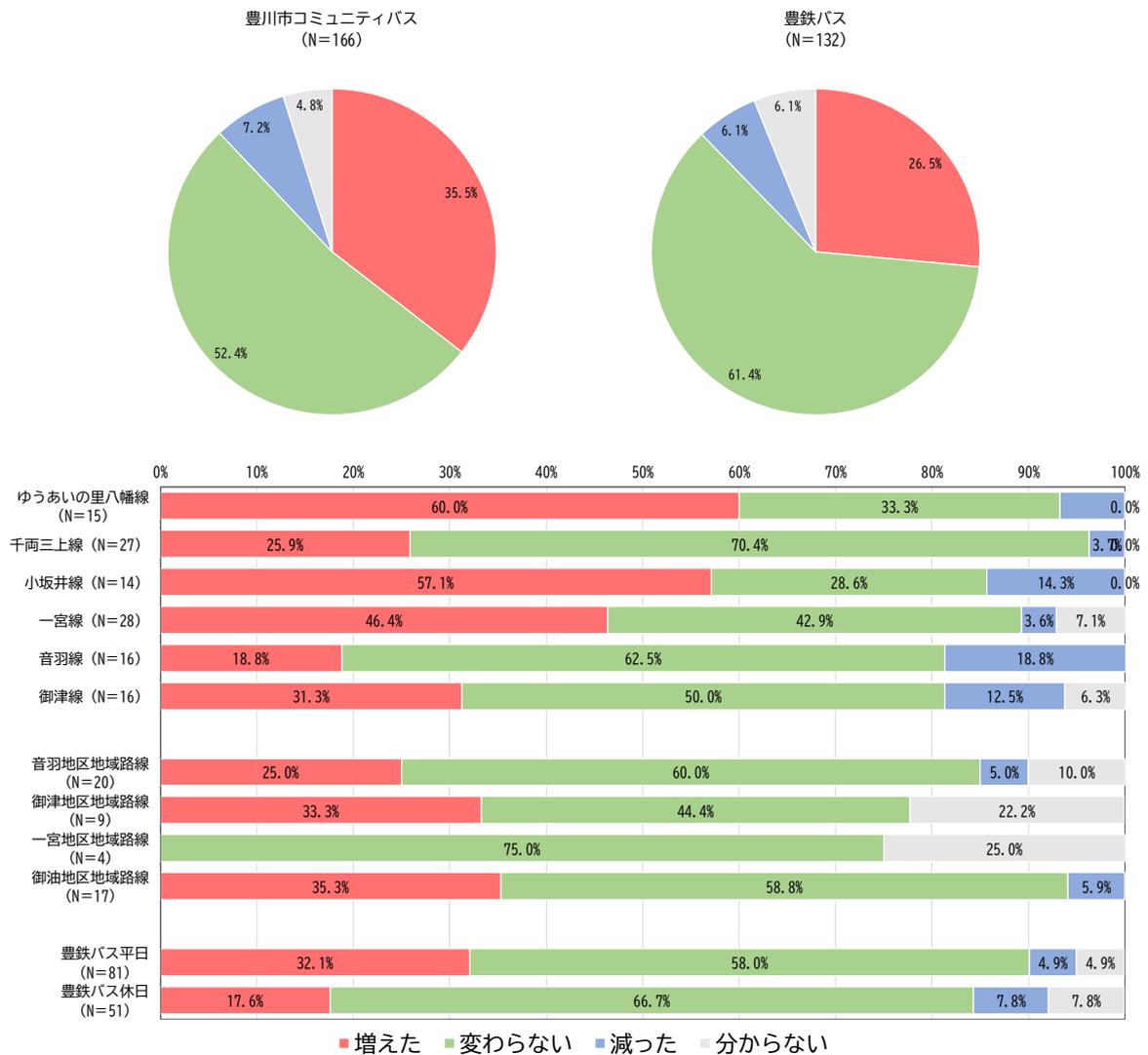
路線別にみると、小坂井線では、「増えた」の回答割合が46.2%と全路線の中で一番高くなっている。しかしながら、「減った」の回答割合についても、23.1%と全路線の中で一番高くなっている。



2) バスを利用する回数【問5 ②】

「増えた」の回答割合が、豊川市コミュニティバスでは35.5%、豊鉄バスでは26.5%となっており、どちらのバスも「減った」と比較して高い割合となっている。

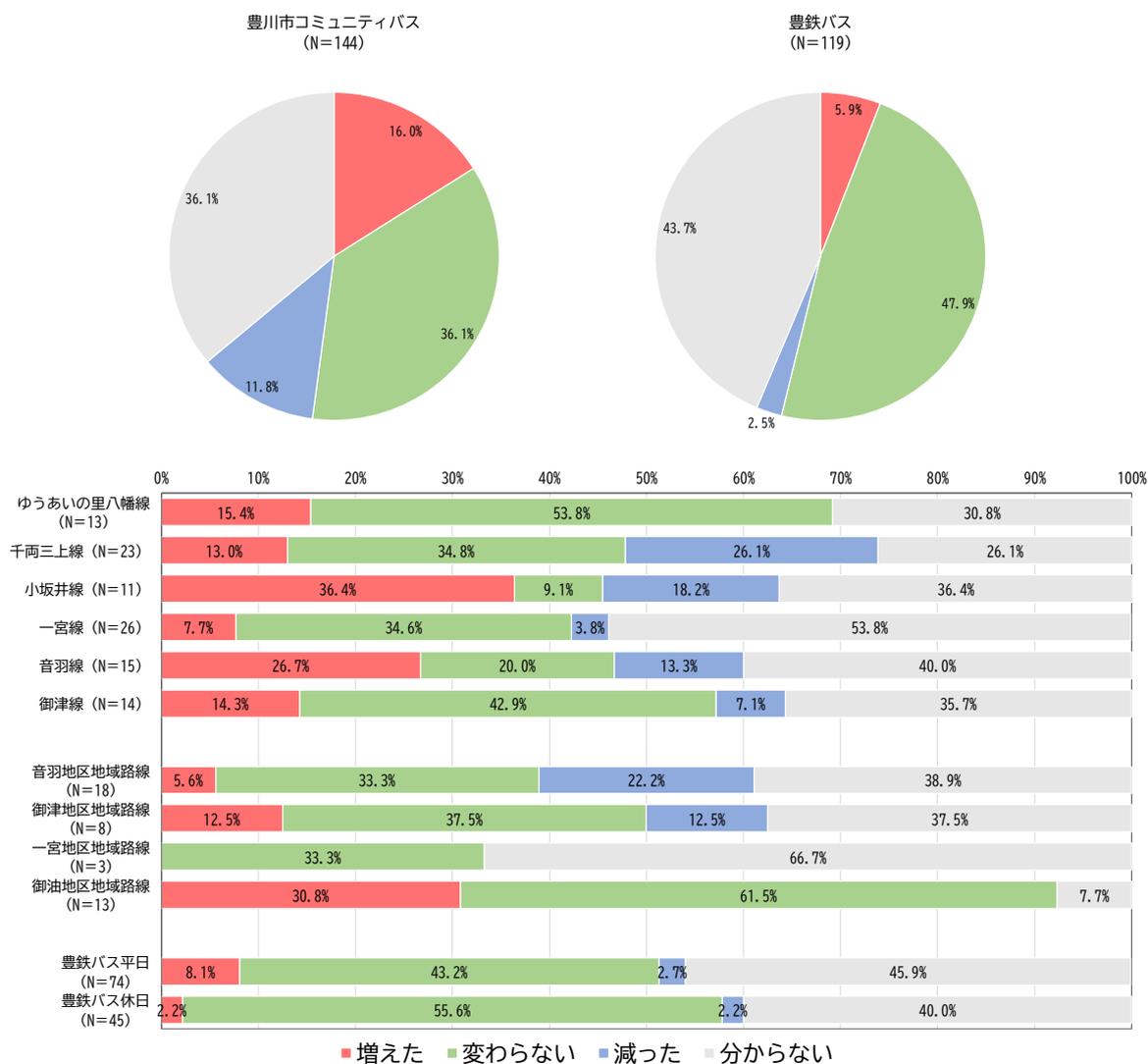
路線別にみると、ゆうあいの里八幡線や小坂井線では、約60%が「増えた」と回答している。



3) バス同士を乗継ぐ回数【問5 ③】

豊川市コミュニティバスでは 72.2%、豊鉄バスでは 91.6%が、「変わらない」、「分からない」と回答している。

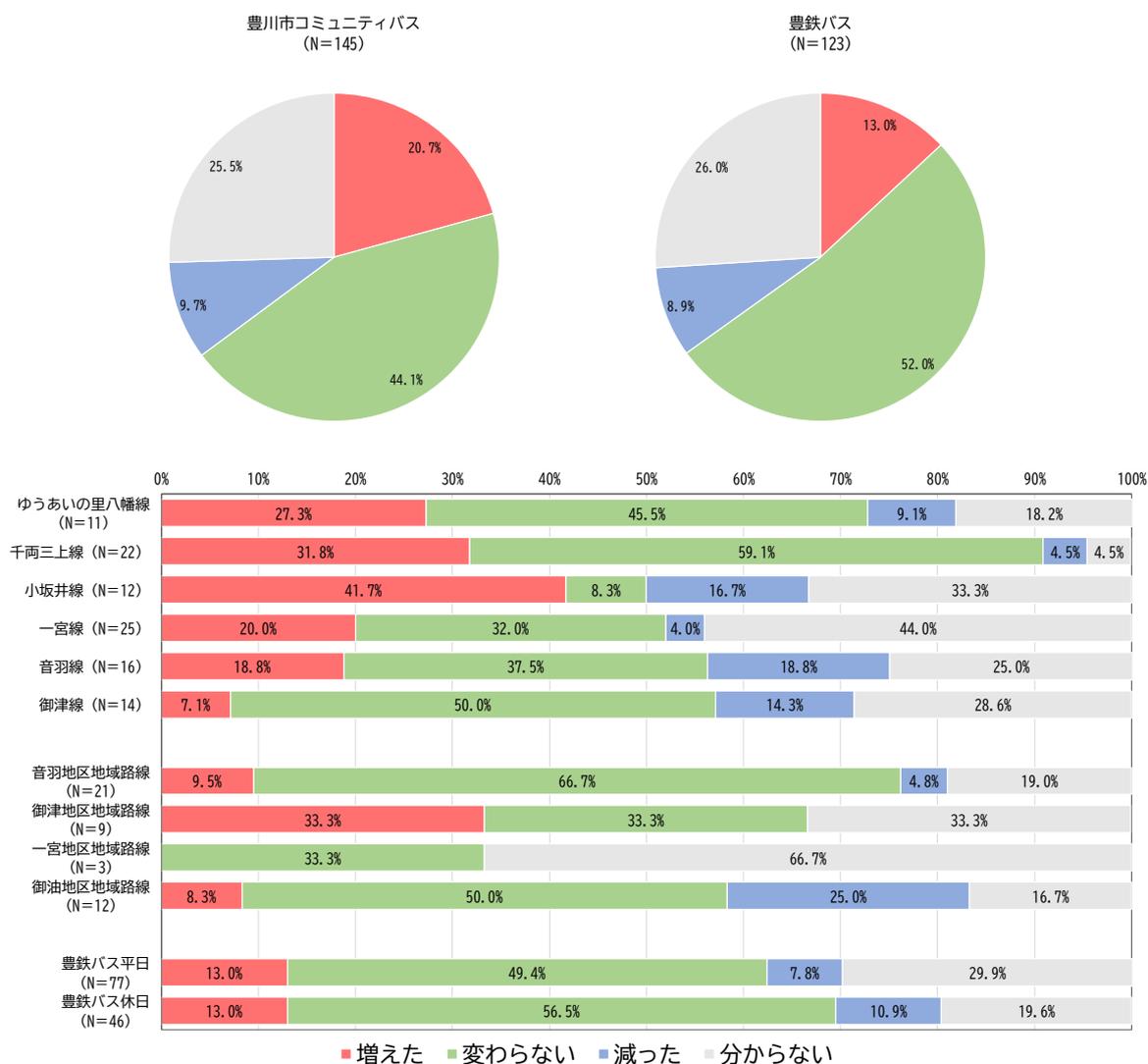
また、「増えた」と「減った」の回答割合を比較すると、豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「増えた」の割合が高くなっている。



4) バスから乗換えて鉄道を利用する回数【問5 ④】

豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「増えた」の回答割合が「減った」と比較して高くなっている。

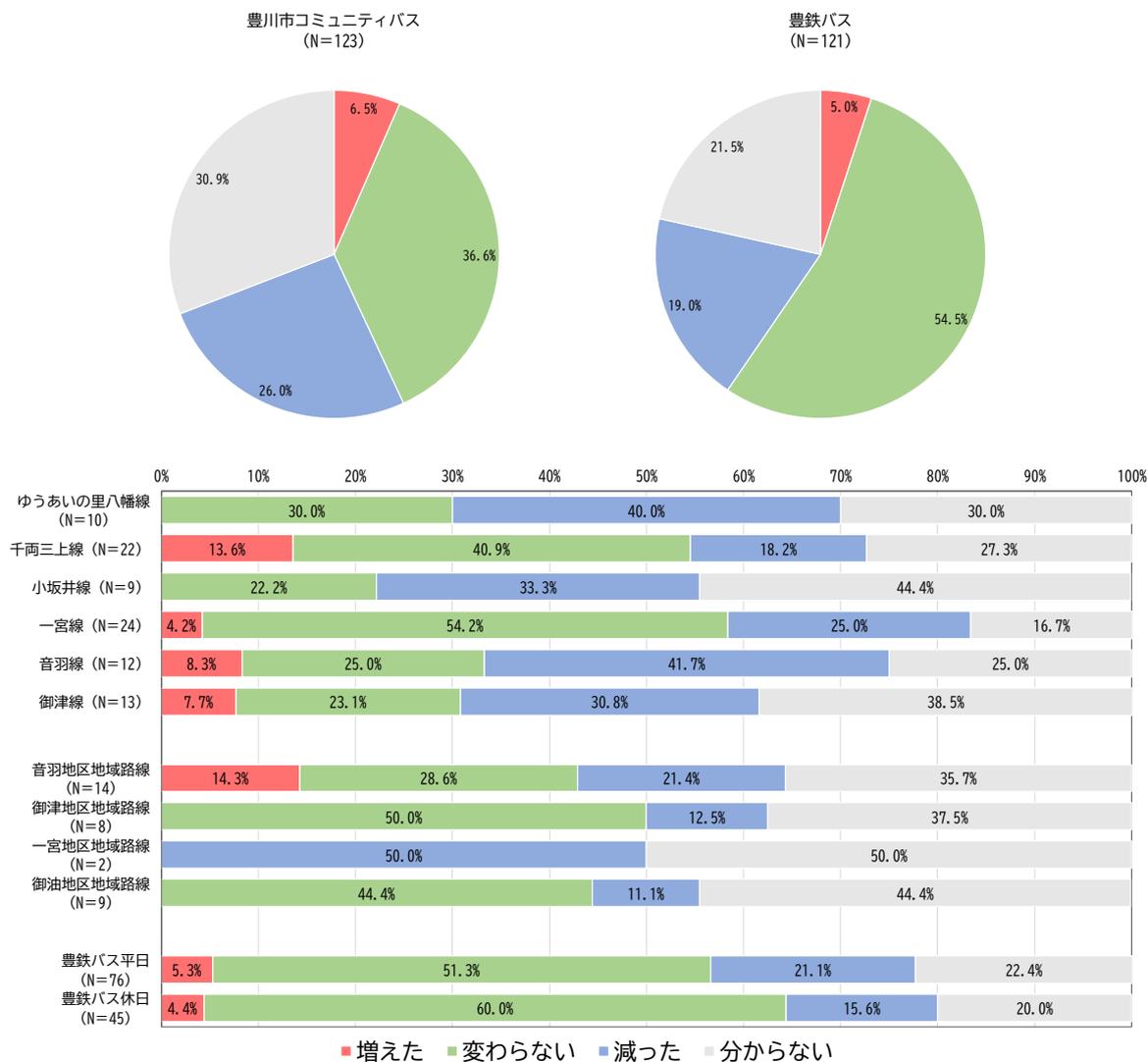
また、路線別にみると、小坂井線では「増えた」の回答割合が41.7%と、全路線の中で一番高くなっており、御油地区地域路線では「減った」の回答割合が25.0%と、全路線の中で一番高くなっている。



5) 自動車を利用する回数【問5 ⑤】

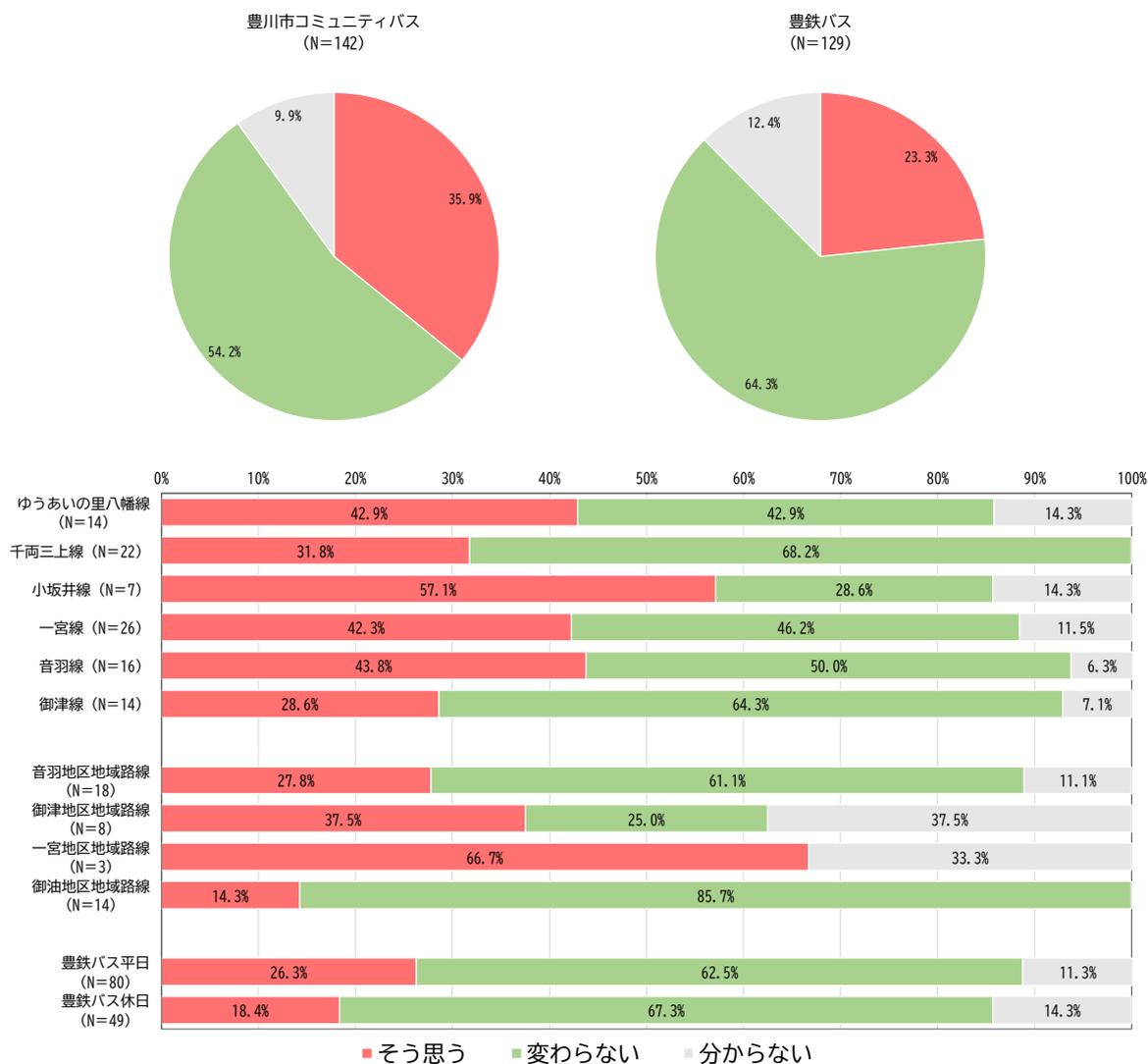
豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、「減った」の回答割合が「増えた」と比較して高くなっている。

路線別にみると、ゆうあいの里八幡線や小坂井線、御津地区地域路線、御油地区地域路線では、「増えた」の回答が0となっている。



6) 外出するときの交通手段の選択肢が増えた【問5 ⑥】

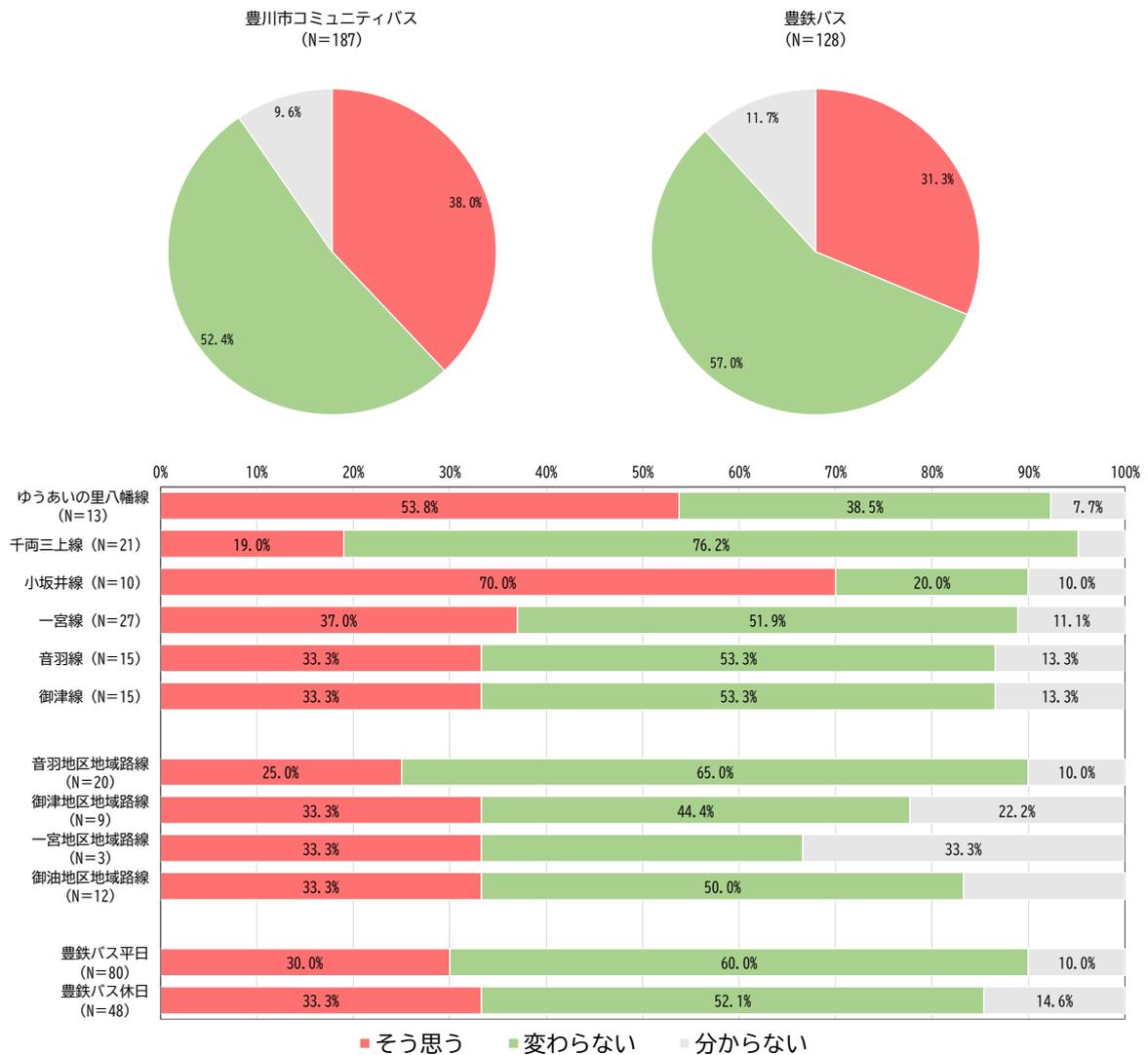
豊川市コミュニティバスでは35.9%が、豊鉄バスでは23.3%が「増えた」と回答している。
また、路線別にみると、小坂井線や一宮地区地域路線では、「増えた」の割合が高くなっている。



7) 新たにバスを利用するようになった【問5 ⑦】

「そう思う」の回答割合が、豊川市コミュニティバス、豊鉄バスともに、約30%となっている。

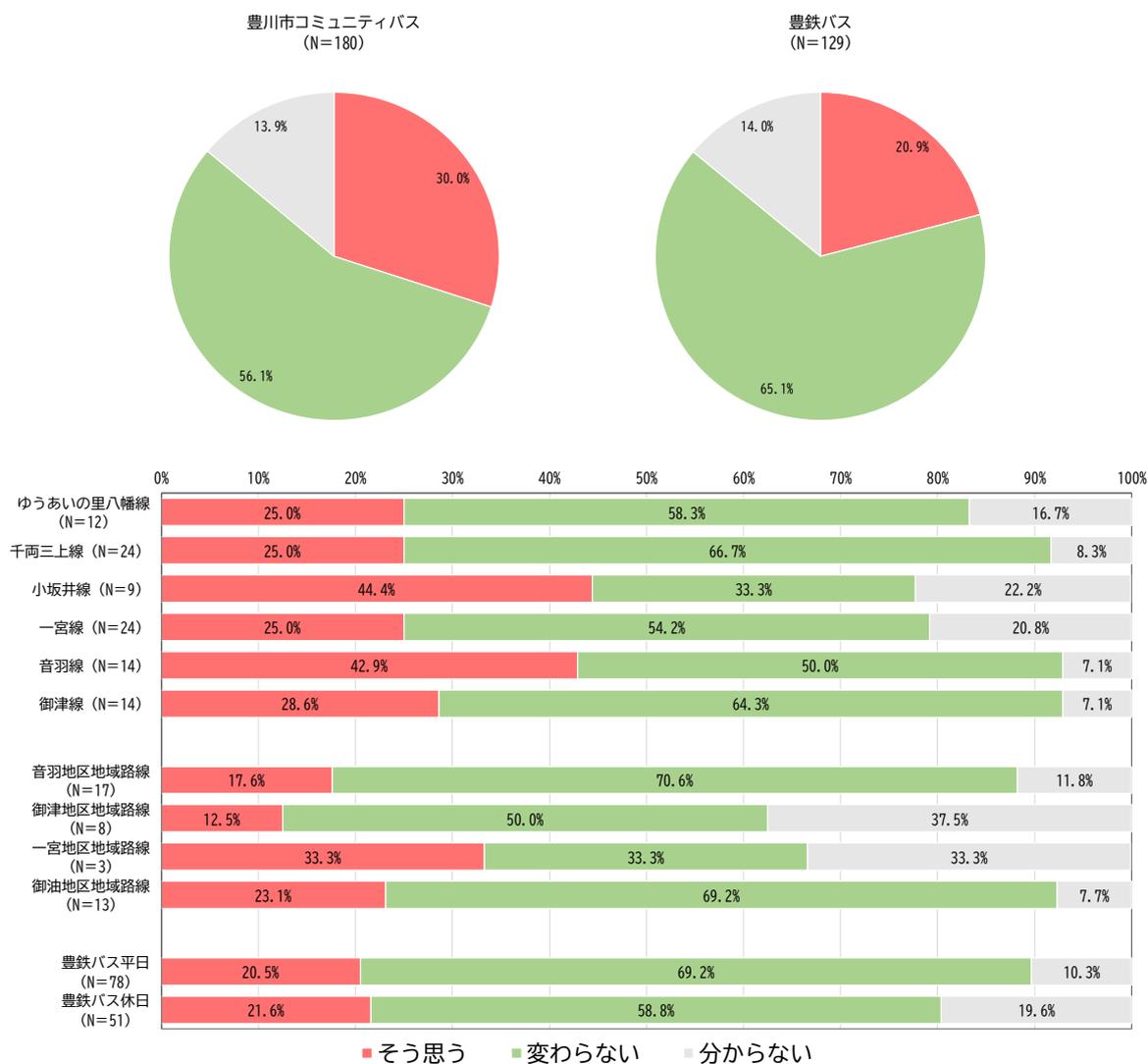
また、路線別にみると、小坂井線では「そう思う」の回答割合が70.0%と高くなっている。それに対して、千両三上線では19.0%と全路線の中で一番低い割合となっている。



8) 送迎に頼らず自分で移動するようになった【問5 ⑧】

豊川市コミュニティバスでは、「そう思う」の回答割合が30.0%となっている。豊鉄バスにおいては、「変わらない」の回答割合が65.1%とかなり高くなっている。

また、路線別にみると、小坂井線と一宮地区地域路線を除く全路線で、「変わらない」の回答割合が50%以上となっている。



9) 公共交通での外出意欲がわいた【問5 ㉑】

豊川市コミュニティバスでは33.1%、豊鉄バスでは20.9%が「そう思う」と回答している。

路線別にみると、小坂井線では「そう思う」の回答割合が50%と、全路線の中で一番高くなっている。それに対して、豊鉄バス平日では20.3%と、全路線の中で一番低くなっている。

